

會報

第十三號

廣島縣立尾道高等女學校

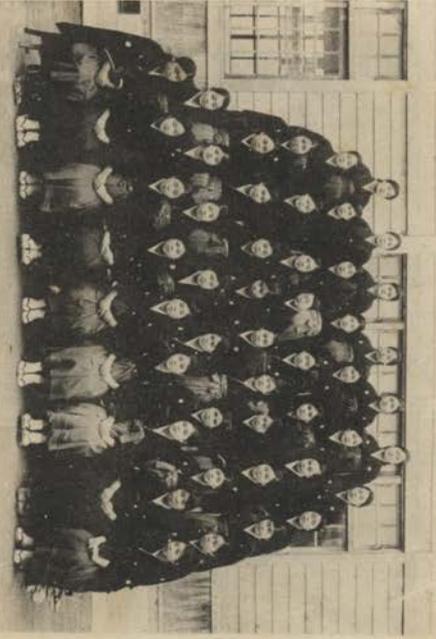
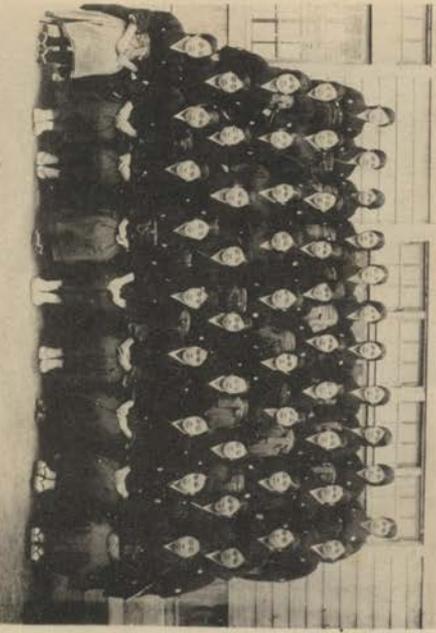
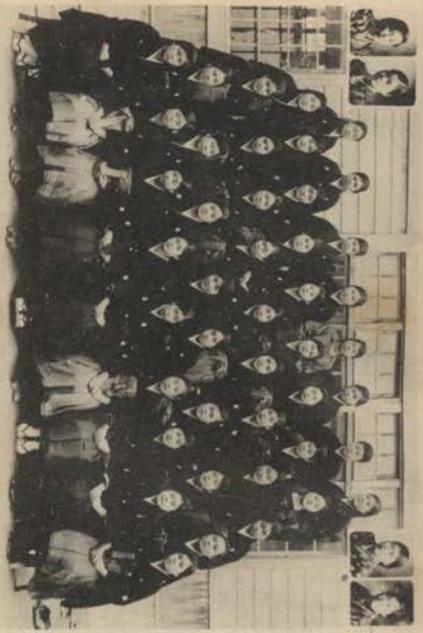
浦曙會

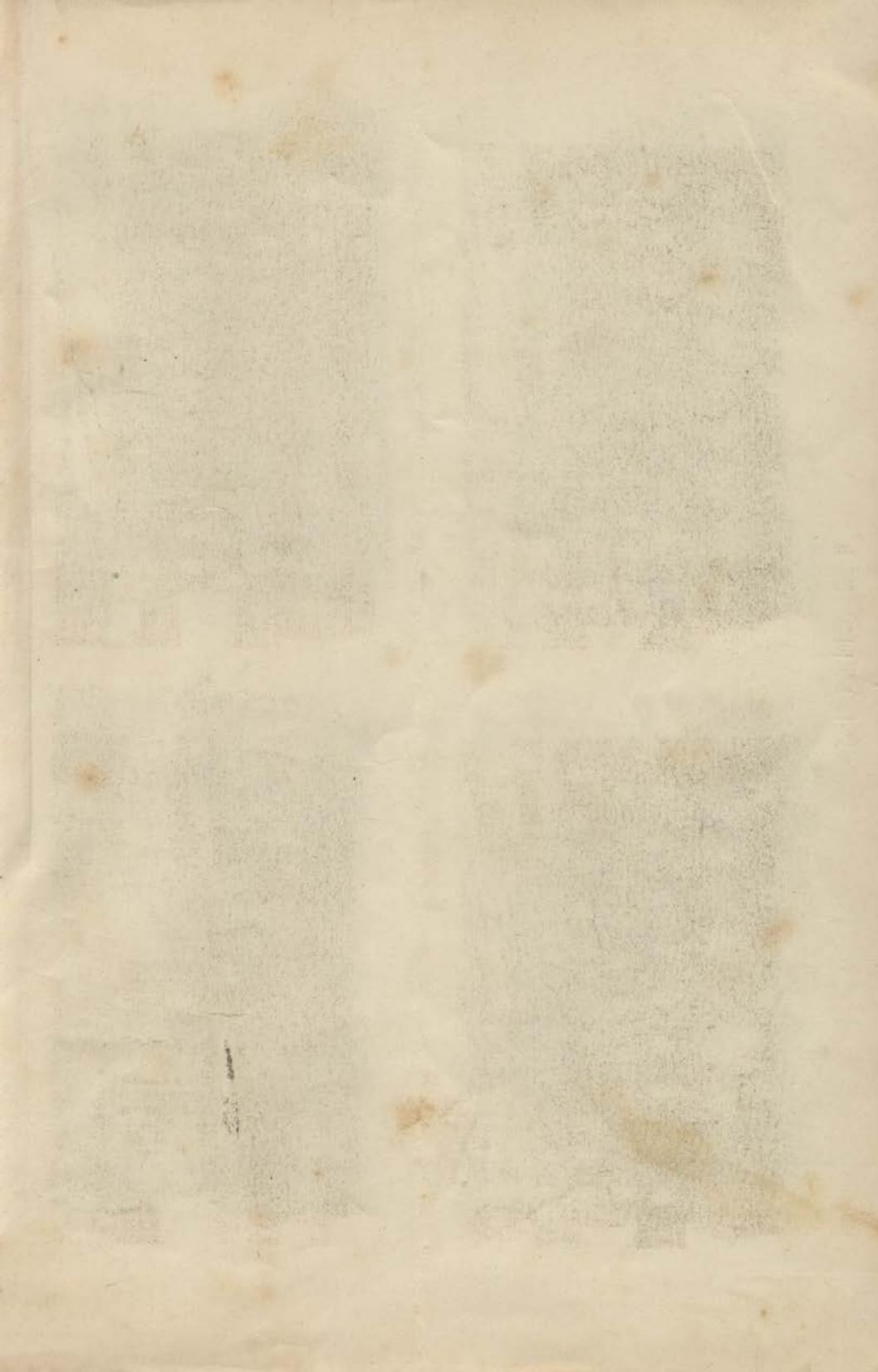


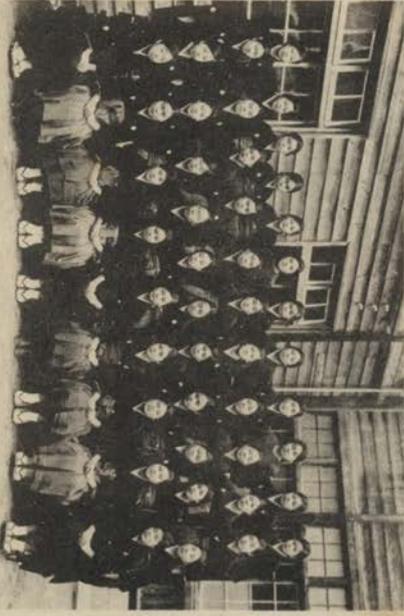
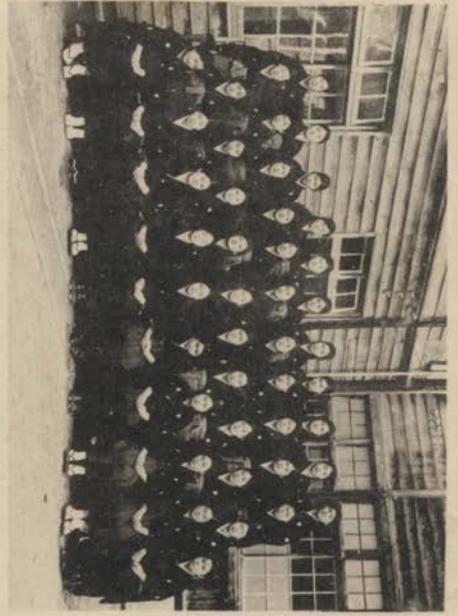
目次

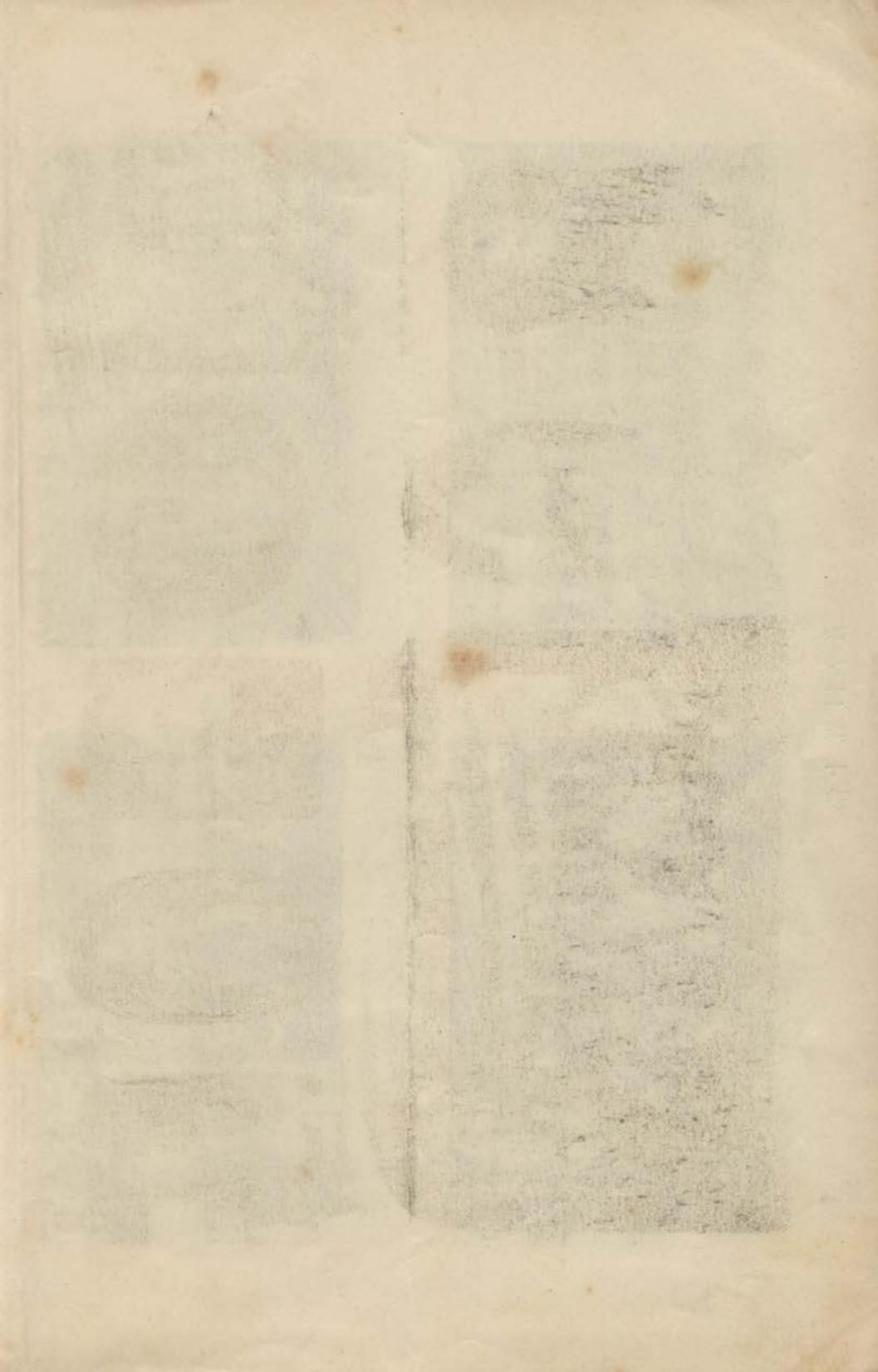
- ◆ 口 繪
- ◆ 浦曙會會則
- ◆ 雜 錄
- ◆ 母校だより
- ◆ 補習科だより
- ◆ 同窓會記事
- ◆ 同窓會會計報告
- ◆ 同窓會支部だより

- ◆ 旧師住所
- ◆ 旧師だより
- ◆ 亡き人々を偲びて
- ◆ 會員消息
- ◆ 雁のつて
- ◆ 會員名簿
- ◆ 編輯 便











第八回 回八第
長女 江喜子
次女 丸生
後生 七ヶ月
四月十六日



第九回 回九第
男長 武猛
男長 田長
後生 五月



第八回 大塚英子様
長女 澄子さん
男長 逸士さん



第七回 (寶岡本岡田) 莖子様
長男 弘さん
後生 三十三日



第九回 (田邊田) 島居茂枝様
長男 保さん
万ヶ年



第九回 回九第
男長 山形
初子 和良
年一ヶ



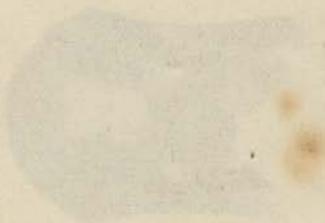
第九回 回九第
男長 邊渡
正彦
後生 十三日



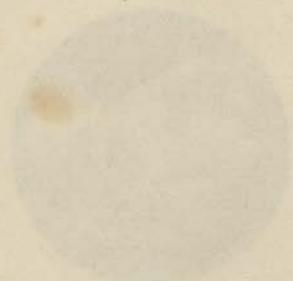
神月支同部會紀念



Faint, illegible text impression, possibly a date or reference number.



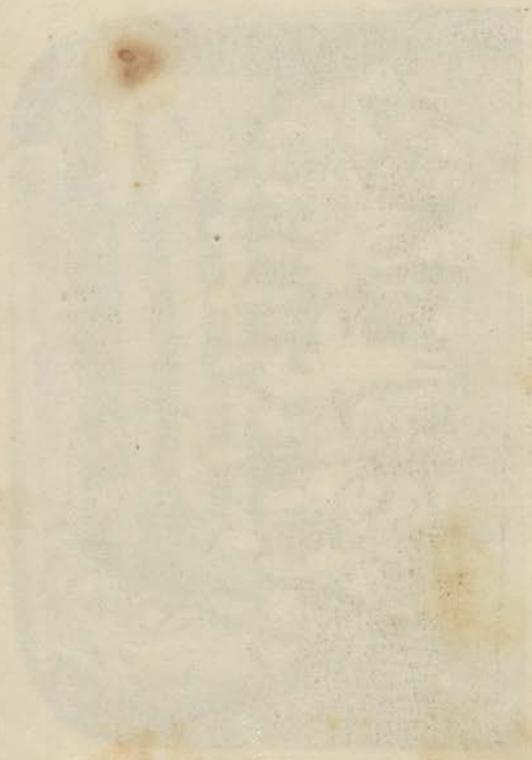
Faint, illegible text impression, possibly a date or reference number.



Faint, illegible text impression, possibly a date or reference number.



Faint, illegible text impression, possibly a date or reference number.



Faint, illegible text impression, possibly a date or reference number.



會報 第十二號

浦曙會會則

第一條 本會は廣島縣立尾道高等女學校浦曙會と稱し本部を同校内に置く。

第二條 本會は本校及卒業生を以つて組織す。

第三條 本會の目的は會員相互の交誼を温め親睦を計り兼て知徳を進むるを以つて目的とす。

第四條 本會は廣島縣立尾道高等女學校職員並に舊浦曙會職員を請ひて客員とす。

第五條 本會に左の役員を置く。
會長 廣島縣立尾道高等女學校長を推戴す。

副會長 廣島縣立尾道高等女學校首席教諭を推戴す。

幹事 事務會若干名を置く、内四名は廣島縣立尾道高等女學校職員中より會

員の互選に委嘱し他は會員の互選に

第六條 會長は本會一切の事を統理す。

副會長は會長を輔佐し且會長事故有る時は其代理をなすものとす。幹事は會長の指揮を受け庶務會計及會報に關する事務を處理す。

第七條 幹事の任期は二ケ年とす。但し再選する事を得。若し中途にて缺員を生じたる時は次

第八條 集會は毎年約二回とす。但し必要の場合に臨時開會する事あるべし。

第九條 役員會は必要に應じ之を開く。

第十條 本會は毎年一回會報を發行す。其の費用は會員は基本金として入會の際金參圓を納め且會費として毎年金五拾錢を納むべきものとす。但し集會の際出席會員にのみ要する特別費用は出席會員に於て其都度之を納むるものとす。

第十一條 本會に支部を置く。

第十二條 支部には數名の幹事を置き其地方の會員の取纏めの任にあたる事。

第十三條 二、幹事は其地方會員の消息動靜を毎年一

回以上本部に通知する事。

三、幹事辞任の際は後任を定め本部に通知する事。

四、浦曙會并に母校に對し希望有る時は意を纏め本部に申出づる事。

五、支部以外の者に對しては本部に於て取扱ふ事。

六、支部に於て經費を要する時は本部に請求する事。

浦曙會役員(現職員)

會長 佐藤良都知

副會長 田邊領一

職員 目今井篤三郎

高橋 靜子

第一回 野村喜代子

藤井 ふで

小田關代

井出上千代花

辨野タカ子

第四回 高垣シゲノ

第五回 山方いそ

第六回 東一 枝

第七回 貝沼うた

第八回 小山春子

第九回 木曾靜子

第十回 佐藤重代

第十一回 大山喜久代

第十二回 木曾季野

第十三回 小林光子

第十四回 松本操

第十五回 原田こみね

第十六回 富岡千代子

第十七回 山成道子

第十八回 村上宮子

第十九回 永井房子

第二十回 小森富士子

地方部幹事

一東京及其附近

越智 小西

山本ミチヨ

小西 静 豊田 清子 菅波ヒサヨ

前田 静枝 富田 壽子 金田 文子

奥山 彰子 石井 文子 村上千代子

一大阪及其附近 行廣キミヨ 村井 駒

生酒 藤本 初子

木井 慎子 岡崎 頼子 今川 好美

池田 敬子 瀧本 里子 打隆子

勝呂 庸子 福本 前子

一京都及其附近 野村 禧子 長和 秀子 星野 茂子

木浦 かな 賀川 道子 平田 隆子 田孝三子

渡邊 節子 大泰司 静枝 村上 ヨシ

一神戸及其附近 小川 サダ 村上 文子

大藪 はな 松葉 敏子 高田 ミキノ

村上 千里 池田 敬子 長谷川 孝子 高原 千代鶴

高島 タマ 橋本 キチ 堀江 真子 林尾 才木

橋本 キチ 中島 清子

一本森 イチヨ

一廣島及其附近 伊藤 菊野 山田 美知江 比嘉 中子 比嘉 花枝

橋本 信子 杉原 ミチエ

市川 千代子

荒木 花枝

一三原及其附近 中野 4トヒ 鳥田 フルコ

池田 政子 金尾 艶

一向島方面 惠谷 綾子 渡里 漂子 杉原 壽子 上田 仁子

一松永方面 江川 ヒサヨ 河本 キミ 杉原 ミチエ

一福山方面 藤井 悦子 北村 スエ 青木 秀子

一糸崎方面 田中 庸子 藤野 松榮 竹田 孝子

雑 録

内務省主催の第一回家庭經濟講習會に出席しての所感

檜垣保世(六回)

昨秋内務省社會局が始めての企にて帝都に家庭經濟講習會は開かれました。少數の男子を除く外は皆全國より集りたる女子教育家或は婦人會の代表者の方

因る島方御 麻生 縫 土を
お止下板
お止ヒサ
お止カヤ
お止タマ

々で約二百名足らずの講習員でした。僅かに二週間の講習會ではございましたが内務大臣閣下を始め社會局部長以下方々の御熱誠なる御盡力によりまして講師の方々より衣、食、住、國家財政經濟の一般にわたり多々有益なる御話を承り同講習會に出席させて頂きました事を身に餘る光榮と感謝致しました。短時日とは云ひながら朝は八時半より點燈の頃まで殆んど休みも無き位にまで講師の方々は勿論講習員の方々もそれは御熱心でした、得る所は確かに多大だつたと存じます。内務省が斯る講習會を御開きになつたのは國家の難局を鑑みて國力の振興を圖らむが爲、國民一般に自覺を促す爲の目的だつたのです。私の拙き文筆にて其内容を悉く網羅すると云ふ事は到底望むべくもあらず、又紙數にも限り有る事故其内最も重要と感ぜられました事のみ一部申上げて置き度い存じます。

十一月十六日の開會式に於いて若槻内相より訓示を賜りました時に、始めて今回講習會の開かれた御主旨を知る事が出来ました。大正十二年九月一日。我帝都を中心として關東地方の大震火災は忘れんとし得ざる事、事の出来ない最も記憶深き事と存じます。

華美を盡した帝都は一朝にして灰燼に歸し、巨億の富は失はれました。將來報國の雄志を抱く我同胞も亦多く失はれました、畏くも儂溼なる復興の詔書を下賜されましたのは其時でした、さるに後又幾許もなくして國民精神作興詔書の御煥發あらせられた事は誠に畏れ多い事でございます。華美を装ひし都人士も着るに衣無く、食ふに食無く、富者も貧者も皆等しく生活の不安に塞され日夜恟々として居たでせう、其時に於て誰が奢侈を願つでせう、贅澤を望みましたでせう、其時こそは我國民に鋭く覺醒の大鉄鎚は下されました、其當時帝都に於ては外出の際婦人に於てさへも絹布は之を身にまとわず、顔に白粉塗る人も見受けられなかつたと云ふまでに緊張して居たと云ふに、僅かに二ヶ年の歳日を経た今日の社會の状況はどうでせうか？ 咽喉元すぐれば熱さを忘れるとやらの諺にもれず、早くも都の人士は奢侈贅澤の昔にかへるが如く思はれます、否都人のみとは限りませむ田舎にまで及ばず影響は恐るべきものがあります、一例を結婚式服にとつて見れば上流の人達が用ふる振袖模様の華美なる幾重ね、それに打懸とやら、花嫁は式場に於て五度、六度、七

度と目まぐるしい程に衣装をかへると云ふ始末、この悪弊は近來田舎にまで及ぼして來ました事は確な事です、まるで旧幕時代大名の姫君そのまゝを似ねて居ると云ふに至つては驚かすには居られませむ。

二度三越呉服店に足を踏み入れてみると第一其人の多いのに驚かされます、人々は皆それ／＼に華美を競つて奢侈品をあさる爲黒山の盛況と云つてもよろしいでせう。輸入品の目新しい品は特に人氣よく三越見學の目的をもつて出かけた自分は紙の如くにあつさりどつかふ富豪とやら云ふ人士にあきれてしまひました。我國現在の内情をも知らず自分一人の慾望を満足せしめんが爲何と云ふ氣毒な人達たらふ又國家の爲に何と云ふ悲しむべき事たらふ。

實質剛健の農村の人々へ勤儉を説くよりも先づ都の人士より……………と痛切に感じました。私共は斯る亡國の民の行意を似ねてはなりません。

我國が「豊葦原の瑞穂の國」と稱へられたのは大昔の事で人口の至つて少かつた昔と今とを同様に考へて居ては大變な間違ひです。我國民の現在の生活状態を見るに第一土地は狭少にして人口は日々に増加し今や我國には八千萬、今に一億に達しませう、今でさ

半數は農家であるに一億になつたら四千万の農民を入れる土地はありませんまい。加ふるに天然の資源には乏しく今でさへ第一私共の日常生活に於て必要な食料品にまで欠乏を來して居るでは有りませんか。私共が寸時もはなす事の出來ない衣類にしても絹布を除く他は皆外國よりの輸入を仰がなければならぬのです。一國の文明の程度を知るは其工業の發達の如何を見ると云はれて居りますが、工業に最も必要なるは鉄、石炭、石油等でせう、然るに我國にて産出する數は實に微々たるものです、殆ど外國よりの輸入を俟たなければならぬ、それも正貨なりと豊富なればまたしもだが苦しい國家經濟の内より年々外國に拂出さなければならぬ金額は多大なものでございます、それも一國の工業の發達の爲、日常生活に於て必要欲くべからざる物の爲なれば資源に乏しい我國としては當然の事とも云はれませうが、大正八年より大正十四年に至り年々超過された輸入品の中には我々の生活に於て何等必要無き贅澤品の多く含まれて居る事を忘れてはなりません。

政府は去る年國民精神の作興に關する詔書の御趣旨を奉体して勤儉力行の美風を掲げ、以つて國運の伸

張を圖らむが爲に大正十三年八月、勤儉獎勵に關する計劃要項を定めて其趣旨の普及と計劃の實施に努められました。其要旨とする處は、勤儉と申せば敢て人に難きを求め無理を強んとするのではなく、戰時好況時代に馴致された、奢侈放縱の弊を矯め、實剛健の美風を起し、能く勵み、よく蓄へ、以つて國家の難局を打開せんとする主旨に外ならないのであります。

自己の爲、社會の爲にならぬ消費は之を節約すればそれでよいのです、あらゆる物質は國家の物でございます、無駄な消費を避ける様努力致しませう。

歐洲の大戦に於て我貿易は曾てなき盛況を來し大正九年末には正貨一躍二十一億七千万圓（大正三年正貨保有高は僅かに三億四千万圓であつた）の巨額に達し黄金の洪水に見舞はれた我國民は其醇厚なる美風を失ふに至つたのです。所謂成金と云ふ者が多く出来る。斯る人々は金にあかして日夜贅澤を盡し成金風の勢は實にさまざまのものであつた。其が爲社會の思想は日々に悪化し勞働者階級の者に悪影響を及ぼした事は多大なもので、女は虚樂の夢をむさばり、男子も亦剛健の氣風を失ふに至りました。元來

我國民は斯る怠惰な國民ではなく寧ろ勤勉な國民であつたのです、然るに戰時好況時代の弊風が今尙人心に浸み、彼の大震火災をしても猶一掃する事の出來なかつた事は何と云ふ悲しむべき事とせう。我國民は日清戰爭に於て實力養成の必要を感じました、そして日露戰爭に於ては外國を驚嘆せしめ、漸くして世界の一等國に加へられたのです、彼の日本海開戦に於て東郷大將が「國興ノ興敗コノ一戦ニアリ各員一層奮勵努力セヨ」と訓令された時。我同胞は一命を擲つて皇國の爲に聖く戦ひました。男子は國家の爲に聖血を流し老人婦女子は家に居て又夜となく晝となく國家の爲に勵み戦勝を祈つた事とせう。

子等は皆戰の庭にいざはて

おきなや一人山田守るらむ

先帝陛下には斯くも民草の上を深く思召された事は誠に恐れ多い事でございます。戦終りて後も猶國民は緊張した氣風を持續して居たと云ふに今の状態に比べてみれば國家の難局をも顧みず怠慢に流れ一般に浮薄となりて來ました。關東大震災後間もなく御換發あらせられた詔書の御趣旨を熟々拜しまするに先づ冒頭に於て「國家興隆の基は國民精神の剛健に

在り」と仰せられ次に「之を涵養し之を振作し以つて國本を固くせざるべからず」と宣せられ、一轉して教育勅語並びに成申詔書の御趣旨は國民精神を涵養し振作する所以の洪謨に外ならざるを示させ給ひ、再び「輓近學術益々開け人智日に進む然れども浮華放縱の習漸く萌し輕佻詭激の風も亦生ず」と仰せられました。其御聖意は誠に深遠にして我々臣民の深く思を致し反省すべき事と存じます。猶更に「今に及びて時弊を革めずむば或は前緒を失墜せむ事を恐る」とまで御憂慮相成つた次第も拜察するのでございませう。我國民の踏むべき道は明かに示された其一線なのです。詔書にも「先帝の聖訓に恪遵して其實効を擧ぐるにあるのみ」と仰せられました。國土開けてより外國よりの侮を受けた事の無い我國体である所に努力は必要なのです、土地狹少にして資源に乏しい我國は勤儉で有るより外に國運の振興を圖る道はないのです。勤儉の反面には創造の半面の有る事を忘れてはなりません。従來「金持が贅澤をするは貧乏人の爲にはよい事だ、子の爲に高價な品物を買ひ求める事は子を愛する親の美德だ、經濟のゆるす限りは自己の慾望を満足せしむる事は自由で有る。各

自の競争によりて社會は進化するので有ると」云ふ思想は英米に起り、やがて我國へも流れ込まずには居りませんでした。一にも二にもデモクラシーの乱用された時代がありましたのは其時です。成金連も労働者も大いにデモクラシーを發揮したものです。有財の士は舶來崇拜のメートルを極度に昇した、商人は又その需要の多い爲に全力を注ぎこの時に於て貿易は全く逆調したのです。これが爲に國內の産業は日々に衰へ正貨は國外にどん／＼流出する、國債は増す、財政は困難となり遂に外國よりの信用は失はれ戦時好況時代對米爲替相場は平價以上を越し五二弗まで騰貴したものが漸次下落し彼の大震災當時は三十七弗まで下落したのでした。即ち日本の正貨百圓は米國の正貨七十四圓にしか相當しなかつたのです。斯る状態をみてどうして覺醒せず居られませうや社會には重要な事業は澤山有るのであります。私共が箝笥の中に幾枚衣類を重ねても結局衣類整理に煩はしいばかりです。無駄な費用は之を省き出来るだけ貯蓄し國家の有益なる事業に用立つ様努力致しませう。申上ぐるも恐れ多き事ながら上皇室よりその範を御示

し下さいましたではありませむか。攝政宮殿下には御成婚の際其費用の内約百萬圓を御節約遊ばして社會事業にお投じ下さつたのです、又内親王殿下御降誕の折は長くも皇后陛下におかせられては御産衣にメウンス御肌着に晒木綿を御用意遊ばされたどの事ももれ承り下人民は實に恐れ多き事に存じました。國家の基礎は家庭です、砂丘に建設された家屋は如何に危険なるかの言を俟たぬは當然です。私共は小さい乍らも國家の礎となる一分子である事を自覺致しませう。健全なる家庭の鍵を握る者は誰でせう？之婦人に與へられた重大なる使命と云はなければなりません。昔から洋の東西を問はず愚母の元に偉人のあらはれた例は有りませんでした、こゝに婦人としての使命の尊さ、責任の重大さを知らなければなりません。國家を納めるには女房、説法、鉄砲、この三つより主義でなければならぬと嘗て大江スミ子先生より伺つた事が有るが實に意義ある事と思はれます。主人が内閣総理大臣なら主婦は内務大臣です、其任や重大と云ふべしです、私共はお互様に女と生れ各使命を與へられました、先づ自己を修養し國家の爲に盡しませう、女と生れた誇は又こゝに有るのです

同窓の皆々様の中には幾人かの母君として日々御盡しの方々も多い事でございます、どうぞ健全なる第二の國民を御育み遊ばし母としてこの尊い使命を御果しあらむ事を御願申上げます。あまりに長く書き續け下らぬ筆の後や先で失禮致しましたが終りにのぞみ御参考にもなる事故我貿易状況及財政經濟一般状況を大略申上げて置きます。

我國貿易及財政經濟一般狀況

1、各國國富總額の比較

國名	國富總額	國民一人當正
米國	七千億圓	六千五百八十圓
英 國	五千六百億圓	七千九百十圓
佛 國	二千億圓	四千八百二十圓
獨逸	一千六百六十億圓	二千七百二十圓
伊太利	六百億圓	一千六百三十圓
日 本	五百億圓	八百九十圓

(一九二一年ウオール、ストリート)

ジャーナル紙所載大体)

2、貿易狀況

凡そ對外貿易の盛衰は國力の伸張に甚大なる關係を

有する。貿易關係の逆調を持續する場合は正貨の減少を來し爲に外國よりの信用を失ひ、爲替相場は下落する。數字に現れたるが如く大正四年より七年迄は戰時の影響を受けて我輸出貿易は空前の盛況を呈し大正八九年の頃より今日まで入超を持續して居ます、我國財政の前途は實に危機に迫つて居ます、此經濟上の難局を打開せんには資本家労働者共に一致協翼して優良なる内國製品を製出し、國産品の使用を奨励し舶來品崇拜の夢を破り貿易の振興をはかる事が必要です。

大正四年より大正十三年までの輸出、輸入超過額比較。

年	輸出超過	輸入超過
大正四年	一億八千四百万圓	
五〃	三億八千三百万圓	
六〃	五億八千七百万圓	
七〃	三億二千万圓	
八〃		四千五百万圓
九〃		三億三千九百万圓
十〃		三億六千九百万圓
十一〃		二億五千三百万圓

十二〃 五億三千五百万圓
 十三〃 六億四千六百万圓

輸出超過總額
 自大正四年 十四億七千四百万圓
 至大正七年

輸入超過總額
 自大正八年 二十一億八千七百万圓
 至大正十三年 七億一千三百万圓
 差引 額

大正十二年主要貿易國に就き調査

輸出に於ては

年額
 米國第一位……六億五百万圓
 支那第二位……二億七千二百万圓

大部分は生糸、其他絹織物、磁器類、主なる物綿織物、精糖、綿織物、水産物、絹織物

輸入につき見るに

米國第一位……五億一千万圓

其主なる物 綿花、木材、機械及其部分品

鐵類、自動車、革類

英領印度第二位……三億五千万圓

其主なる物 綿花、鉄塊、鉄錠、革類、
英國第三位……………二億三千七百万圓

其主なる物 機械及同部分品、鉄類、毛織

物、工業用藥品、

支那よりは綿花、油漕、石炭、苧麻、生絲、食塩、
米、豆等で有る。

之等貿易によりて見るに我對外貿易は原料品を輸入し之を加工して輸出す、故に日本が之等の原料品を産出するなれば年々巨額の入超に悩まされる事は無い筈である。右は單に其主なる貿易に就いて申上げましたが、私共に最も關係の深い日用品の輸入品を擧げて見ますと、砂糖、菓子類、茶、コーヒー、野菜類、果實、肉、ミルク、罐詰、煙草、石鹼、化粧品、齒磨粉、毛糸類、ビロード、フランネル、シャツ、帽子、靴、織物、時計、等にて之等の輸入超過額は大正十參年度に於ける調査によれば二億二千九百万圓に達して居る、其一部を擧げて見れば左の如し。

砂糖、菓子 六千四百六十六万二十四圓

酒 類 三百六十一万四千圓

茶、コーヒー 四千六百七十三万圓

煙 草 二千七百五十五万圓
毛 糸 六千三百五十八万九十四圓

（ビロード） 三百七十四万七十四圓
フランネル

シヤ 八百五十九万八十四圓
計 一千五百三十五万六十四圓

更に私共の生活に何等關係なき寶石其他裝飾品の輸入総額を見るに大正十二年に於て五百万圓輸入されたものが震災後の大正十三年に於ては急に激増し一千百万圓に昇つて居ます、あれほどまでに苦しい打撃を受けながら斯くも奢侈の風の改まらないのは何を物語るでせう？ 好況時代に結んだ歡樂陶醉の夢は今尚蛇の如く我國民の心につき纏めて居るのでせう

3、我日本の國債

大正十四年二月末に於て調査せしものによれば

内國債 三十三億五百万圓

外國債 十五億一千四百万圓

其利子を平均五分五厘と見ても一ケ年に二億六千五百四万五千圓になる。之を國民一人當にすれば約四圓七十錢で有る、外國に支拂ふ利子を平均五分として一ケ年一億圓に近い金額に昇る、それだけは正し

く年々我正貨保有の減少を來たす事になるのであります。さらでだに貿易の入超により年々正貨の減少を來しつゝ有る時にあつて其巨額の國債は我國力の進展に一大障害たるのみならず國家財源の基礎を確實ならしむる上に實に遺憾なる次第であります。斯るが故に國を擧げて勤儉力行し國運の振展に努めなければならぬのでございます。

日本の國債

大正五年 二十四億六千八百万圓
 大正六年 二十六億九千九百万圓
 大正七年 三十億五千二百万圓
 大正八年 三十二億七千八百万圓
 大正九年 三十七億七千八百万圓
 大正十年 四十億七千七百万圓
 大正十一年 四十三億四千万圓
 大正十二年 四十七億三千万圓
 大正十三年 四十八億一千九百万圓
 大正十四年 二月末

斯の如き巨額に達しました、之を國民一人當に致しますと一人につき八十六圓二十五錢負擔して居るわ

4、正貨

大正三年に於ける我正貨保有高は三億四千万圓であつた。然るに歐州大戰中所謂鬼の居ぬ間の洗濯賃ども云ふべき輸出貿易の盛況により大正九年末には一躍二十一億七千万圓に達しました。この時に於て我國民は深く感銘し、進んで國運伸展の爲將來の計を樹て、他日の備となすべきであつたのです。

然るに大正九年以來國民精神は怠弱となり黄金の波に陶酔した爲、輸入超過となり大正十四年三月末には内外を合して十四億六千七百万圓に激減した。然も其内外債利拂資金として約三ヶ年分二億四五千万圓と國內兌換準備として三億圓、一億五億圓の正貨は否でも應でも用意をせねばならぬと云ふ、我國の斯る貿易を其儘持續せんか、國際取引の決濟は如何にしてなすべきか寒心の外ありませむ。

正貨保有高

大正七年末 十五億八千八百万圓

全 九年末 二十一億七千八百万圓

全 十年末 二十億八千万圓

全 十一年末 十八億三千万圓

全 十二年末 十六億五千二百万圓

全 十三年末 十六億三千五百万圓

大正十二年二月倫敦及紐育に於て借り入れたる外債五億五千万圓を加入した額なりこれを差引すれば八千五百萬圓なり

全國正貨の大略百六十一億八千万圓有る内米國の如きは七〇億圓の正貨を保有して居るとの事、其の上天然の資源豊富なる故近來米國は小アメリカを組織して外國との交渉を絶つとさへ稱へ出した程で我旧幕時代の鎖國主義を取りても一向影響はされないこの事である。ちなみに歐州大戰に於いて消費されたる總額は實に四千億圓、然して我正貨及其他全財産總額は僅かに八百億圓に過ぎずと。

5、郵便貯金 (明治八年五月創始)

我郵便貯金は三十三ヶ年の長年月を要し一億圓に達し、近時加速度を以つて僅かに十四五年間に十億圓に達した。預金者數の多數なる事世界第一位、然し

乍ら預金額に於て見る時は英國の二十六億圓、濠州聯邦の十八億圓に及ばざる事遠く伊太利の十三億圓に次ぎ我國は第四位に有り。預金者一人當金額は最低位である。

各國郵便貯金比較高

米 國 二億七千三百三十萬圓 一人當平均

預金者數 四二萬人 六五七・〇〇〇

オーストリア 十八億五千一百一十一萬一千圓

ラリヤ 四〇九方五千人 四五二・〇〇〇

伊太利 十三億四千七百二十六萬二千圓

六七一萬四千人 二〇〇・〇〇〇

ベルギー 七億六千二百九十四萬五千圓

三百九萬九千人 一九五・〇〇〇

英 國 二十六億九千九百八十八萬八千圓

千七百五十三萬六千人 一四八・〇〇〇

佛 國 十億三千三百九十萬八千圓

七百六萬二千人 一四七・〇〇〇

英領印度 一億四千九百六十八萬六千圓

二百四萬三千人 七三・〇〇〇

日 本 十億九千八百七十五萬三十圓

二千七百八十三萬七千人 三九・〇〇〇

6、爲替相場（我對米爲替）

邦貨百圓に對し米貨四九弗きの割合を以つて平價と稱す。一弗（邦貨の二圓に相當す）

大正三年爲替相場 四九弗

大正五年 全 平價 五十弗弱

大正七年 全 五十一弗 五十二弗 (戰時好況時代)

大正九年 全 五十弗 四十八弗以下

大正十一年 全 四十八弗 四十七弗

大正十三年 全 四十弗 三十七弗

大正十四年三月 全 四十弗 四十一弗

斯の如く爲替相場の低落は我國に取つて金錢の損失であつた。然し近來新聞紙上で皆様も御承知の如く段々好況を呈し米日爲替は暴騰し一時ニユーヨークに於ける爲替は四十六弗まで回復した様子を見るに至つたのは悦ばしき事と存じます。

7、我國の面積……………四万四千方里

耕地面積	佛	國 六割九分五厘
	獨	逸 六割四分八厘
	英	國 六割四分五厘

ベルギー 七割二分三厘

伊太利 四割

日 本 一割三分五厘

耕地面積對する人口の密度 (一九一〇年調査)

日 本 一平方里に就き 一九六九人

ベルギー 全 一三九四人

佛 國 全 一〇八人

英 國 全 一二九人

伊太利 全 一三〇五人

8、鉄と鋼鉄

一國の産業の發達に重大な關係を有する此兩者を豊富に有する事が今日の英、米の國富をあらしめた。我國は其産出する量極めて少く海外よりの供給を仰ぐ事大なり。爲に兩者の爲に年々莫大な金額を外國に支拂はなければならぬ。

主要各國鉄産出高 (大正十二年)

米	國 八千三百九十万噸
英	國 一千五百八十四万噸
佛	國 九百九十六万噸
日	本 九百五十万噸

ベルギー 四百三十万噸

日 本 一百四十三万噸

大正十二年我國に於ける鉄の需要狀況

需要 高 二百六十三万六千噸

生産 高 二百四十三万噸

不足輸入 高 百二十萬六千噸 (此價額 一億五千六百六十四万圓)

機械は除く。

生産高の中には支那より輸入した七百三十万圓の鉄鑛を含む

9、石油 (一國の産業上極めて重要なものなり)

其産額と比較すれば

米 國 六億三千五百四万石 (日本の四百倍)

メキシコ 一億二千九百十四万四千石

ロシア 三千二百九十七万六千石

日 本 百五十七万六千石

我國石油需要狀況

需要 高 三百四十九万三千石

産出 高 百五十七万六千石

輸入 高 百九十一万七千石 (此價額三千六百二十一万圓)

六千二百二十一万圓)

10、金産額

國家財政經濟の消長に關係大なり。外國一切の貸借の決済は正貨によるものなり。

金産出主要國 (大正七年と大正十一年迄の一ケ年間の平均)

の平均)

アメリカ、英領トランスパール及ローデシヤ 三億五千九百万圓

アフリカ、英領リ 一億一千二百十二万圓

オーストラリア、英領 四千七百五十五万圓

カナダ、英領 三千六百七十九万圓

メキシコ 三千九百二万圓

南アフリカ諸國 二千五百二十七万圓

英領 印度 一千九百二十二万圓

日 本 一千五百五十七万圓

11、棉花

棉花は我國民衣服の主要原料である。

一ケ年需要 高 一億四千六十五万五千貫

我生産高 六十萬貫

需要不足額 一億四千五千萬貫

金額にして一ヶ年實に五億一千三百萬圓の棉花を主として米國支那、印度、埃及ヨリ輸入す。尤もこの巨額の棉花は我國にて全部消費して仕舞ふのではなく之を原料として或は棉糸或は種々の織物として海外に輸出す。其額 三億一千四百万圓

主要産出國 (一俵六十貫五百匁)

米 國 一 千 百 五 十 二 俵

英領印度 二 百 四 十 九 萬 七 千 俵

埃 及 九 十 九 萬 俵

支 那 九 十 萬 俵

ロシヤ 五 十 五 萬 俵

ペル 一 十 一 萬 四 千 俵

日 本 七 千 俵 (朝鮮に産す)

最近三ヶ年間に於ける日本の綿花輸入額

大正十年 四億三千八百七十七萬圓

大正十一年 四億二千八十四萬圓

大正十二年 五億一千三百七十七萬圓

12、羊毛、毛糸、毛織物

我國の毛織物需要は早々明治以前に起る。其後歐洲諸國との交通頻繁となるや需要も亦著しく増加し、歐洲大戰までは内地製品は常に輸入品の補助的供給に過ぎなかつたものが、かの大戰勃發は斯業に對し異常な刺戟を與へ其發達顯著なるものあり、其結果原料羊毛の需要激增し織物の輸入は激減するに至つた一般生活の向上するに至り輸入額は今後漸次増加すべき状態に有る。然るに斯る原料たる羊毛は氣候風土の關係より我國に於ては充分な供給を見る事は出來ない、故に徒に無用なる物の爲の消費は之を節約すべきである。

日本に於ける羊毛、毛織糸、毛織物需要供給

大正十二年輸入總額 二億二百四十二萬圓

全 輸出總額 四百二十八萬圓 (毛織糸)

差 引 輸 入 高 一億九千八百十四萬圓 (及帽子)

主要羊毛産出國比較

濠洲 一九二一年 六億九十三萬ポンド

(日本の八一四〇倍産出)

米國一九二二年 二億六千一十萬ポンド

日本の(二五三三五倍產出)

日本 七萬三千九百ポンド

最近三年間羊毛、毛織物、毛織糸輸入比較

大正十年 七千八百四十九萬圓

大正十一年 一億五千三百八十八萬圓

大正十二年 二千二百四十二萬圓

13、米

米は我國民の常食品にして生活必需品の第一位にして我國民の經濟生活の上に最も重大なる關係を有す朝鮮、台灣の移入米を加ふるも尙我國民の需要に應ずる事能はずして年々海外よりの輸入を仰ぐの悲しむべき狀態にあり。

この不足に對しては酒の消費を節する事によつて年々約三百五十萬石に達する釀造米を節するの一方法ならむ。一面に於ては耕地を開拓し農業經營方法の改善により生産の増加を圖る事に努めざるべからず。

最近五ヶ年間米の生産高及消費狀況

生産高

大正九年 六三二一萬石

大正十年 五五一八萬石

大正十一年 六〇六九萬石

大正十二年 五五四七萬石

大正十三年 五七一七萬石

大正十四年に於ける米實收高は五千九百七十一萬二千三百一十石之を前年度收穫額に比すれば二百五十四萬三千一十石を増加したと云ふ

消費狀況

内地消費高 五ヶ年間平均 六四七五萬石

内地生産高 五五〇〇萬石

臺灣、朝鮮移入高 三七〇萬石

差引不足額 二百七十一萬石

即ち毎年約二百五十萬人分の米が不足して居る。

尙この外には麥類、豆類其他を輸入して居る。

最近麥類輸入超過額一ヶ年平均二百六十萬石

(平均金額四千二百二十三萬圓)

(附) 大正十二年

豆類 四千八百萬圓

砂糖 三千七百七十三萬圓

14、酒

大正七年より大正十一年に至る
酒造米の消費量平均 三百五〇萬石

我國民の食する米は二百七十萬石の不足して居る、之を補ふ爲に我國は海外より米は輸入せられて居る、この酒を造る米を節約すれば海外より輸入せられなくともよろしいのではありませむか。實に惜しい事である。今假りに酒造高五百萬石として一升の酒の値段を平均一圓八十錢とすれば九億圓となる。其外ビール約八十萬石とし一本の値段四十錢とすれば八千萬圓となり合計九億千萬圓となる。之等の金は年々害にこそなれ實に無益に消費されて居る。

今若しこの二割を節約すれば一ヶ年一億九千六百萬圓に達し之を他の有益なる生産的方面に投じるなれば國力充實に資する事極めて大なりと思ふ。

又之を個人に就いて見るに假りに二十歳より六十歳迄四十一年間毎日一合の晩酌を取る事とせ假りに平均一合十八錢とみる時は之を年八分の復利に換算すれば實に一万七千二十圓餘と云ふ巨額に達すると

云ふぢや有りませんが、國家的に見ても個人的に見ても實に驚べき無駄な消費と謂はなければなりません。之は主として男子に關係深き事にして酒好家に全然禁酒を願ふは無理な相談かも知れないが、成るべく從來の如きみだりに行はるゝ宴會等は之を廢止し、國民の尊い常食品を無駄に消費せぬ様自覺して頂き度いものです。

酒の消費量

- 大正四年 四百四十二萬四千石
- 全 六年 五百八十七萬八千石
- 全 八年 七百十三萬四千石
- 全 十年 六百七十六萬八千石
- 全 十一年 七百三十三萬二千石

大正十二年の酒代は約十三億二千萬圓にして平均一日三百六十二萬圓消費せられ、國民一人當二十二圓六十錢なりと云ふ。此一ヶ年間の酒代にて五千噸の貨物船(一隻造船九十万圓)を一千四百六十餘隻造る事を得と云ふ、實に嘘の様な眞實の話でございます

15、煙草

消 費 費 高

大正三年 八千四百万圓

大正十二年 二億六千七百三十五万圓

實に大正三年に比し十ヶ年間に約

三倍の増加

内地産のもの

紙卷煙草 大正三年 二千九百万圓

全 八年 九千六百万圓

全 九年 一億三千百万圓

葉卷煙草 大正三年 十七万圓

全 八年 八十四万圓

刻煙草 大正三年 五千四百万圓

全 八年 七千七百万圓

外國品

大正三年 五十万圓

全 八年 二百四十万圓

今假りに大正十二年の消費高二億六千七百三十五万

圓の一割を節約すれば約二千六百七十四万圓を出す

事が出來之を生産費に運用する事が出來ると思ふ。

大正十二年中に喫つた煙草の價額は約二億七千万圓

として見れば平均一日約七十四万圓を煙にして居る

今假りに敷島二個づゝ二十歳より六十歳まで四十一

ヶ年のめば數量にして五十九万八千六百本にして此
延長里程十二里二十二町餘、この金額約三万七千五
百圓（年八分一年一回複利概算四十一ヶ年分）
驚くべき三十錢煙草侮るべからず。害毒ニコチンの
量は八百匁餘なりと。

煙草は政府の利益の爲の作業なれば憚るところなし
と思つてはならない、多く其原料は海外より輸入さ
れて居る。

次に我國民の最も反省すべきは結婚費で有る。左に
年収に對する各國の費用を比較すべし。

年収一万圓の家庭 年収二千圓の家庭

英國	八分	一分
佛國	一分	一分
獨逸	一分	一分
米國	二分	二分
伊太利	四分	四分
西班牙	五分	七分
露國	八割	八割
日本	二十割	二十五割
支那	三十割	三十割

斯の如く我結婚費用の嵩むは我國民の氣風が虚榮虚

飾に流れたる結果に外ならぬものである。あれもこれも淺き記憶繰出したものですから意外に長くなりましたが私達は以上の事情に鑑みて將來の方針を樹て万事質素を旨とし、善く働き、善く蓄へ以つて國家の爲に盡し度いものでございます。

創作

老人の眼 無名 (第十三回)

私にとつてこの眼鏡は生命なのだ。この安つばい粗末な硝子玉が……

私はこの眼鏡を離さず身に付けてゐる。そして私はこの眼鏡を見る度に、あの哀れな老人についての幻影を思ひ浮べずには居られない。

あの灰色に包まれた年重なる經驗を一つ一つたへて居るしわのある顔面と、半透明な白膜にかすんで衰へた老人の眼を思ひ出した時に、いつも、この眼鏡がناقかしい。

いつもどんよりとした力なげな視線を投げかけて。そうだ。

誰にだつて、あの老人の眼をみつめた瞬間「まだこれからやつて來る人生には、如何なる苦しみも翼をひろげて待つて居るだらうかしら。そして人間はそれのたくさんの苦しみに必ず勝ち得し最後の勝利を得る事が出来るものである。しかしそれまでには、非常な努力が必要である。そしてそれまでに人間は老いて死に近づく。」と云ふ様な事を暗示されるであらう。何んだか私は泣きたくなる。

「どうかその苦しみの一つ一つを私に話して下さい」と私の心はささやく。

こんな印象を思ひ起させてくれるこの眼鏡——それは學期末の試験期だつた。

あわたぐしひ日が、冬の短い日と共にめまぐるしい程、どん／＼過ぎていつた。

灰色の空に箒を立てた様につつ立つて居る木々から毎日一せいにかさこそと木の葉が散つた。散つた葉つばが地上で風に吹かれては丸い圓形を描いてぐる／＼何廻となくダンスをして居た。誰れかに落されたか、眞赤なりボンが活々としていそがしい、樂しうな落葉のサークルダンスにみだれて居た。

さや／＼と三々五々つれだつて今終つたばかりの

試験の結果に就いて語らひながら講堂の出口から大勢はき出された。私もその中の一人だった。

講堂から出るとすぐ私は無言のまゝでどんよりと曇つた大空を仰いだ。

私は試験の結果云々については無頓着だった。

ふと、いつも握る左の手が何んだか物足りない事に気がついた。

あら眼鏡を忘れたんだわ……急いで引き返して

まだ暖みのある机、腰掛けを彼處此處と探廻つたが見當らない。

それもその筈、眼鏡はコンクリートの上で落されたまゝこなみちに碎けて居た。それから二十分ばかり後には私は新しい眼鏡を買ふために郊外の町を探して居る自分だった。

冬の日には短かい

道を往來する人々は少しでも急がしい歩調を取つた。東の空にいつも眺める大きな星が冬特有のきらめき方をした。私はほんとに悲しくなつた。眼鏡がなければさすぐ明日の授業にも試験にも差支へる程の自分の惨さ。……

私はまだ先つき講堂で試験をしたきり疲れ切つた頭

を休める事も出来ず、寮に歸つて、ゆつくり袴を取り換へる事も出来ない。

お机の上では私のあのお人形が時計をかゝえたまゝ待つて居るだらう。

きつと、今夜は放り投げられた私の包みを眺めながら歸り遅しと待つて居る事であらう。

淋しい坂を下つて賑かな通りに出て來た。

私の歩調はかけ足のように速かつた。

向ふから矢の様に疾驅して來る自轉車に幾度もぶつかりそうになつては、はげしく警戒のベルを鳴らされたり、又道ばたで二三人仲よくまり投げに夢中になつて居る可愛らしい女の子のまりを蹴散らそうどしたりした。急げば急ぐ程本來のそゝつかしさで失敗してしまふ。

何處かの家で、アウムが、「お早やう 奥さん」と奇妙な聲を出して居るのも、尙更、せつちちな私をいらくさせた。

明日の試験も氣懸りだ。それに寮の誰方にもおことわりしないで急いで出て來た。私は何度となく溜息をついた。遠い／＼あの母がなつかしい（私は自分

が困る時には故里の母を戀ふるのが癖だった。母の優しいほぐえみがちらついてたまらない。拂ひのけてもく後からく母の優しい微笑が、幻影が、いくつもく浮んで來てなほく私を淋しくさせた。

こんな時、あゝこんな時こそ母の傍に居たなら……あゝ、やつぱり家が、古里がなつかしいのは……何んだか涙ぐまれる。

W町の終点を過ぎて少し行く小さな眼鏡屋があつた。「眼鏡」と云ふ字をちらつと一目見るや否や、ずく店の中に入つた。そこには七十才ばかりの老人がうつむいて何にか読み耽けて居た。

私のせかしくした心に引き換へてその老人の居る眼鏡屋の雰囲氣は余りに物靜かで総てが、落附き拂つて、シーンと靜まりかへつて居た。私はまだせかしくしながら眼鏡を調べて居た。

老人は私の命に従つて硝子の玉に柄をつけてくれて居た。眼鏡を手にした事は嬉しかつたが、私は歸寮時間までに歸りたくて又せかしく始めた。

絶えず、にじみ出る汗をふき拭つて居る私の方を見て「どうぞも少しですから、これにおかけなして」

と小さな椅子を進めた。

ほつと赤るゝ電光が輝やいた

所々白髪まぢりにはげた老人の頭が異様につるゝ光りを放ち始めた。

そして何物の蔭影が小さな斑点がそこに落ちた。いつもの私なら確しかにをかしめて笑つたに違ひない。聲を出して笑はない迄も心の中では笑つたに相違ない。しかし今はそれも別に私の興味の中心にはならなかつた。そんな事はどうでもよかつた。

唯、老人の手先きと、老人と同様に古びた舊式の大時計とをかはるゝにらみ付けるのに氣が氣ではない。

不思議な事には其の老人の家は物音一つしない。厚い硝子戸で外の雜音をさへ切られて外の雜音は遠い別世界の物音としか思へないほんとに靜かだ。

家の奥の方から、おさつのお養付けの匂ひが、ゆるやかに、たゞよひ始めた。でも人の足音も耳に響かない、此の騒やかな町の中に之れは又靜けさそのもの小さな別世界だ。

それはほんとに老人の住家に房はしい、そして隱遁的な考へ深い老人の住家を思はせた。私の心もた

ん／＼落着いて「静かに時を待てばいいのた、そんなにせか／＼急いで何文の價值がある。私の理知の聲がさ／＼やく、かすかながらまだおさつの匂ひがあたりたりに漂ふて私はどうしても質朴質實な、老人だと思はざるを得なかつた。

二十分待つても、三十分経つても、四十分忍んでも

……四十五分待つても……

まだ、眼鏡は出来なかつた。又そろ／＼私の心がどよめき初めた。

「あの、ちよつと、もう五分までに歸らなければ……」と急に出しぬげに聲をかけたので、老人は急に頭を上げて、手先を休めて、不思議そうに、私をながめた。

「あの私、一定の時間までに寮に歸りませんと困るんでございますから。」

と又少し落付いて理由を判然と述べたので、老人は私の言葉の意味をさどつてくれたものか、私が何を希望してゐるか解された様に見えた。

そしてすまないと云つた様な顔付きをして、

「失禮しました。實は先達私の此の眼鏡の玉をこわしましてその變りはございませんので、この玉の柄

を通す穴がしつかり落付かないので困つて居りますそれは／＼まことにすみません。それは／＼」と心の真底からしわがれた老人特有の聲を出して私に詫びるのであつた。

「では少々ゆがみますが急いで入れて見ませう。」と又しても、何んだかわからないもので、ごし／＼やり始めた。

それから三分位経つて「これがなければお困りです。せうから今日はお持ちなして、又明日お持ち下されば私が工合よく直して、差上げますから、まことに相済みません。」

その言葉は老人の心の底深くからほど走りでた暖いお詫びの言葉だつた。

その時の老人の両目には眼鏡が三重にはめられて居た。静かな家は、まだ静かだつた、約五十分の間に何の物音もしない、たゞ静かな空氣の中で私の好きなおさつ、の香ひが、たゞよつて一層、静けさに親しみのあるうるほひをあたえた。

其の時、奥の方から姿は見せず、唯老婆らしい聲がきこえた。

「まことにすみません、ちいさんが眼鏡をこわしま

こう年をとれば、一年に一度國に歸るのもあやぶま
れましてね、老いての孝行もお恥しいのですが、父の
墓に手を合す時には、この私でも若い時の心になつ
て居りますよ。なかく世の中には難關が多くてね」
と次々と言葉が続けながら、あきらめた様に、微
笑んで私の方を眼鏡越しに眺めて淋しく笑ふのであ
つた。其の時の老人の眼。再び半透明の白膜が下り
て苦しい事にのみ遭遇してそれをぐどりと抜けて行き
着いた。

「総ては終り、これで後の壽命は短かい。いつ死に
ついてもこの世の中に心残りはない」と語つて居る
様に見えた。

「そして苦しみにもあき／＼した。満身の努力を投
げかける事にも疲れ果てた。」

とあの半透明の膜が語つた。
老人の言葉以外にもつと／＼人生の深刻さを味はし
てくれる老人の眼は一層、印象を深くした。

あゝ、老人の疲れ果てた眼……そしてこの眼鏡
老人の眼と……私の心。

「どうかこの邊にゐらつしやいましたら、どうかお
遊びにお寄り下さい。」

これは老人の最後の言葉だつた。私がこの直された
眼鏡を持つて立ち去らうとした時に最後にかけられ
た聲だつた。

「遊びに寄つて下さい」と願ふ老人の心が尊い。

ありふれた商人の使ふ、自分の店で物品を買つてく
れた客人に對する機械的な謝禮の意味は私には感じ
られなかつた。

こう云つた老人の眼は決して物質慾にもえては居な
かつた。

その言葉の中に人間の持つて居る美しい一筋の暖か
さを感じた。

歸る途々考へた——。
なせあの老人には子供がないのだらう、孫がないの
だらう？

あんな年寄つた老人を、あんな眼をしてゐる老人を
なせ、まだ働らせて居るのだらう……？

あんな苦しみ抜いて疲れ果てた老人を……？
私には誰の罪ともわからなかつた。

唯、こうして考へて見たい程、老人にすまない氣が
した。

やがて私の身の上にも、ああした老年期が必ず一度

はやつて来るのだ！　そして私もあの通りな運命になるかも知れない、と心に思つた。

私には誰の罪ともわからない。

ふと、電光の様に一つのさゝやきの聲を聞いた。

「あの老人は神を信じ、神の大きなおきてに従はなかつたからだ。」

そ—してお前も……………」

私はすぐに祈りたい氣がした。老人のために、私のために。！

(終り)

一九二四、二二、四

(木曾幹事宛)

古里のお友たちへ

(第十一回) 林 芙美子

——今頃いかゞです……………と問はれて——

静かな山と、青い海とに包まれた、

旅の古里のお友たちよ！

蒼々と澄めるこゝ東京の郊外に立ちて、

おゝ秋よ、秋よ双手をのべて、
あまりに儂ないた、まゆらの人生の一頁を
私はじつと見つめてをります。

貧乏な詩や、貧乏な歌や、

世にも淋しい夢をもつた貧しい子供たちへの物語りを
をかいて、

その日の糧とする

私は淋しい女詩人です。

私を大切にそだて、下さつた両親、
私を大切にそだて、下さつた両親、

私をいどほしんで下さつた先生、

私を愛してくれたお友たちに對しても、

私は生活に疲れましたと何で云へませう。

何くそ！

齒をくひしばつて私は笑つてゐます。

あまりにめまぐるしい街中よ……………

優さしいお友たちよ！

私は只一ツの道のために精進してゐますと申しませうか……………

今には私には「スタルジャ」と云ふ言葉はいらない。

海だ！青い海だ！山だ！圓い山だ！

今出来たての「ヨウカン」のような街、

おゝ尾道よ……………

私の喜ばしい魂を乗せた汽車が海邊をつとばしつてゆきます。

私の子供のような熱情は花火のように燃へ上ります
皆様御氣嫌は……………

あゝ私の胸は、手は、足は狂ひます。

淋しい孤獨な生活と涙ぐましい貧しさだからはなれて、

久々で歸へつた尾道、

おゝ學校が見える。

私の小さい足跡をはこんだ河ぞひの白い路が見える

私の生活は孤獨そのものです。

古里のお友だちの音づれば孤獨を慰さめる花束です

私にだつて力と自信と眞實はあるのですよ、

信じて下さい、未來を見て下さい、

古里のお友だちよ……………

一九二五、一一

母校通信

年誌

大正十四年二月二十日

午前八時より例年の通り父兄母姉の方々を御招きして學藝音樂會並に展覽會を催しました、前年にも益して多數の方が御來校盛會裡に無事終了いたしました。

三月十日（陸軍記念日）

午前九時より約二時間の豫定で福山聯隊區司令附銜谷中佐の奉天會戰記念講演がありました。

三月二十五日

午前十時より本科第十四回補習科第八回卒業修業式を舉行しました本科卒業生百四十二名、補習科修業生四十四名です。

三月三十一日

久しく本校地理歴史科担任として熱心に御教授になり、又校友會給品部主任として御盡力になつて居りました西川精關先生が御勉強のため退職御上京になりました。九月には目出度國字試験の司法科に合格せられて、只今では東京で辯護士として活動して居られます。

体操科の担任として昨年四月御奉職になりました吉非常代先生は今回東京聖心女學院に御榮轉になりました。

四月七日

午前八時より補習科四十七名、本科第一學年百五十六名の入學式を舉行いたしました。

新學年に入つて地理歴史科担任の溝上茂夫先生、体操科担任には新に二階堂体操塾を出られた佐々木綾子先生が御就任になりました。

四月二十日

本校創立十六週年記念式を舉行しました。

四月二十七日

大瀧御發輩記念日に付、全校生徒高見山に遠足す。

五月十日

午前九時より 天皇陛下皇后陛下御結婚滿二十五年奉祝々賀式を舉行。

記念事業として記念樹栽をしました。

五月中旬

例年の通り各學年修學旅行及遠足を行ふ、各方面次の如し。

補習科

香川地方

第四學年

京阪奈良伊勢近江地方

第三學年

廣島宮島地方

第二學年

岡山

第一學年

佛通寺

五月二十七日 (海軍記念日)

第三時限高須地方に遠足を行ふ。

六月十日 (時の記念日)

釣二時間の豫定で早縫運針、時の尊重の作文、時に關する寫字の行事をなす。

六月二十五日

本日は地久節拜賀式舉行後校内の音樂會を舉行す。

七月二十一日より向一週間

次ノ様ニ陸上競技練習會ヲ施行

一、庭 球

正二、ヴァスケツトボール

三、ヴァレーボール

四、跳躍技—走高跳、走巾跳、ホスデヤンア

五、短距離競走、五〇—一〇〇米

練習時間は毎日午前七時より十一時迄四時間、練習

総人員三百名で皆熱心に練習しました。

八月十日、二十日

両日とも生徒召集日、市内及市附近の生徒登校、校

内の掃除をなし、休暇中の生徒の動静を尋ね、講堂

訓話を行ふ。

九月十五日

本日は大森御着登記念日につき約二時間の豫定にて

体育競技會を催す

十月二十五日

次のプログラムで大運動會を開きました、前年にも

増して盛會でした。當日は同窓會で菓子や果物を賣

りました。

運動會競技順序

唱歌 (君が代)

開會式

午前ノ部

一、聯合體操 全

二、徒競走 四、全

三、テツトボール 二、全

四、體操 一、一部

五、徒競走 補習 科

六、サークルダンス 二、全

七、運搬競走 三、二

八、體操 四、一部

九、寶船 一、全

一〇、徒競走 三、全

一一、體操 二、一部

一二、難關競走 四、一部

一三、モーニングダンス 補習 科

一四、毬奪ヒ 一、三

一五、ウォータムダンス 三、全

一六、徒競走 二、一

一七、變脚旗廻リ 三、三

一八、リレーレース (豫選) 本校選手

一九、サンピームス 四、全

二〇、優勝旗返納式 本校

二一	リレーレース(豫選)	小	學	校
二二	徒競走	一	部	全
二三	体操	三	部	一
二四	看護競走	補	習	科
二五	アスレチックダンス	二	部	全
二六	ヴァスケットボール	一	部	全
二七	五〇米突競走	本	校	選
二八	綱引	三	部	對
二九	徒競走	二	部	2
三〇	變脚競走	四	3、1	1ノ部
三一	ユモレスク	補	習	科
三二	障害物競走	三	部	1
三三	ベースボールダンス	一	部	全
三四	チャンブリレー	二	部	一
三五	ローズダンス	三	部	全
三六	帽子奪ヒ	二	部	全、一
三七	リレーレース決勝	小	學	校
三九	ウエーブ	四	部	全
三九	リレーレース(決勝)	本	校	選

四〇 ボール蹴り競走 來賓及本校職員
 四一 八人聯合體操 全
 唱歌(校歌)
 閉會ノ入辭
 十一月三日
 本日は全國体育デーです、午前十時から全生徒のテニス會を行ふ。
 十一月十五日
 本日附を以て、昨年から本校英語科の御担任として又寄宿舎の舍監として熱心に御勤めになつて居りましたし森二三子先生が御病氣のため御退職になりました實は九月の中頃から御病氣にて京都の大學病院に入院御加療中でした、御全快の上御勤續を待つて居りましが遂に御退きになりました。近頃は御全快で元の健康体になつて居られました。
 十一月十七日
 本縣知事濱田恒之助閣下御來校、本校寄宿舎を視察せらる。
 十二月十二日

照宮成子内親王殿下御降誕奉祝記念音樂會を開催す
 父母兄弟方々多數來校あり、尙ほ本日をして保護者

會(玉成會)を設立せられ本校教育の後援會を組織せらる。

大正十五年二月二日

午前九時より生徒全部高須公園に遠足をなす、正午歸校。

二月九日

本校博物科担任として又校友會園藝部主任として滿四ヶ年間御奉職になりました、水上徳次郎先生が今回、御家庭の御事情上、鹿兒島縣立第一中學校に御榮轉になり其後任として、久米壽三郎先生が御就任になりました。

二月十六日

新庄本縣内務部長本校及寄宿舎を視察せらる。

二月二十五日

午前八時より保護者會を開く、第一二時限は授業の參觀を願ひ、夫より展覽會學藝會を催す。

三月一日

午後三時より本校講堂に於て尼子松代女史の編物に關する講演實驗あり。

三月二十五日

午前十時より本科第十五回、補習科九回卒業式を舉

行しました、本科卒業生百二十七名、補習科修業生四十九名です。

三月二十六日

新卒業生の歓迎を兼ねて同窓會總會を開きました、舊新卒業生百三余名來校、茶菓を喫しながら、ありし學生時代又は現在をお互に楽しく語り、又余興の筑前琵琶を聴きなどして散會したのは日暮方でした
三月三十一日

本校に奉職せられて滿五ヶ年間裁縫科家事科を受持たれ熱心に御教授になり一方舍監の任務に當られて居りました高原恒子先生。又滿四ヶ年間英語科を担任せられた時に舍監に又音樂の受持に盡力して居られました林ムネ先生が、御兩人とも家庭の御事情で御退職になりました。

又溝上茂夫先生は約一ヶ年御奉職になつて居りましたが今回廣島高師専攻科に入學のため御退職になりました。

四月の新學期に入つて英語科担任として、津田英學塾御卒業の藤野美惠先生、同志社女學校専門部御卒業の久保フミ先生、地理歴史担任として文檢に合格せられた中尾松平先生。家事裁縫科担任に京都第一

高等女學校御卒業の高橋静子先生が奉職せられました。商業科お受持の石井保先生が商業學校の都合でをやめになり、坪山綱人先生が御就任になりました。点茶科の石川サダ先生がおやめになり、佐伯タワ先生が御出でになりました。

大正十四年度から、久しく懸案となり研究中であつた本校制服制帽を制定する事にしました、夏服夏帽子、冬服冬帽子皆材料を纏めて購入し裁縫教師の指導の下に生徒の手縫に致しました、教師も生徒も非常な努力をつづけて、或は放課後の時間に、或は勤儉強調週間の作業として、出来上りまして只今では三年生以下が着用して居ります。經費の点については専門家に調製させる價よりも約半價から三分の一價位です、又生徒各自に裁縫調製させる事は、洋服裁縫の智識を得させる点から、勤勞を重せさせる方面から見ても非常な効果がありました。現在職員は左の通りです。

現在職員一覽

尾道市土堂町

佐藤良都知

尾道市久保町	田邊領一
尾道市外吉和村	大村守八五
尾道市久保町	今井篤三郎
全	岡本好太郎
御調郡三原町	久保稔
尾道市久保町	堀部政代
全	岡田タツ
全	八木トモ
尾道市土堂町	久米壽三郎
全	宮田浩藏
全	高橋丈夫
尾道市久保町	豊福高雄
尾道市久保町 第二寄宿舎	檜垣保世
尾道市久保町	中尾松平

尾道市長久保町	全	川上ハル
尾道市長江町	藤野美恵	
尾道市長久保町	高橋静子	
尾道市長江町	原武司	
尾道市長久保町	久保フミ	
第二寄宿舎	佐々木綾子	
全	三次隆二	
尾道市長江町	葛永秀輔	
御調郡美郷村	坪山綱人	
尾道市長江町	大塚静馬	
尾道市長久保町	佐伯タワ	
全	清水元濟	
尾道市十四日町		

◆補習科だより

(第八回補習科)

なつかしい皆様とお別れしましてから、早十ヶ月にもなろうとして居ります。皆様木枯吹きすさぶ此頃を如何おくらしていらつしやいますか。學び屋に或は御家庭に、それぐ意義ある生活をお送り遊す事と存じます。私達は再び、輝かしい鶴の校章を袴につけて母校の生徒として學びの道にいそしんでゐるのでございます。

補習科のクラスは本校の卒業生廿九名と、他校からいらした方で、五十名ばかり。八木先生の、主任の下に親しみにみちた日を送つて居ります。學科方では地理、歴史は御座いませませんが、新らしく漢文、手藝が加りました。

教育も主として小學校教育について習つてゐるのでございます。手藝は堀部先生にお習ひして居ります。今頃は刺繡を習つて居りますが、此の間は箱迫を作りました。ちゃんど出来上つて、桐の箱に入れた時は、本當に嬉しふ御座いました。

割烹室にも、四月から各料理台に水道がつきまして

大變便利でございます。井戸までバケツをさげて汲みに行つた四年時代に比べて、何といふ喜でございます。ませう。

今度本校には玉成會と云ふ、保護者の會が、學校を援助する目的を以て、生れ出ました。こうして母校もだん／＼設備が完全になつて、行く事でございます。

青葉の五月、私達は高松屋島方面へ旅行致しました。一行廿五名、岡本、八木兩先生の御引率の下に家庭的な親しみにみちた旅行でした。それにつけても思出されるものはあのかなつかしい京阪地方の旅行でございます。緑に包まれた嵐山、宇治、奈良さては賑やかな車中の有様等と共に皆様のお姿が、夢の様に浮かんで参ります。

十月には運動會が催されました。うららかな秋晴れの日、昨年にもまして大盛會で御座いました。私共はモーニングダンス、ユモレスクを致しました。

當日、いらした方々と、よくお話し出来なかつたのは残念でございます。

十二月十二日、皇孫御命名式の佳の日に、この日を壽ぎ祝ふ、奉祝音楽會が開かれました。私共のクラ

スは紅葉狩をコーラスし、その外、ピアノ、獨唱等も御座いました。

木々の病葉を木枯は吹き落して自然はすつかり冬のよそはひに變りました。

もはや二學期も終らんとして居ります。

私共も、後三月でお互に別れてしまはなくてはなりません。思へばこの十月近くの月日は本當に早いものでございました。

私共はひとへに皆様の御自愛を祈りつゝ、惜しいべんをおきます。

◆ 補習科 便り

(第九回
在學中)

四年間家を同じうして學び合つて参りました皆様と悲しいお別れをしてから早尾道は春も節になつて來ました千光寺山には薄霞棚引き道行く人々の足取りも春の長閑さに酔された様で御座います、前面鏡の様な靜かな鶴灣には軟い風を孕んだ、眞帆片帆が一つ二つ緩かに艦を漕いで行きます。

私達は補習科生として再びあの懐しい敷石を元氣よく踏みしめながら、靴音軽く通學致して居ります。

今年是他校から居らした方は七人位で本校卒業生を合せて三十五名の小さなクラスで御座います、御熱心な今井先生の主任の下に私達三十五名は校中第一の眺の善い教室で氣持よく姉妹の様に仲善くペンを走らせて居ります、

學科は歴史、地理、を除き新たに手藝、漢文、圖畫を加へて他は四年の頃より一段と程度が高く自然と心に緊張味の湧き上つて來るのが感じられます手藝は堀部先生から今頃日本刺繡を習つて居ります初めて小さな針持つ手は喜びと恐しさに顛へて居ります、そうして先生の御熱心な御指導のもとに只今では寫真立が半分程出來上つて居ります、作文と致しまして、私達が今迄餘り心に留めて居りませんでした和歌を練習致して居ります、和歌は少しは讀んだ事は御座いまでも未だ經驗が淺いので御座いますからとても變な物が出來クラス全体お腹を抱へる事が度々御座います。

霞の衣、花の袖眞に詩を以て飾られて居た、春の影は薄らいで緑に包まれた若々しい五月が訪れて參りました、私達有志の者十七名は今井先生、楡垣先生の御引率のもとに二十八日、九日兩日に互つて四國

の高松、屋島方面へ修學旅行致しました、船が尾道港灣を出まして夢の様に美しい水色の瀬戸内海が開けました頃、あの美しくお優しかつた松山先生の御教へに依る海邊の眺望を心行く迄コーラス致しました、それに就きましても皆様と楽しく過しました去年の修學旅行、關西旅行が自然と腦裡に浮んで參ります、太古ぶつた神秘を語るあの懐しい古都奈良、淡い星月夜猿澤池畔に三々五々連れ立つて小波の音に耳を澄し、又近江八景で名高い琵琶湖に舟を浮べて喜々とした事、さては太平洋の荒波を突き破つて上る壯麗な日の出の二見等思ひ出の糸は繰れども、限りは御座いません。

一雨毎に庭の木々は若葉が茂り合ひ梢にも初夏の影が溢れて參りました、私達の文讀む窓もいつの間にか小暗くなつて參りました、こうしてそよ風と勉學を共にする間も散り／＼に別れたおなつかしい皆様のお贈さを申上げない時とては御座いません、最後に皆様の御健康と御幸福をお祈り致します。

同窓會日誌

幹事

大正十三年十二月二十三日

午後二時半より以前延期された同窓會總會開催の件及びバザー開催の件に就き幹事會を開く。

協議事項左の如し

1、總會につきては

一、開催日（大正十四年一月五日） 開會正一時

二、場所 母校音楽室。

三、會費 實費一圓以内（菓子、果物、飲料）

四、當日の豫定及其準備、役割分擔等。

2、バザー開催の件

來春四月頃バザーを開催してはどの意見有り、確定されたるにあらざれど、その豫定にて各幹事は

其準備の爲、手藝裁縫品等の製作にかゝる事。猶

同期の會員へもそれ／＼依頼する事、それに必要

なる費用は勿論同窓會より支辨すべし。

全年十二月二十六日

翌年一月五日開催の同窓會總會當日出席し得られる、尾道市内及其附近、三原糸崎方面、松永高須本郷今津神村方面、向島方面、田島方面、其他へ四百二十拾通の案内狀を發す。

大正十四年一月四日

明日の總會會場及其他準備の爲、東、楡垣幹事外當日出席希望の補習科生來校し、會場其他の準備をなす。

一月五日

寒い日であつた。今日は久しぶりに同窓の姉妹達を御迎へすると云ふので、補習科生の一部及幹事連は朝よりそれ／＼忙しかつた。會場には母校の一月一日の拜賀式に生けられた、場所には不釣合な偉大な松竹梅を其儘に運ばれて居る。事務の蔦永様が何時の間にかやさしい美しい草花をテーブルの上に生けて下すつたのは嬉しかつた。菓子も果物も美しくテーブルに飾られて皆様のいらつしやるのを待顔です。開會の時刻前には早皆様は賑かに會場内の火鉢を圍んで久々の對面に楽しい時をうつしていらつしやる。今日は折悪しく校長先生、岡田先生が御病氣の爲め御いで下さる事が出来ないとの事で何やら心淋しく

存しましたが、間もなく田邊先生、今井先生が御來校下さいましたので一時過ぎ會は開かれました。田邊先生の御話に次ぎ檜垣幹事より會の會計報告を終り、楽しい茶菓に時はうつされた、間もなく幹事達の頭をひねつて考へた福引に一同腹をかゝへ其内三回御卒業の辨野タカコ様も赤い服に赤い帽子をつけた人形の様な可愛らしい嬢ちやんを連れておいでになつた。例の愛嬌たつぷりなので會場には一時に十人の同勢を増した様だつた。加ふるに母様の後よりチヨヨ／＼歩く御嬢様が又御愛嬌に會場の正面にチヨコンと立つて會場を見廻す、その可愛らしい様子に一同は大笑ひ、斯して時は楽しく運ばれ幹事の総選舉を終り閉會された。新幹事名左の如し。

- 第一回 野村喜代子 野村さか 井出上千代花
藤居 ふで 小田政代
- 第二回 小林 久
- 第三回 辨野タカコ 楠生 みね
- 第四回 高垣シゲノ 奥 本 亮
- 第五回 山方 いそ 小林 イチ
- 第六回 東 一 枝 高橋 正子
- 第七回 貝沼 うた 今井 高代

- 第八回 吉本 いと 小山 春子 國貞貴美子
- 第九回 木曾 静子 高橋 昌子 山形 初子
- 第十回 佐藤 重代 村上スミエ 白神 満子
- 第十一回 大山喜久代 桑原 國子 原田 善子
- 第十二回 木曾 季野 三島 輝子
- 第十三回 小林 光子 野村 コト 大塚 周代
- 第十四回 松 本 操
- 第十五回 原田こみね 木曾壽美江 井田 一枝
- 富岡千代子

- 今日の出席會員左の如し。
- 第三回 辨野タカコ
- 第六回 堀田 春子 東 一 枝 檜垣 保世
- 第九回 山本 喜代
- 山形 初子 葛西 壽香 西原 キヌ
- 田中 庸子
- 第十回 内海みゑ子
- 第十一回 丸山よし子 桑原 國子 川添知恵子
- 第十二回 田門 勝子
- 第十三回 天野 喜代 松 本 操 大塚 周代
- 小林 光子 野村 コト 梶山 琴代
- 小西 ツヤ 小西セツ子 深谷 京子

第十三回 高橋 峯子

橋本 テル 奥山 彰子 原田こみね

木曾壽美江 部谷 光子 細谷 一子

岡田 トネ 岩見 貞子 豊田満壽子

村上 豊子 井出 一枝 高升 喜美

小田 勝 花咲 茂子 高田 英子

増野よし子 島野 咲子 天野よし子

西岡きぬ代 宮地千代子 小川 宮子

小出 政江

三月二十五日

第十四回卒業生百五十名、浦曙會に入會す。新入會員の互選により幹事六名を選擧す。

四ノ一組 ○杉原 重子

○桑原千代子

次点者 (岡田博子、八條詢)

四ノ二組

○佐伯 貞代

○中川 牧江

四ノ三組

○山成 道子

○村上 宮子

次点者 (國貞芳、樫本壽恵子)

三月二十八日

會報第十一号を全會員に發送すべく準備なし、發送す。

四月五日

短かい春のお休も終り、新學年を迎へる前日の三月五日、私は早朝郷里を出發し正十二時尾道の港に着きました。寄宿舎には生徒も大分歸りて居るだらう學期始めの何とはなしに舍に歸る淋しい心を抱いて第二寄宿舎の門前で車を下りた、女中と久しぶりの挨拶をすまずと、いきなり女中は校長先生の奥様の御亡くなりになつた事を私に告げましたので私は不思議に思ひました。昨年の五月に御亡くなり遊ばした奥様の事を思ひ出して傳へるのか知らと思ひましたが合點がゆかぬを聞き返すと、それはまあ、ほんとうに思ひがけない事でした、餘りの驚きに痛く胸はつかれたけれど猶人の言葉が信せられませんでした。昨年五月奥様が御他界遊ばしまして以來ほんとうに御氣毒だつた校長先生は、私共とは同窓の、あのお優しい御氣質でいらせられた第三回御卒業の小川のふ姉と御結婚遊ばしたのでございました。姉君はほんとうに美しい御心を持たせられて、亡き奥様

の御志を御續ぎ遊ばして御いとをしき四人の御子様達の御母君として、どんなに毎日を楽しく御過しになつていらつしたかわからないのでございます。姉君の残された御日誌や恩師岡田先生に送られた御玉章等を拜見させて頂きました時、まあ何と云ふ姉君は御幸福な方でいらつしやいます事か、唯自分の事のみ考へて居る私は其日々を満足する事なく其處には何等感謝もなければ未だ時には我儘な不満さへ抱き罪な生活を續けて居るのに引かへ、姉君には迎へらるゝ日は皆感謝の心に充されていらつしやるので、みにくい自分をかへりみた時に恥かしいと思つた事が幾度かありました。朝先生や坊ちやま達の御登校を御見送りして其日一日の御無事を御祈り遊ばしたと云ふある日に遺された御筆の跡を拜見させて頂きました時に人の心の斯くまでも美しくあるものか、と感激の念に打たれずには居られませんでした。御結婚の御披露の御席に招待されて、久しぶりに姉君の御優しい御言葉を承りました時、どんなに嬉しかつたでせう、母校の先生方も姉君の奥床かしいをし御優しい御心を尊敬し、どんなに校長先生の再ひ得られた御幸福を御悦び申上げて居りました事でございませう、其御悦びもほんの束の間にて今日この悲しい御事を耳にする等とは………重ね々々の校長先生の御不幸、姉君の御不幸を見る時、世に神佛の存在も認められないまでに無情を恨みたくなり、全く善が強いのか悪が強いのか運命と云ふものは斯くまでに不合理的に人間をつけねらふものでせうか。姉君が御病床の御苦しい中よりも尙御熱に浮かされて坊ちやま達を可愛い々と御繰り返し遊ばしたこの事等も承つて居ります、人間時修養が然らしむるのぢや有りません、全く温い美しい人間の真心の其尊さ、全く神の御心ちやございますまいか。あゝ御優しい姉君はどうして逝かれたのでせう、神佛は何故に斯くも早く召されたのでせう。運命、出鱈目な運命のきづなにながれて離れる事の出来ない世の総てを悲しみます。然し神佛と御恨み申上げるのも姉君の聖き御心にそむく事と思ひます。神様御佛は姉君の安らかな御眠りを御守り下すつていらつしやるのでございませう。私共は姉君の御歩きになつた聖いそして美し道を進つて少しでも近く歩ませう姉君の美しい御生涯を御偲び申上げつゝ御幸福を御祈申上げます。

午後二時より西御所の御宅にて告別式は行はれま
した、全校職員生徒、市の有志の方及同窓會員の方々
等多數御會葬申上げました、クラスの方や、同窓會
より贈た美しい花は亡き姉君の御靈をいと安く御守
り申上げて居る様に思はれました、あく今日私共は
到頭姉君と永久に御別れてしまつたのでした。

十月九日
來る十月廿五日に開催される母校運動會當日に於け
る同窓會としての事業及び十二号會報發行に就き午
後三時より幹事會を開く。
協議決定事項左の如し。

一運動會當日の事業

目的……………賣店。コレラ流行の折柄とて食堂廢止

1、賣品目

○菓子類及びパン。

價額は十錢、二十錢、三十錢迄とし、総べ
て袋に入るゝか、箱及包の中に入りたる品
を擇ぶ事。

○果物及び飲料。

密柑、バナ、栗の類。ラムネ。

各幹事は右につき市中賣店の價額に注目し

最も安價に求めらるゝ販賣店を本校幹事へ
出來るだけ早く通知する事。

2、場所及其設備。
山形入、割烹室前にテントを張り適當な設備をなす
事。

3、各幹事役割分擔をなす。

1、賣品交渉係

2、賣店準備係

3、當日の事務分擔

4、會計係

5、後始末につき

4、賣品販賣法を金券にて扱ふべきか現金取扱
ひになすか。

昨年現金券にて扱ひ却つて混雜せし爲本年
は現金取扱ひとなす事。

二、會報第十二号發行に關する件。小林 次

1、雜誌の内容につきて。

2、原稿募集をなす事。

○例年の如く會員へ通信して原稿を集むる事

○原稿募集文の内容を協議す。

○調製されたる募集文印刷物の發送は各幹事

分擔する事。

3、募集したる原稿の始末。

各幹事は各自のもとに集りたる原稿により期日までに左記事項につき原稿用紙に書き學校幹事に提出し、學校幹事はこの取纏めの事に當り、今井先生に提出する事。

1、會員名簿。

2、雁のつて。

3、會員通信及び其他記事。

之に要する原稿用紙は同窓會より各幹事へ渡す事。

三、バザール開催の件。

今年四月にもこの事につき幹事會の序に一寸協議した事があつた、然し其適當の時機無く秋末でと云つて延期されて居たので今日も序に其期日方法、等に就きて協議す。兎に角母校に於て何か音樂會等を開かれる時に於てこれに附屬して開くべく決定す。母校との關係有る企故期日決定せず。

本日の出席會員左の如し

會長 佐藤良都知先生

副會長 田邊 領一先生

學校幹事 今井篤三郎先生

岡田 たづ先生

榎垣 保世幹事

九 回 山形 初子

十二回 松 本 操 小林 光子

野 村 琴 大塚 周代

十三回 原田こみね 木曾すみね

井田 一枝 富岡千代子

十四回 山成 道子 佐伯 貞代

桑原千代子

十月二十四日

母校運動會もいよいよ明日になつた。補習科生同窓會賣店係の人の御骨折で割烹室の前には赤白のテントが張られ昨年よりは氣のきいた賣店は準備されました。今年はコレラ流行の時節柄とて食堂は廢止されましたので賣店には総べて品物も昨年比して澤山仕入れました。何一つ得手の無い私ですが品物の交渉等ときたらうれはお話にもならない位のみじめな私なのです。昨年は辨野様は丁度不在中だったので東一枝様の多大の御盡力に預りましたが今年はや

お店が忙しいのにも係らず、會の爲に菓子から果物に至るまで御交渉下さいましたので、ほんとうに嬉しく存じました。今日は菓子、果物、飲料等、すっかり割烹室に運ばれましたので寄宿舎の生徒のお手傳を受けてナフキン包の十錢、二十錢の菓子包も美しく出来上りました、もう明日の日を待つのが楽しみです。

十月二十五日 風無く雲なく空は紺碧に澄渡り又今年も運動會には御詠向の上天氣であつた。同窓會係として母校の生徒を廿四人賣店へ分配して戴きました他は全部有志の幹事の方々で三回の辨野タカ子様を始め、山形初子様(九回) 大塚周代様(十二回) 小林光子様(十二回) 松本操様(十二回) 野村琴様(十二回)等。それは、御盡力戴きました。石段下に店を開き頭から埃にまみれながらもほんとうに愉快な一日でした。賣店の記事は他の方に御願してございますから省き、賣店の會計報告を致します。

賣店の會計報告
一 総収入 貳百四拾貳圓貳拾壹錢也
一 総支出 壹百八拾四圓九拾貳錢也

内 譯

壽美谷商店支拂(果物類) 五拾五圓壹錢也
高 砂 堂 (菓 子) 七拾壹圓四拾參錢也
櫻ラムネ商會 (ラムネ) 拾四圓貳拾錢也
風 月 堂 (菓 子) 四拾貳圓貳拾八錢也
桑原紙店 (ナフキン) 貳圓也
一 差引殘高 五拾七圓貳拾九錢也

皆様の御盡力によりまして斯の如く小さな賣店の利益は多額に上りました事を感謝致します。総て同窓會事業の利益金は基本金會計に加入し後本日、本會企圖事業の資と致す事になつて居ります。大正十四年十一月右利益金を加算致しまして合計二千參百貳拾七圓七拾貳錢に達しました。廣島縣立尾道高等女學校の同窓會基本金としては餘りに貧弱な感じか致します。會員諸姉共に心を合せて會の爲に盡力致しませう。

十二月十九日 同窓會總會開催の件及會報第十二號發行の件に就き幹事會を開く。
協議決定事項左の如し
元來同窓會總會なるものは例年は夏期休業中に開催

されて居たのであるが、昨年、冬期休業中に延期されて以來本年も亦大正十四年度總會は冬期休業中開催する豫定であつたが、例年行はれる同窓會總會は餘りに窮屈で御互様にもつと親睦をはかるのにはもつと何とかよい方法はないものかとの説が出ました實際主催者側に働く幹事達は尠からず皆様に御満足を與へる事の出来ない事を遺憾に存じて居りましたので他の幹事方も皆賛成しました、會員相互の交誼を温めるには遠足又は日歸りの旅行等其時々趣の變つた企をしやうと云ふ事になりました、然しこれ以外に母校に於て開く總會も必要なので其時機は毎年母校卒業式後浦曙會へ入會すべき新卒業生の歡迎會をかねて總會を開く事に決定して冬期休業中は不適當の故を以つて又延期致しました。

出席會員左の如し

- 會長 佐藤校長先生
- 副會長 田邊領一先生
- 幹事 今井篤三郎
- 卒業生幹事
- 六回 檜垣 保世
- 十二回 野村 ヲト 小林 光子

大正十五年三月廿二日
同窓會總會開催の事に就き幹事會を開く。其結果三月二十六日第十五回卒業式舉行の翌日新會員の入會歡迎を兼ね午後零時半より開會の事に決定す。
本日集まりたる幹事の手により其當日出席し得らる市内及近郷の會員へ案内狀四百五十通を發送す。
出席者左の如し

- 佐藤校長先生
- 田邊領一先生
- 今井 先生
- 岡 田 先生
- 野村 琴(十二回)
- 小林光子(十二回)
- 山成道子(十四回)
- 松本 操
- 大塚 周代
- 井田 一枝
- 富岡千代子
- 佐伯 貞代
- 山成 道子
- 村上 宮子
- 桑原千代子
- 中川 牧江

三月廿六日

急に思ひつきました総會なので發送致しました案内状もやつと間にあつた位でした、餘想よりはずつと出席者の少なかつた事は残念でしたがそれでも百三名の出席者を得、母校の諸先生も御臨席下さいまして午後一時頃開會致しました。校長先生の御話に次ぎ時間の都合上先づ餘興琵琶歌を聞きました。白さつきに奥州白石川に於ける小野訓導の美談、尊き其犠牲を今更の如くに思ひ起し一同は涙の袂を搾りました。次に可受らしい七ツ八ツの女兒の童話猿蟹合戦に抱腹し暫しは笑聲止まず引續き先生の五絃勸進帳を聞き實に愉快だつた、これだけは皆様も御満足下さいましたやうで嬉しく思ひました。

後は茶菓を頂きながら皆それ／＼に楽しい時を過ぎました新卒業生の餘興も種々出て、旧き卒業生の方も可愛らしい御子様達を御連れしながらも有りし昔の若さにかへつた様な氣持になられた事と存じます。異に今度嬉しく感じました事は同じ學校に奉職して居ながら仲々に聞く事の出来なかつた川上先生のバイオリンを聞かして頂いた事でございます、美妙なる樂の音に身も心もどらはれ唯恍然として我魂は美しき國を彷彿しました。

後松本操様の美しい獨唱も聞かして頂き、今日一日は實に、愉快に、聖く、過さして頂き感謝の外ありません。ませむでした何時までも御名残は惜まれますが、早あたりもほど暗くなりかけましたので閉會にし又暫しの別れを告げて散會致しました。

出席者

會長 副會長を始め母校諸先生

新卒業生 四十二名(姓名省く)

旧卒業生

三回 辨野タカコ

四回 村上ヒサ

六回 高橋 正子

八回 國貞きみ子

十回 淺籬イクヨ

井上 勝子

小原 貞子

十一回 金光 綾子

十二回 深谷 京

立神たつ子

十三回 丸井ヨシコ

十四回 宇佐 春子

野田 静子

三森 菊枝

小林 光子

村 上 榮

大村 福子

倉田とみ子

船岡 カヤ

各務都 泉

大山 春江 藤田 石川 和田
 池田 小林 金谷 岡田 國貞
 三好 中山 山本 上田 平岡
 眞田 井上 小田原 岩井 上杉
 吹上 邊見 八條 佐伯 山成
 川口 上杉 寺本 上本 中司
 山谷 小林チヨ 青景 梶田
 名越 松尾 三阪 眞田 森井
 竹増 平岡

運動會當日賣店便り

賣店係 (十四回)

いよく楽しみにしてゐた運動會も明日になりました、午後同窓會係の者は先生も生徒も繰出で準備に取りかかりました、賣店は去年の場所の眞向丁度割烹室の横へおさまりの赤白の幕をはりまわし、派手につくりました、前方のポプラや紅葉が一段と此の赤白の幕に對して趣を添へ何となく映えて見えます早くお菓子や果物をかざりたいと思ひながら早朝登

校の約束をして各自家に歸りました。

十月二十五日

いよく今日は運動會。賣子である私達は七時前急いで登校を致しました。早速密相、栗を初めとしてチョコレート、ピース、カルケット、バターポーブス、柿羊羹、饅頭からラムネ、サイダー其の他色々のお菓子を調和よく並べるのに色々あれやこれやと工夫しました。そうしてゐる中に驚きました事には早見物人は運動場へ押しかけて來られます。さあ私達は大急ぎ。

五つ位な可愛い女の子がチョコレート頂戴と半分程並べかけた時買ひに來られました。早早からチョコレートが賣れた、今日は景氣が良いだらうと皆喜こんでにこ／＼顔でせつせと準備を致しました。殊に壽美谷様は早朝から割烹服姿で大へんよく世話をして下さいました。松本様大塚様小林様大山様井出様も賣子と一緒に手傳つて下さいました。午前中もほんとに良く賣れましたが午後はどりわけよく殊に閉會になつて大勢の人がどや／＼一度に買ひに來られますので私達はきり／＼舞ひを致しました大へん今日は良く賣れました、わすかのお菓子とラ

ムネやサイダーが少量残つたばかりでした。今度は此の残り菓子を寄宿舎へ押し賣り致しましたら皆賣れました。小林様や松本様大塚様壽美谷様は遅く迄後片附をして下さいましてほんとにくうれしくございました。

會計報告

自大正十二年二月十九日
至大正十三年三月一日

一般會計報告

一金千八拾九圓五拾五錢五厘	収 入	高
内	譯	
金六百七拾四圓拾四錢五厘	前期検査現在高	
金四百拾五圓四拾壹錢	本期受 高	
一金四百四拾七圓七拾四錢	支 拂	高
内	譯	
金二拾八圓	前年度分支拂高	
金四百拾九圓七拾四錢	本年度分支拂高	

一金六百四拾壹圓八拾壹錢五厘

大正十三年三月一日現在高

基本金會計報告

一金千四百五拾四圓四拾錢

収 入 高

内 譯

金八百參拾貳圓

前期検査現在殘高

金六百貳拾貳圓四拾錢

末 期 受 高

一金千四百五拾四圓四拾錢也

大正十三年三月一日現在高

◆神戸支部報

小川 サダ (六回)

神戸支部同窓會が生れましてから第二回の集會を迎ふるに當りまして何處かに有意義な場所をど考へましたが、此と云ふ珍趣向も得られず四月廿五日(土曜日)湊西俱樂部に於て同窓會を開きました。處は昨年と同じ會場でございます。湊川公園の一隅にそびえたタワー(七百尺)が高空より私達の歩みを戀しそうに見下ろしてゐます、大日本絹業博覽會の

第二會場でございます、澁川公園のうちから紅白の職が春光を浴びてうか／＼と輝いてゐます、萬國旗も風に翻つて音を立てゝゐます。此博覽會を全國から慕うて見物に来る人の事を思ひますと、私達の會場がこの真下である事を何だか嬉しい様な感じが湧いて參ります。會場には最早皆様の御顔が揃つて、喜々と美しい御聲がもれて來ます、やがて松葉敏子様の開會の御挨拶がありましてから御すもじが出来ます、御土産の御饅頭がならびます、御子様達の紅葉の様な可受い御手々も動いてゐます、皆なつかしい母校の話にふけつて行きます、端居の方々から笑聲が続いて來ます、やがて福引の札がお盆に乗つて廻つて參りました、面白い句が書いてあります、すると色々の景物が出来ます、又面白い笑聲が暫く止みませむ、斯くする内御互に顔も見知りあひ親しさも増して來ます、

やがて楽しい／＼一日も過ぎて終ひました、一年に一度の楽しい愉快な日だったので。記念の寫眞をどち又集ふ日を誓つて各別れました。

舊職員御住所

東京豊島師範學校

福岡市女子師範學校

岐阜市縣立高等女學校

神戸市籠池通り七丁目十五番屋敷

廣島市大手町八丁目 (旧齊藤)

東京市本郷區駒込神明町二一 (旧山田)

東京御在任

岐阜縣大垣市立高等女學校

福岡市鳥飼七五五 (旧新帶)

東京小石川林町三三 (旧阪本)

千葉縣東金高等女學校 (舊三木)

大阪府豊能郡箕面字櫻井上杉彌一郎様宅

(旧枝廣)

目下御在米

福井市師範學校

東京市外池上堤方一〇六(旧戸野廣)三吉

水戸市上南町四二四 (旧高橋)

京都市外深草町福稻西ノ内(舊小野)小山

北野六之助様宅

佐藤 寅三先生

杉野三治郎先生

牧田宇三郎先生

石川 みね先生

木原 みち先生

中田 その先生

石岡勇四郎先生

古山 宗一先生

杉藤 かく先生

工藤 花代先生

三木 多可先生

上杉 春枝先生

内藤 たに先生

大河内定雄先生

絹代先生

高橋みゆき先生

増野先生

臺灣臺南中學校內

廣島南竹屋町三八三

朝鮮京城中學校

ハワイ、ホノル、
(舊西田)

。Kubota, Tawa, B.N. Borneo.

大阪府立陽丘高等女學校

東京府豊多摩郡井荻村字荻窪

埼玉縣浦和町岸
(舊龜井)

名古屋市東海中學校

朝鮮御在任

山梨縣中府市縣立高等女學校

群馬縣立前橋高等女學校

大阪府立市岡高等女學校(舊廣田)

愛知縣双谷高等女學校

臺灣臺南師範學校內

岡山縣矢掛高等女學校 (舊佐藤)

廣島縣立第二中學校

岡山縣西山下
(舊中西)

東京御在任

香川縣立大川高等女學校

目下朝鮮御在任

森 要 人先生

三宅 素先生

加藤 秀晴先生

西田 テル先生

澤田 芳郎先生

一色 保子先生

秋 山 幹先生

長谷川はな先生

三橋六次郎先生

井上リヨウ先生

藤田 まさ先生

吉野 賢司先生

宮脇 かつ先生

渡 邊 亮先生

深井米次郎先生

山下 歌子先生

市川 邦彦先生

西尾 ひさ先生

長谷川英子先生

中江 時助先生

市島 きみ先生

京都府立第二高等女學校

山口縣萩中學校

水戸市馬口勞町四丁目南裡(舊森谷)伊藤八千代先生

福岡縣大牟田市七浦町 (舊上原) 上原 エミ先生

福山市縣立高等女學校

東京市外中野町上ノ原八〇九

(舊松山) 西川 まさ先生

東京市外小石川關口台町八番地吉野義國様內

越智 コウ先生

東京市外中野町上ノ原八〇九
西川 精關先生

東京芝區聖心女學院內
吉井 常代先生

京都市松原通り清水四丁目寶林
森 二三子先生

小路森桑次郎様宅
水上德次郎先生

鹿兒島市縣立第一中學校內
井 上 暉先生

死亡
下瀬 精造先生

死亡
長澤 ふみ先生

死亡
金谷 春野先生

死亡
平賀 瑞夫先生

死亡
池田 雄策先生

死亡
淺田 正樹先生

死亡
(舊上村)

勝 見 登 代

野田淳一郎先生

清水坊養拙先生

死亡

(舊岡田)

篠原ヨシエ先生

廣島市廣島高等師範學校專攻科

溝上 丈夫先生

岡山市下西川九七

(舊高原)

佐藤 恒子先生

滋賀縣長濱町神前

林 ム ネ先生

岡山市山陽高等女學校

(舊高内)

福田 幹枝先生

◇ 旧師だより

牧田字三郎先生より

昨今は急に寒さ相加はり候折柄皆々様には愈々御健祥の由嬉しく存候。小生相變らず御蔭を以つて無事勤務致居候間御安心下され度候。

本日の新聞によれば愛兒週間第二日の放送は私ども体育に従事するものゝ特に注意すべき事項と存じましたから一寸御傳へ申上げて置きます(大阪朝日新聞九日)「即ち營養の悪い女はよく妊娠するが然し其子供はよく死ぬ、之に反して母親の丈夫な体格で營養のよい人は妊娠率は少いが(平均三、四)死亡率は百人中二十八人しか死なないが營養の悪い人の率は(五、三)の割合で有るが死亡率

は百人中四十八人との事で有る御互に母親は肉体的にも丈夫で有りたいもので有る」

高橋御幸先生より

前号會報拜讀いたしました時、私の尾道熱は如何ばかり高まりました事か?頁を繰つて皆様の消息を讀みゆくうち「なつかしい」と云ふ言葉では現はしきれない氣分にまで進み、切なさに苦しみました。かほご迄に思ふ自分が即ち一筆もせぬその自分なのだ。誰れ彼れ様が斯して御執筆遊ばず、人情は何處まで厚いものか、我を忘れての嬉しい限でした。又一方音信の無い御方々の御心の内も自分に丁度持合せて居る物指があるので十分想像の出来るなつかしいものある事は、はかり出されます。それに致しましても彼のクラスの方々は一体どうしてお出でなのだらふ。知り得た御方より知り得ぬ御上を一層に案じ思ふは當然の事、知りたい。

せんたいあの學屋に一日の過去をでも持つただけは事情の許す限りたとへ一行にでも自己の現在を寫し送るのは道徳だとさへ思ひつめてしまひました、先づ自分自身よりそれを始めねば……で昨今かなり

ねふでになつてなつて居るものを敢て起した次第です。

尾道を去つて東京に居た間中尾道關係知友卒業生と近い交渉の叶つたのは場所柄と申しまた時の關係上よりも、まづ／＼と思つてもその東京から北に汽車で三時間余りの當地に參り、在尾の頃からは早昔といふ字のつかへる程距つた今日尙遙々の路かけて御訪ね頂いたり、昔そのまゝの切ない迄の御心を御寄せ頂く時私は人の情のかく迄にあり得るものか有難い嬉しい感激せざるを得ません、如何ばかり豊かにさせる經驗を惠まると事か母子共々尾道デーで送りました。

お別れ致して以後尾道と私共の居る處との間に織りなされた想像の綾をあゝかうとありのまゝに委しく認め寫したくもあり、人の世に出てられた方々に少しでも先きに出た一人として種々話しても見たい又伺つても見たい事であり頭の中がゴチャ／＼です、それが一番ありのまゝの十二月一日午後九時半現在の私です、向ふの台に寄りかゝつて母も讀んだり書いたりを楽しんで居ます、昔から若さを持ち合せない代りに母も私も在尾の頃とあまり變つて居らぬも

のと御想像下さい。

實際二人ともかなりおばあさんになつて居りますが、今度やう／＼望みに近い住居が授かり仕合せに思つてゐます、日の長い夏が來たら私の作つたトマドーでも召し上りにいらつして下さい。では又の日にさらば御機嫌よく。

長谷川はな先生より

仰の如くお寒くなりました會の事務に御盡力被下御苦勞の事と存じます、私は當時表記の處に（東京小石川大塚町坂下町四〇三号通り）に居りまして主人乗艦中故に年末も誠に閑でございます、何も爲すべき事もなき故に希望者七八名を居室にて、例の如くピアノを教へて居ります、都は時々名人の演奏がありますのでそれを聞く事が出來て何程利益を得るかわりません東京も震災當時は實に澤山の樂器が燒失致しましたから一時其道の人も中止の様でありましたが其後獨逸邊から澤山の樂器が輸入されました以前に勝る様な隆盛であります、それにラヂオ放送以來之を聞くと共に御自身にして見んと申す氣分が出ました様子で新しく始める人も多き様であります。

私は身体健全でこれと申します事も無く其日々を過して居ります。

西尾ひさ先生より

御親切な御端書誠に有難う存じます。

かへりみますれば御校を去りましてからもう四年になります、子供も四才になりました、やがて五才にならうとして口も手も仲々達者に動かして居りますそれだけにおばあさんが尙更おばあさんになつた譯皆様はさぞかし御立派な奥様や御嬢様に御なりの事と存じ上げて居ります。昨年の大患後めつきり弱くなりました私でございますけれど、同窓の方のすゝめ、もだしがたくてこの四月から新設の小さな女學校に出て居ります、一週十時間ではございますが、道程がなか／＼ありますので隔日の勤めにも勞れてしまひます、氣まぐれ者の私はまた何時御免蒙ります事やらせめては來年の三月までも勤めたいとは思つて居ります。位置は市の西北端にございますがこの程新築されました桃色の校舎は山の緑とはえまして心地よい感を抱かせます。今は一年二組の呑氣な學校です、どうぞ御序の節には御立寄り下さいま

せ。年の瀬にあわたごしい氣がいたします、校長先生始め諸先生によりしく皆様益々御元氣に。

(同窓生苑)

加藤晴秀先生より

先日は御葉書有難く拜讀致しました。直ぐに御返事をと存じましたが丁度本校の學期試験で答案の採点に多忙な上に、總督府で行つた専門學校檢定試験の答案の採点をも十九日までに見ねばならぬため、それにかゝてゐまして、心ならずもお返事が延引致しました。尾道を去る少し前に出産しました(郷里で)長女が來年四月には女學校へ入學する程になつて居ます。大正二年秋九月に御地を發つたのがついでこの間の様な氣がいたします。熊本には九年三月までゐました。此の間に上海南京方面に二回も行きました事が私にとつて非常な智識を得ました。又東京大阪方面へも生徒修學旅行の引率者として行きました。其の節汽車の上から御地を見た時に何ともいへぬ懐しさを感じました。九年の四月に當校へ轉任しまして、今日になつてゐます。大正十一年には京都、十二年には仙臺に行きました。何れも夏休み中の事で

學校もお休みですから御訪ねもせず素通りにしましたばかりであります。

朝鮮といへば寒い事と朝鮮人の白衣と長煙管と禿山とを連想されることとせう。實際朝鮮は一帶に寒いですが防寒の設備がありますから内地に居る時火鉢をかゝへて寒いといつて居た時を思出すと、寧ろ暖かな教室で課業をすることの出来るのを仕合に思つてゐます。昨今零下七度です。先づこれが今年の最低かと思ひます。半島であるために三寒四温といつて交互に寒温が来るので割合に樂であります。

私の學校は内地人の子弟を收容してゐる中學校であります。朝鮮人のための中學校を高等普通學校といつて各道に一校づゝあります。小學校を普通學校といひまして、三面(面は大字)に一校あります。次に文化に浴して至つて從順であります。京城には専門學校としては醫學専門學校、高等工業、高等商業、法學専門等の學校があり京城大學及豫科があります。日本人の人口約七万鮮人と合せて廿六万人の都會であります。文化の設備は内地の都會と少しも變りはありません。赴任後早や北より南の端まで歩きました。滿州へも二度まゐりました。尾道を出ま

して後ただ立神さんにお會ひしただけです。立神さんは第一高女の先生をして居られました。昨年御結婚になつて田舎の方へ行かれました。それ以來尾道のことをお話する人もなく次第に記憶がうすくなつて行くやうです。御手紙を頂いて又記憶を再びする事の出来るのを愉快と存じます。當校生徒約一千名私は生徒監をやつて居ます。相變らず瘦せては居ますが元氣であります。皆様の御健康を祈ります。

(一四、一二、二八)

大河内先生より

近々のうちに又楽しい會誌が御發行になるとか就ては近況を御知らせすることは當然の義務かと存じます。と申します所で最近別にこれと申す様な珍らしい事もございません。相變らぬ學校生活をやつてゐる私の事ですからその一端でもお話し申すより外ありません。學校の様子も赴任當時とは大分變つてまゐりました。特に運動競技は非常に變つてまゐりました。餘程進歩がある様に見受けられます。これは全國を通じての氣運かとも存じます。中でも北國特有のスキーは當地邊でも年々盛になつて行きます。

本年の二月には縣教育主催の第一回のスキート大會が開かれ中々盛況を呈しました。眞に雪國の人々にのみ惠まれた樂みとして私共も若い學生達と共に盛に滑つて居ります。

軍事教育は本年度より實施されました其の成績は本年秋季第九師團機動演習參加によつて認められました三百の學生は校帽にカーキ色の軍装といつたいかめしい武裝で師團假設演習に精銳なる軍隊と砲火を交へ終了後の觀兵式に於ける分列式にも好成績を收め師團長から賞讃の言葉を受けた様な次第でした。最近には陸軍から軍馬が貸し下げになりました。黒毛の艶々しい、名を「青葉」と呼び年齢十一歳私共を乗せて或は校庭を或は郊外を走り廻ります。私も最切は軍事教官の小佐殿に手を取つて貰つて覺束ない手綱を執りましたが漸く此の頃一通り乗れる様になりました。誠に愉快なものです。拍車を附けた長靴を新調して一かどの騎士を氣取つて時々郊外などに馬首を向けることがあります。御蔭で身体も愈々健康に愉快に暮して居ます。

貴校も私共が御厄介になつて居ました時分から見れば様々に變つて居ることと存じますそれらの珍らし

い消息を承りたく會誌御發行の日を一日千秋の思ひで待つて居ます。終りに臨み貴會の御隆昌と會員各位の御健康を祈りいたします（大正十四年十二月十九日認む）

吉野賢司先生より

其後は御無沙汰致しました、貴會益御發展で何より結構に存じます、扱會報御發行につきまして私にも何か便りをせよとの事で御座いますが、何時も貧乏暇なしで常に仕事に追はれ通して居ります五月から十一月末までは日曜も祭日も休んだ事は殆んどありません、當地方は二三年來運動競技が非常に盛になり、特に庭球は一般的に普及し、學校は勿論、官公吏、會社員、店員、などの間にも随分盛んに行はれてゐます、弊校には立派なコートが五つもありますものですから、日曜には幾組となく試合に來るのです、又校長が馬鹿にテニスが好きで甘人余りの職員中でラケットを手をせぬ者は一人もありません、ために私の様なものでも、今では相當打てるやうになりました、校内で二三將位の處に居り、何處へでも試合に出かけます、毎年秋には縣下女子

中等學校生徒の爭覇戦が當校々庭に於て行はれるので本年も、縣立學校が十四校も集り、二日間續いて開催されました、斯様な次第で選手養成には實に苦心してゐます、ですから暑中休暇中でも雨天でない限りは指導のために登校し普通の時も放課後ボールの見えるまでは練習をなし、それから寄宿舎の仕事で済し歸宅するやうな始末で、貴校に居つた時よりは三倍以上仕事をしてゐます、只愉快に働けるのでさして苦にもなりません、學校の事はこの位に致しまして、少し土地の状況をお知らせ申しませう。

常市は元十七万石の城下で人口七万五千縣下第一の都會です、尾道と違つて商業地とは申されませんが、工業が非常に盛んで、製糸工場、織物工場が幾十となくあり工女だけでも一万人から居ります、物は價は少々高い方ですが、織物は(銘仙)他より安い様です、教育の方は關西邊よりは幾分遅れてゐるでせう、七万五千の人口に對し中等學校が男女師範各一中學一、高女二、農林一、商業一、工業一、の八校だけです、地勢は平坦で、北に赤城、棒名、西に妙義淺間の諸山聳え市の西端は利根川で東南は所謂關東平野で一望千里小山一つありません、人情、風俗

の点は御地とは余程違つて居る様に感じます、長所とゆわば義侠心に富み且つアツサヲしてゐる点でせう、短所としては無遠慮で腹にある事は何んでも饒舌ると云ふ調子で余り正直過ぎる点でせう、交際して見ると仲々人情味の厚い所があります、氣候は昨年申しましたやうに北風が強く、十一月頃から翌年五月頃までは吹きまくるので是れには少々閉口します、風さへ吹かなければ、そう寒い所ではないのです、まだ色々申し上げたい事もありますが、是れで失禮さして頂きます、終りに臨み貴會の隆盛と皆様の健康をお祈り申します。

杉藤かく子先生より

お懐しい幹事のお方からの御端書が長野の方から二三日前に廻送して参りました。厚く御禮申上ます。今度會誌御發行に際して是非く消息をどの御事ですぐあまり常々筆不性なため御無沙汰ばかりいたして居りますものですから何から申上げてよろしいやら。薩張り分らなくなりました。

お懐しい御校を去りましてから丁度一昔になります卒業生の御方は夫々にお立派な奥様になり或はお母

様になられ可愛らしい赤ちやんをいだいて楽しい御生活をなさつてゐらつしやいませう。私は家に引籠りましてから廣島に二年半、大阪に七年の月日を過し、昨年四月から主人が長野に轉勤のため引き移りました。ところがあまりに寒さが厳しいため、どうく病魔に犯され正月以來醫者をたよりに淋しく暮して居りました。そこで此の度は氣候のよろしい所にて静養いたしたいと思つて、九月より此の福岡の地に参りました。當地は大變に暖くて誠に暮しよい土地の様に思ひます。其のためか次第に体の加減もよろしく快方に向ひつゝあります。体の弱い程不幸なものはありませんとつくぐ思はされました。

子供は長男十才(尋三)次女三才(大變)に丈夫で毎日元氣よく家中を賑やかして居ります。これがため日々の淋さも打ち消されます。

當市は九州第一の都市ですから諸所への交通は大變に便利です。皆様も御寸暇を割いて御出で下さいませ。

終りに御校の御發展と皆様の御健康とを祈りいたします。

一色保子先生より

先生誠に申譯なき御無沙汰でございました御達者でいらつしやいますか。先日は同窓會へ寄書をとの御葉書誠に恐れ入りました。早速皆様へも御禮申上げたいと存じ乍ら學期末の仕事に忙しく致して居りまして、今日になりました故、せめて先生にまでなりと御詫申上げる次第でございます。何卒御許し下さいませ。

私事御校在職中あの恐ろしい大患にかゝりまして、如何なる事かと存じ又皆様にも大層御心配を御かけ致しましたが、只今では又よみがへりまして元氣に生徒達と勉強致して居ります。先年北海道より樺太方面へ旅行致しまして、今年又夏休みに臺灣へ行つて参りました。臺灣は大變氣に入りました。南は高雄より并東まで参り東は阿里山、日月潭、務社と云ふ蕃界にまで立ち入りまして随分面白い旅行を致しました。ほんとうにこの元氣さをもつて、あの大患當時御心配をかけました杉野校長先生を始め諸先生生徒の皆様への何とぞして御恩をかへし度いと存じて居ります。又折もござりましたら御訪ね致したいと存じて居ります。どうぞ先生よりよろしく皆様へ

亡き人を偲びて

三回	會員	佐藤延
五回	舊小川	村田芳枝
七回	舊富安	沼田艶子
八回	舊龜山	龜山雪子
八回	舊高原	高原フクヨ
九回	舊三浦	齋鹿千代
九回		豊田富子
十回		坂本ノ子
十回	舊渡邊	渡邊三七子
十一回		和泉ヨシ子
十一回		藤田智恵子
十三回		小泉義子
十四回		木梨末子
左記皆々様ノ御逝去ヲ悼ミ茲ニ恭シク哀悼ノ意ヲ表ス		

浦 曙 會

佐藤のぶ子様の

御逝去を悼みて

第三回卒業生幹事

「朝に桃李の裳も夕には白骨となる……………」

死は生きとして、生ける者のまぬかれざる運命とはいへ、あたら花の盛を、新婚の夢まごらかに、いと幸福に仰き見しに、無情の風に誘はれて、急に儂く散り給ひしぞ、うらめしき 噫！ 悲しい哉、！悼しい哉、呼べど叫べど幽明境を隔て、御駕返すによしなし。

此の日君が死去の報に接し、あまりにも、怪しき悲報に夢なれかし、誤聞にてあれかしと祈りつゝ車にて御門たゞきしにはや橋本家より事務の方々御近親の方々御集いありていと、しめやかに、そごろに寒さをおぼへ、やはり誠なりしかと、張り詰めたる心もゆるみぬ、あゝ、君と楽しく未來を語り互に力になりあふべく、堅く手をにぎりあいし夕べより、幾ばくもたゞぬ今、はや佛となり給ひしみ姿の美しくし崇高さ、これが永久に、さめやらぬ眠に落ち給ふとは、思ひあきらめられぬ程、いと静かに、物言はぶ、微笑給ふかと思はるゝ迄、僅少のやつれさへな

きみ顔を涙ながらに拜しまつりぬ。

こもごもの御通夜も明けて、告別式は來りぬ近々クラス會を開く豫定にて、その日のみ指折り待ち詫び給ひしと聞きては、今日のまごひの一週間以前なれば、いかばかり喜び給ひし事よと、残念に堪へず。納棺の折四人の子達の今一度母君の御顔見たしと泣きつゝ、せがみ給ひしも哀れ深く、母と呼び子と呼ばれ給ふ奇しき短き縁の糸も慈愛深き君がみ心は、幼き人々の上に永くく忘れ得ぬ印象となり給ふらむ。

思ひ出づればげに君こそ、生れ出づる其日より犠牲の神の、人の世に生きたるみ訓を垂れ給ふべく、使はされし、天使にはあらざりしや、養家の御両親の御病中、わけて母君なき後父君の長き年月の御看護に、あはれ青春の希望をすて、娘盛も惜げもなう、只御孝養に余念なかりしと聞く、野邊の送りもどごこうりなく、終り給ひし後は、東都に幸たる御生活を遊ばさる御兄姉の元に、修養おこたりなく、在せば、あの震災のため、生死の境を彷徨し、いろくの體驗に心をみがき光を添へ淋しき校長様の御家庭に御同情遊ばし教育家の内助として、勇しくも御決

心遊ばされし御心事、げに涙ぐまじきことにこそ、たどへ身は土に歸り給ふとも、君が美しくしきみ訓は永久に人々の上に、よみがへるらむ。静かに君を偲べば万感胸にせまり、筆はこぼす拙き一書を呈し、君が冥福を祈りつゝ、いささか敬弔の意を捧げまつらむ。

村田芳枝様のみまかりしを悼みて

五十鈴の河の水清く瑞氣溢れる神路の彼方を遙かに拜して屠蘇くみ交す初春となりました。門を彩る門松も千代に八千代に色榮えて、芽出度きみ代の初春を老も若も狂喜して壽ぎ奉ります。

恚うして屠蘇の酔も未ださめやらぬ五日の朝、實に思ひもそめぬ悲報に接しました。夫は極樂の蓮花の上より突如奈落の底へ陥れた様に……幾度か繰り返して見ても徒に胸を貫く許りの舊姓大山芳枝様の御死去の報知でした。私達は矢よりも早い人生の急流に押流されて岩に砕け、波と散る現世のめまぐるしい變化に懐しい友の便りさへも絶えくゞに只々一年一回の會報を唯一の機關として待つのみでした。

異郷の空に住み給ふ友垣を想ふ時、幸福にあれ、健在なれと將來を祝福せずにはゐられません。夫に運命の神様は無情にも、私達のハートに大きな傷手を負せて親愛な友を遠く地上より奪つて行かれます。やがては實をも結ぶ可憐な花は朝の光も待たないで、あはれ夜半の嵐に散り果てました。

あの美しく輝く眼、秀いでた鼻、豊満な頬、曲線美の肉體、鋭い頭腦、女の中の女として万人に慕はれていた人格者も今は、うつし世に、盡きぬ別を惜しんで総てをすて、神のみ許へまいられました。亡き友を偲ぶ時、十年の昔が夢の様に、走馬燈の様に、次から次へおもひ出されます。

校庭のポプラの下で友と集ひて、面白くおかしく語つた事も、閲覧室の片隅で文學を語つた事も、今は皆悲しい思出で御座います。花は散つても又芽立つ春もありませうが、死に行く身はごあはれな者はありません。

更に主婦を失はれた御家庭の御良人様 御両親様を想ふ時哀愁の情に堪へません。

今は只君の御靈の永久に安けく眠り給はん事を祈るのみで御座います。

大正十五年一月五日夕

沼田艶子様の御逝去を悼みて

第七回卒業生有志

沼田様の御逝去、實に、思ひがけない報に接しました、しかも生後一ヶ月の御子様をお残しになつて御永眠遊ばされになつたとか、人生は何故この様に無情なんでせうか、私共クラスの内でも大變御活潑で明く御丈夫でいらつしやいました艶子様の死。どうしても夢のやうで信じられませんでした、生あるものは亡び形あるものはこわれるといふ事はよく知つておりますけれども未だうら若い御身が何んといふ、はかないあはたごしい御一生だつたでせう、しかも三人目の可愛い、御子様を御出産遊ばし、その後の肥立わるく、皆様の手厚い看護のかひもなく御子様をお残して逝かれる心は如何ばかり、つらかつたでせう、御良人はじめ皆々様の御愁傷を察し申上ます、今はたゞ御生前の事を思ひ出すにつけ哀悼の情にたへない次第で御座います。

この上は永久にやすけく残りませし三人の御子様いやが上にも、幸多かれと、祈りつゝ心ばかりの、御

吊みを申上ます。

龜山 雪子様
高原フクヨ様

の御永眠を悼みて

第八回 有志

新春早々何と云ふ悲しい知らせを受けるので御座いませう。昨年もなつかしい三人の友を失ひ、今年こそは皆様何卒お健やかにと祈り上げたかひもなく、又もや二人の姉妹にみまかり給ふた報を御受けして、たゞ驚きと悲しみに打れるばかりで御座います。

一人は進んで東京の學校に、一人はなつかしい父母君の許にそれ／＼修養に余念なく、二三年前までは時々お健やかなお姿を拜見致して居りました。近頃の御様子知りたいと思つてゐた折柄こんな悲しい報を受けるとは。あゝ運命とは云ひながら希望にかゞやく未來をすて、又なつかしい父母君や御良人に先立たれて行くお二人の御心の中はどんなで御座いましたでせう。思ひ出すさへ涙で御座います。

拙い筆はよけいに乱れて書けません。この上はたゞ安らかに御永眠遊します様祈り上ます

齊鹿千代様の御永眠を悼みて

第九回 幹事

焼けつく様な太陽がいらかを照りつけて、開け放しの室内でさへむれる様に苦しい日でした。その日は私等にとつてどんなに悲しい思ひ出深い日でした事とせう。誰しも一度は、死と云ふ悲しい、いたましい運命のどりことならねばならぬ事とは、知りながら、可愛いお子様と御主人を此の世に残して、旅立たれたK様をどんなに惜んだ事とせう。どんなに悲しんだ事とせう。親愛なるK様。

K様は大正五年の春櫻の蕾のまだはころひぬ頃私等と共にあのなつかしい、學び屋にお入りになりました。それ以來四ヶ年、やさしいK様は天稟の美貌と御聰明とで教室に、運動場に、明星の様にかゞやいてゐられました。皆の人達もどんなにK様をお慕ひしてゐたか、特に歴史の時間など、鋭敏な記憶と流麗な句調でお答へになる時、私等はどんなにK様をお羨しく思つた事とせう。「卒業の春を迎へた時」よく窓に寄つて、靜かに暮れ行く春の天空を眺めながら、或は美しい月影が清らかな鶴灣の小波にくだ

けるのを見ながら將來の幸を語ひ合ひました。今でも其の時の有様が目の前に現れます。そしてK様が一しはなつかしくなつて参ります。けれどお別れして僅か四年後の今日、もうK様は此の世の人でないのです。私達はほんどうに夢の様にしか思はれません。あの御丈夫なお体がと、またしてもK様の死が疑はれます。今でさへお會ひしてゐる様にしか思はれません。溢れる様な愛嬌。さわやかな眼元。ふつくりした髪。キリストの様な愛の持主のK様が……浮き世のさだめとは申しながら、何と云ふいたまひ事でせう。運命の神のいたすら、それは何んど云ふあさましい事なんでせう。

でも今更どうする事も出来ません。地下にましますK様私等は、その人のみたまに、すべての友情をさくけて、永遠に安らかに、夢られる事をお祈りするのでございます。

渡邊三七子様
坂本 子様の御永眠を悲しむ

思ひがけなくも去りませし御二人を思ふ時、それが人の世の態とは云ひながらも何と云ふ果敢なさで御

座居ませう。殊に愛しの御子を後に残して逝きませし渡邊様を思ふ時、私共の胸は何だか苦しくなつて参ります。あのお優し／＼お美しかつた君のありしお姿がそ／＼に偲ばれます。何と云ふお氣の毒な事で御座るませう。其昔在校時代あんなにも優れた体格の持主でゐらつた坂本様の御死去の報に接しました時は一寸は信じ切れない氣持ちでございました御卒業後は若き師の君として奮闘しておいでましたものを、御両親もごんなにか御力落しでございました。

哀悼の意に堪へません。私達クラスの皆様がこの報に接しられて生前のお二方のありし事どもを偲ばれる時、亡きお二人もきつとよろこんで受け入れて下さいますでせう。御冥福をお祈りいたします。

藤田様、和泉様をしのびて

K O

紅いざくろの實をもちで、わたしは一人青い夕空を仰ぎました。形なき空なれども亡きふたりの君のけはひの通ふ心地がして、一入あはれをそ／＼ります。生きとして生ける人の身の、いつかはたどる道なが

ら餘りにもあはたゞしくとこやみの國へといそがれた二人の君。

おもへば四年五年と同じ窓の下に學びました。運動會の日、遠足旅行の日、……そして卒業の日——あゝ今一たびありし日のまことなれと青い夕空をまたも仰ぎ見ました。

けれども、空にはたゞうすき雲の彼方の山に消えるばかりでした。

あゝ永久に逝きませし君。今はむなしく冥福をいのるばかりでございます。

和泉ヨシコ様の御逝去を悼みて 第十三回幹事

木々の梢にかつかつ餘命を保つてゐた二葉三葉の紅葉もあはれ木枯のためになり、今年もあはたゞしく暮れ様とする師走の十九日。

悲しくも小泉義子さんを他界の國へ送つてしまひました、何時でしたか道すがら可愛らしい桃割姿を拜見いたしましたのにはんごに意外でございます。

同じ土地に住みながらお葬式にも参列出来ませず。只一本のお線香もお供へ出来なかつた事を深く深くお詫びいたします。

御体格も大變よく、氣のさばけた面白い人でございましたのにこんな早くお亡くなりにならうとは思ひもよらぬことでございます。

人の命は朝の露とか、ほんごに何時果てるやらわからないのですもの、つくづく人生の便りなさ、悲しさを感じさせられます。

昨年の八月には村上様が逝かれ、未だ二年もたふない間に、今年も亦一人お友達を失ふとは。何といふ不幸な級だつたのでございませう。

拙い筆をもつて級友一同にかはりまして御悔み申し上げます。

◆ 會員消息

通信 楠戸 榮 (一回)

秋色酣にして燈火親しむべき好時節となりましたが諸先生を始め皆様方には益々御健康に御活動遊ばされます事と存じます。其後は大變御無沙汰を致しまして御断りの申様も御座いませませんが、卒業生の御方

々様も随分變つていらつしやる事でせう。春方クラス會の御案内を下さいました節は折悪しく實家へ參つて居りましたので、留守中の爲御返事も差し出さず失禮いたしました、何卒悪しからせ御許し下さい私も只今では子供も三人で二人まで男兒ですから、賑やかなそして大變忙しい日を送つて居ります、然し今夏實家の母を失ひまして、精神的に淋しさを感じます、丁度中陰に私が學生時代に寄宿して居りました家の伯母さんにお目にかゝり、色々尾道の話、母校の話承はり、非常に懐かしく存じました。つきましては、岡山縣下へあちらこちらと母校出身の方々が大方お集りの様で御座いますから、同窓會支部を設けて、岡山か倉敷邊で年に一回か二回かの支部會を開催いたし、お互に經驗談や、新しい智識の交換やら、失敗談を致しましたら、嘸有益だろうと存じます、が此地方御住居の御方様の御意向は如何で御座いますか、一寸老婆心までに誌上を通して御伺ひ致します。

【 61 】 社會は日に月に進歩して參りまして、私等の如き一昔も前の學問は、流行晩れになつて仕舞ひましたから、私は名士の講演とか、何々の講習會の催しには

成可く出席して居ります、そしてミシンを一台求めまして、子供の洋服下着等も色々ご自分で考案して作りますが、忙はしい代りには又一種楽しみなものです。

追々寒さに向ひますから、皆々様益々御身御自愛遊ばして、お互に社會の爲國家の爲に御働きなされる事を祈ります。(幹事宛)

一回卒業生より

今も同じ風情である、久保町防地の母校前の南側の家、藤居様宅にてクラス會を開きました。それはすつと以前からの話し合ひにもなつてゐましたが、何分にも私達の様に古い者には力めて書を読み、道を尋ね様と思ひましても、見思の惑の積る許りで解決に苦しんでゐます時、せめても家庭的なお話を致し合つて見たらと思ひたちました。それは五月の風がアカシヤの嫩葉に氣持よく渡つてゐる廿二日の夕刻でした。

まあ想像して御覽なさい、あのお二階一杯になつて岡田先生をはじめ、辻様其の他尾道在住友垣の膝を

交へて、お物語り致しました。岡田先生は中々お元氣でいらつしやいます。お久振であの忘れぬ何處迄も引きつけられる先生と親しい友の集りですからお話の盡きる筈も御座いませんでした。卒業後あはたどしく経つた今日、何れも只今が家庭の整頓に手際のさえてゐる時ですから、有益な經驗談等お互に耳を傾けました。

お送り下さいました小西様の寫眞も變らぬお姿よとお贈し乍ら拜見致しました。

やがてお琴や三絃の運はれるやら、鶴龜、須磨の曲秋の曲など靜かに奏でられました。殊に岡田先生の松竹梅はあのきれいなお聲に和して上品に聴かせて頂きました。丁度曲の終つたのが十時を大分過ぎた頃。誰やらの「片寄する琴に落ちけり朧月」の句もをかしく思ひ出されて一夜を残り惜しく過しました。余白を借りて失禮では御座いますが、何卒皆様御來尾の節は只の一時でもお立寄下さい、母校在校生の朝に夕に洋服姿も活潑に通學してゐます有様眞實に氣持よく感ぜられます。

相變らず後の山は美しく、前の海は穏やかです。人の情けの濃やかな尾道に時折は歩みを留めて下さ

いませ。

舊高木 秋葉かつ子（一回）

御寒い嫌な冬が参りました。朝鮮の冬はどつまらな
いことばございませぬ。これから終日家の中ばかり
で暮すのでございませぬ。先日は御手紙御有難うござ
いました。何時も横着ばかり致しまして、御近くに
いらつしやる貴女方ばかりに何かと御世話させ誠に
すみませぬ。何卒よろしく御願ひ致します。皆々様
には御變りなく御暮しでいらつしやいますか、私も
暫く御無沙汰致して居りますから、御詫びかたぐ
是非一度御便致したいと存じて居りますけれど、何
かど取りまざれつひ失禮致して居ります。先日は折
角御手紙頂きましたのに、親戚に不幸がございまし
て、ませくつて居ります内に、期限がすぎましたも
のでございませぬから又此度も失禮致しました。

私等は別に申上げる様な事はございませぬ。只今は
五人の母として毎日一緒に騒いだり笑つたり叱つた
りしてそれで日が暮れてしまひませぬ。それでも皆様
が御懐しくてなりませんので、此頃には是非御便さ

せて頂きたいと存じて居ります。後略

(一回幹事宛)

田坂マス(二回)

色彩のうるはしい千光寺山にもいよく秋の訪れ申し候て昨今は菊紅葉の盛りと相成り申候處諸先生を初め同窓の皆々様には御壯健に破居候や御伺ひ申上候日頃は頗に御無沙汰のみ致し何卒御救し下され度候私事も御蔭様にて無事に相暮し居候昨年より當方主人事久保町郵便局を引受け致し只今は家族の者共久保町に移り居り候家事に追れ乍らも時には書留の引受け等致す事も御座候時節柄子供の運動會など見るにつけ十年前の學生時代も偲ばれて懐かしき母校の有様皆様の御様子等浮ひ出でられ候追々寒さに向ひ申候まゝ御自重遊ばされ度先はかしこ(幹事宛)

村上康子(三回)

其後は御無沙汰のみいたしましたして誠に申譯も御座いませんが母校に於かせられても一方ならぬ皆々様方

の御盡力によりまして年一年と隆盛に越きまして何よりの事と御喜び申上げます合せて御禮申上げます同窓の皆々方には相髪らせ給はず御健かに御過し遊ばざる事と存じます。

先日久方振りに岡田先生の御宅を訪問いたしました皆々様方の御様子やら學校の事共承りまして十年一昔以前の同じクラスの學び舎の事共思ひ出されて大變なつかしく何時も變らせ給はぬ御優しの師の君の御健かに渡らせ給ふ御容姿に接しまして……呼べど呼べど歸り來ぬ亡き母に巡り合ひし心地して楽しく嬉しく半日を過させて戴きました。

けれども其の内涙に濕めるお話も御座りました。同じクラスの一人延子様之母校長先生と御婚儀を舉げさせられ樂しき家庭に入らせ給ひ優しき母君として家庭の主婦として

御両親に對しては孝道いたらざるなく泪ぐまじきまでに行届かせ給ひし犠牲的精神の持主たりし由延子の君には御入嫁後一ヶ月余りにしてにはかの御發病の爲め御手篤き御心盡の御看護も其の甲斐なく、衰れ果なくも散り失せ給ひし御悲報に接し誠に驚き入りました。

夢ならば疾く覺めよかしと願ひし事も………聲を限りに呼べども再び歸り給はぬ旅路へとやらへ急がせ給ひし事。

老少不生は世のならひとは申しながら人生の半ばのうち若きみそらをもつて永久に地下安らげく眠り給ふ君の事共。

跡に取り殘され給ひし御家内御一統様にはかさねがさねの御不幸何んと御慰め申上げてやら御愁傷いばかりならんど、覺えある身に取りては一入御同情申上げます。

美はしき御姿の御寫眞を目の邊り拜しては、哀れ果なく散り給ひし君は何處にさまよふらんど。

樂しき内にもクラスの方々の一人二人としたひに悲報に接するとは何んと云ふ心淋しき事よ。

廿五日には久振りに運動會に寄せて戴いて集ひ給ふ皆々様にも御目もじ出来る事と樂しみにいたして居りました處。

本年は何んと云ふ悪年が不幸は次から次へと襲つて來ました、それは盜難、病魔のために家内全部をあけて一時は生死の境を彷徨してをりました、しかし幸ひ醫藥看護の効あつてか危篤を傳へし生命も全快

の喜びに迎えられて西下歸國後一週間足らず疲も十分いえぬ矢先。

暑中明より引續いて病魔の爲めに苦るしめられし父の爲め目下入院中で御座ゐます。

此度は以前の病人と比べると余り表面に顯はれませんが病の爲め急變のない限り心配も大した事も御座ますまいと思ひますが。

しかしながらゆだんは出來ませんが。

こんな具合で折角樂しみにいたして待つて居りました運動會も不參いたさねばならぬ事になりました。不幸の神に取り附かれました爲めか世の中は一時に暗くなつた様な氣がいたします。

看護の任に當る私は至極健かにて天の試練に打ち勝ちて一日も早く全快いたす様専心注意いたして居ります。

こんなにして半年許りも過して參りましたが自分一人の身体だけは變りなく日々を過させて戴いてをります。事々を日々感謝しながら送日いたして居ります。

早速御様子いたします筈で御座いましたのに本日落手いたしましたので取り急ぎ乱筆を走り書きいたしました失禮さして戴きます。

終りに同窓皆々様方の御健に渡らせ給ふ事を祈りながら筆を止めさして戴きます。
(第三回幹事宛)

與田のぶ子(三回)

梅雨とは申しながら雨も少く日増しに暑くなりませす皆様益々御機嫌麗はしくゐらせられます由よりと嬉しく存じます。先日は會誌を御送り下さいまして有難うございました。皆様の御動靜を承りなつかしう存じました。私も度々御便を致さねばなりませんのでございますが昨年夏から兎角健康勝れず爲に自然と御無沙汰致しました。悪しからず御許しを願ひ上げます。然し私の病氣も御蔭様で此頃では殆んど全快致しましたから御安心下さいませ。後略

惠谷ハツヨ(五回)

【 65 】
朝夕は余程冷氣を覺えませすがお懐かしい先生方や同窓の皆様には御機嫌よくお過しでございませるかお伺ひ致します。此度會誌發行につきまして私に迄消息をとのこと恐れ入りました。私も主人が今春八幡の

校長に轉任致しましたが丁度お産を七月に致しましたのですつと此方に居ります。同窓の方で若し島へお渡りの節は何卒お越し下さいませ。私も三人の子供の母になりましたのであまり外出も出来ず平凡な生活を續けて居ります。當年三歳になる進一郎は今が愛らしい盛りで片言をいつたり色々な事をまねたりして一同を笑はせて居ります。赤坊の縁が生れましてから兄様氣取りを致しますのが一層おかしいでございます。先日出尾致しました時舊姓惠谷春子様山口アサコ様にお目もじしてほんとうに懐かしうございました。一日も早く會誌が出来まして皆様の消息を承はらうと今から楽しんで居ります。終りに臨み母校の發展と皆様の御健康をお祈り申し上げます。

落久保愛子(五回)

櫻は々えむ暖かな頃となりました。諸先生様始め皆様方にはお變りなくゐらせられますか。下りて私方一同御蔭様にて事なく過してゐますから他事ながら御放心下さいませ。先日は懐かしき會報をお恵み下さいまして厚く御禮申上ます早速御挨拶を申上

けなければすまないのでしたけれども俗務に追はれ心ならずも延引致しました。悪しからず御許し下さいまし。會報は手にすると早速むさばる様に讀みつづけました。餘りのなつかしさ、うれしさに夢中で讀みふけりました。ほんとに皆様方の御様子委しく承知いたしました。今更に母校に在りし昔が偲ばれました。私も今では四才の長女を頭に長男次女の三人に取囲まれてほんどうに多忙な生活に入つてゐます併し苦みの中に楽しい輝きがありますので一家は至つて幸福です。日曜毎に一家打揃つて彼方此方とピクニックに出かけて居ます。それがため京阪地方の地歴事項は少しは存じてゐます。御上阪の節はどうぞ御立寄り下さいまし、きつと御案内を申し上げます終りに諸先生を始め會員皆様方の御健康と御幸福を御祈り致します。(同窓會幹事宛)

舊姓藤田 豊田清子(五回)

久しく御無沙汰致して居ります。

先日はおなつかしきお便り頂きまして有難う存じます。母校の日々に榮え行く様を遠きみそらで承りま

してどんなに嬉しく存じて居りますことやら。先日妹から運動會の盛なりし有様を書いて寄こしてくれました。ありし昔を偲んでなつかしく思ひました。

此度何か近況をどのお言葉をたまはりました。が今年貧弱な私の經濟談を御笑草までに申上たいと存じてゐましたが、さていざとなると勇氣がくちけてしまいます。今年悪年と申しませうが、お正月早々主人の父を失ひましてからは兎角に病人勝ちで御座いました。處八月半頃私を慕つて上京した妹、病氣に經驗のない妹、いつも活々として林檎の様な頬をした妹が上京後間もなく感冒にかゝつて床に就きました。九月一日あまり病勢が思はしくないので入院致させました。そうしてあらゆる方法を以て療養に盡しました。が定命は致し方がありません、一ヶ月の病ひでどう／＼亡き人となりました。何といふ人生の冷酷さでございませう。やがて咲くべき花の蕾を無慘にも折取られました。今に夢の様でほんどうだこの思が致しません。今はなきいとしの妹も、亡き母と共にみ佛の慈愛の御手に抱かれて安らげき日を送つてゐることでございませう。悲みに沈める私達は「先きに死んだ者が幸福なのやら後から死ぬ者が幸

福なのやら判りませぬ」とお寺様に慰さめられて歸りました。幸の神に見離されたと思ふ私はこのお言葉をどんなに深く感じましたことぞせう。かくして私は四五日の後に第三人目の母となつたのでございます。死に行く者生れ出づる者何といふ人生の奇縁でございます。朝夕妹の冥福を祈りながら此の世に生を受けた小さな者のために働いて居ります。皆様幸多き皆様はどうぞ餘力を以て母校の益榮え行く様御盡しを願ひます。(小林幹事宛)

堀切 澤子(五回)

桐の一葉に秋は深くなります。其後しばらく御無沙汰致して居りますが皆様には御變りはありませんか私も無事で居りますから御安心下さいませ。先々月又女兒が生れましたの、この度は丈夫で大きくなつて居ります、しげ子は來年から學校へ行きますの、まだ自分では娘の積りでゐたのに、もう子供が學校へ通ふ様になりますので、ほんとうにうか／＼して居られません。

會報發行につき近況をこの事ですが毎日子供相手に

平凡な月日を送つてゐます。諸先生同窓の皆様方へ宜しく御傳へ下さいませ。昨日より明治神宮のお祭りですが生憎雨が降りまして、いろ／＼の催物も出ないでせう。お天氣でしたら大勢の参拜人で賑ふのですが、是ではお詣りも出来かねます。三圓會報費として同封致しましたから御受取下さいませ。時節柄御身御大切に(幹事宛)

奥野 静子(五回)

秋も漸く更けて朝夕は何となく寒くなりました。誠に御無沙汰申上まして相すみません。過日は御便を頂きまして恐入りました、母校御皆々様お健かにゐらせられますか、私も家事やら小供にかまけて忙しく過して居ります。御蔭様で身体も此頃はよく女の子で丈夫ですから何かとおしべりし出して面白くなりますので毎日々々を忙しい中に楽しく働いて居ります。何かお書き致したく筆を取りましたが日限に迫られ失禮いたします。何れ又の時に書かせて頂きます。會費御送り申しましたから御手数ながら御受取下さいませ。先は右御返事まで(幹事宛)

山 方 い そ (五回)

千光寺の紅葉も美しく秋を彩りました。其後は誠に申譯もない御無沙汰致して居りますが悪からず御許し下さいまし。諸先生初め同窓の皆々様には如何お過して御座いますか、私も御蔭様で無事に二人の子供のために日夜多忙な月日を送つてゐます。長男は四才で長女は二才であります。長男の悪戯には時に笑ひ時に困らせられます。會報發行につき何か書かして頂かうと楽しんでゐましたが長男が二三日前より少し風邪にかかりましたので、彼是と忙しくそれに日限も切迫致しましたから今回は失禮させて頂きます。何れ又時を見て紙上でゆつくり皆様と御話し致さうと存じます。

追々寒さも加りますので御身御大切になさいませ。終りにのぞみ母校の發展を祈ります。

小 林 イ チ (五回)

さらば皆様御機嫌やうと懐しい校門を後に西や東にお別れして早や一昔となりました。その間教受けし諸先生初め同窓の皆様には如何お過して御座います

か。心ならずも日頃の御無沙汰悪しからず御許し下さい。

げに光陰矢よりも早く春秋いくつの星霜を重ねて今日となつたでせう。此頃は皆様も良き主婦や賢き母となつて多忙な月日を御送りの事と存じます。私も一母性として一人の女兒の爲に經驗のない育児の道を辿つてゐます。通學時代によく吐いた理論も實地にあたれば、なか／＼むづかしく失敗に終ります。併し失敗も尊い體驗で試験の結果は、やがて實も結ばれる事と存じます。只今六才で毎日幼稚園に通つて居りますが、來年からは小學校へ入學致します。いつ迄も娘の様な氣でをれば、いまに小供に先んじられますから、しつかりしなければなりません。幼稚園から歸つて來ては大きな聲を張り上げてお家も震動せんばかりに歌ひ小さな手を動して遊戯してゐる天真爛漫な無邪氣な有様を見てはお腹をかかえませ。此の天使の様な子供を善良に育む事の責任の重い事を感んぜずにゐられません。

皆様は、いろ／＼と尊い經驗をお持ちの事と存じますが紙上で御指導下さいませ。

あまりお懐しさに思はせ時を過しました。追々と寒

さに向ひますので皆様折角御自愛遊ばせ。
折しも戸外では明月が皎々と邊りを隈なく照してゐ
ますが皆様も何處かで、此の同じ月を眺めてゐられ
ませう事に。

村上千里（五回）

過日は御手紙戴きまして有難う存じます。其後お二
人様には如何お過しでいらつしやいますか、相かは
らず母校の爲に御盡力下さいます事と御禮申上ます
私事おかげ様で無事に暮して居りますから何卒御安
心下さいませ。早速御返事致します筈の處丁度先月
は歸國致し延引いたしました、悪しからぬ御許し下
さいまし。此の春は幹事の方々が五人宅へお出で下
さいましてお相談の上湊川くらぶで支部同窓會が御
座いまして十五人集り十年目に始めて長谷川チヲ様
とお目もじ致しました。ほんどうにお懐しう存じま
したよ、色々とお逢ひ致しませばお話も御座います
が只今は子持になりまして何かと用事がございませ
るので一寸御返事までに止めておきます。子供はお正
月に出産致し初めての事經驗なき上に男の子で、な

かゝ世話がやけます、でも丈夫で御座いますので
喜んで居ります。
寒さ御大切に遊ばせ。かしこ（幹事宛）

池田政子（六回）

秋もたけなはになりました皆様益々御活動のことゝ
存じます。私共は「十年一昔」前に卒業したのかと思
ひますとまるで夢のやうな感じに打れると同時に今
更ながら自分の年とつた事を思ふのでございます。
毎日々々若い生徒を相手に月日を送つて居りますの
でやつぱり女學校當時の氣分がうせないで相變らぬ
元氣旺盛でピン／＼はねて居ります。時には「年に
似合はない子供だなあ」といふ言葉をきいて赤い
顔して恥入ることもあります。當校につとめまして
來年の三月で滿五年になりますが大した病氣は一度
もせせ呑氣な生活をつづけてまゐりました。
所謂古參ですから教しへ子の教しへ子即ち孫も教し
へねばならなくなりました。ですから縣下のごこの
郡へ行きましても教しへ子が居りますのでほんごに
心強く愉快でございます。しかし當校の指令は小學

校教員の指導ですから研究會に出席したり講習を開いたりでとても暇はございません。始終教育方面に眼をろろぎ研究して居りませんとおかれてしまふのであります。殊に私の専攻學科が家事ですから人間生活の基礎たるべき家庭生活の改善について大いに努力しなければならぬ指命をもつて居りますから一時もちつとして居られないのであります。

ごらんなさい外には飛行機とび汽車汽船走りラヂオの流行する今日壁一重へだてた内の家庭生活はどうでせう昔のまゝの生活をそのまゝ何等工夫改良もしないで不便をかこちながら働いて居るとはなんとなさけないではありませんか。朝から晩まで台所に立つて居るのが女子の仕事ではありませんまいだ／＼その他にせねばならぬ事は多いでせう私共お互に家庭生活するのにいかにしたら時間が少くて力が省けてそうして美しく氣持ちよく出來ますまい又いかに此の物を使用したら消費を少くして効用を大にすることが出來るであらうか又此の子供をいかに育てたらもつとも強い丈夫な賢い子が出來るであらうかといふ事を常に頭を働して毎日の仕事をしたならばどんなに私共の生活は樂になつて行く事でせうこれ

はやがて家庭生活の向上人間生活の進歩ではないでせうか。

四ヶ年間諸先生からお教へを受けながら何等それを應用せむ徒らに互の習慣をそのまゝ受けついで居るといふ事は御恩にそむいて居ることになると思ふのであります。

お互にこれからこのおくれた家庭生活を向上發達さすべく努力しやうではありませんか。

平素の御無沙汰にかへ近況と感想をかきましたたわけでございます。

舊仙田 辻本敏子(六回)

先日は會報を御送り下さいまして有難うございました厚く御禮申上ます。皆様には其の後如何御暮しの事かと案じて居ります折柄毎年一回の會報を手に致しましてどんなに嬉しうございましたでせう杉野校長様の御來校記念の寫眞を拜見しました時先生に御目にかゝつた様に嬉しくございました。あの嚴格な御性格のうちにも何處どなく御優しい温い先生、ほんどになつかしく存じました。尾道に居りますと思

師の御方に御目にかゝれてよろしうございますのに私の様に何時も遠くに居りますものは只會報一冊を樂しみに御待ち致して居ります、當市には同窓の御方も澤山いらつしやる御様子でございますが一寸とも御目にかゝる機會がございません、昨年五月頃でしたか堂島ビルディングで保澤千賀子様一寸御目にかゝり十月頃に八回の今川好美様に道頓堀で御目にかゝりましたそれきりですの。昨年主人と共に尾道に参り五六日滞在致しました其節母校を御訪ね致し度いと存じましたが何分日が短かいのでそれも叶はず残念でした。皆様どうか御來阪の節は御寄り下さいませ、四月一日より東成、西成、両部編入で大坂となりました。それで私宅も區が變りましたので御通知致します。後略

舊長尾 高島たま (六回)

お庭の紅葉も時雨おひてか漸く色づき初めました。其後先生始め同窓の皆々様には御障りなく御過しでございませうか御伺申上ます。先日は誠に御親切な御便頂戴致しまして有難うございました。折角の御言

葉に何も申上げる様な事でもございませんが此夏摩耶山へ登りました様子を一寸申上げませう。六甲の連山に摩耶山が有ります、過日ケーブルカーが開通致しましてより暑中は殊に毎日大變な人出で賑はつ居りました、私達も暑中の事とて幾度となく避暑がてら出かけました、麓迄自動車の便が有りましてケーブルカーにて山上に達します。甚しき勾配の所を途中にトンネルも有りましてよく斯様な工事が出来た事を感心致しました。

頂上よりは市中の半分は眼下に小さく、遙か沖の彼方は紀州あたりから大阪邊迄かすかに見下す事が出来まして何とも申上げられぬ程爽快な氣持になります。

山上には種々の餘興も有れば活動寫眞も有ります、緑濃き松林のまに／＼キャンプ村も有りまして別天地に行きました様な感じが致します、登山も非常に便利となりました。樂しき日曜日是一家族揃つて彼方此方とよく出かけます、時候のよろしき時は日歸り旅行も度々致しまして愉快な一日を過す事もございます、當地御通過の節は是非御立寄下さいませ方々へ御案内致します。後略 (檜垣幹事宛)

谷 静 香 (六回)

いつからか御伺申上げやうと存じながらも生れ持つたる筆無性の爲思ひがけなき御無沙汰を致しました何卒御許し下さいませ、其の後同窓の皆々様には御變りなく御暮し遊ばされますか降つて私事御蔭様に日々變る事なく子供の爲に明暮多忙に暮して居りますから他事ながら御安心下さいませ、さて此度私は此郷里に歸つて居ります、先月八日父が一ヶ月余りの病氣の爲呼べど歸らぬ彼の世へ旅立ちましてより淋しく暮して居ります。生前父の愛用品を見るにつけ、子供の無心に遊ぶ様を見るにつけ、ありし昔が忍ばれて皆涙の種でございます。あれ程可愛がつて居た孫の成長も充分に得見ずに逝つたかと思へば生者必滅ありとは知りながら恨めしい様な氣が致します。余りにくだらない事のみ書きならべました、先づは御通知まで。後略

(六回幹事宛)

舊姓平田 錦織スガ(六回)

其の後は申譯もなき御無沙汰ばかり致しまして今更ながら御恥かしう存じます何卒御許し遊ばして下さいませ。

いませ。岡田先生始めの皆々様には御變りもなく渡らせられますか御伺申上ます。何時も母校の爲同窓會の爲何くれと御盡力下さいまして有難う存じます、早御別れ致しまして八年……全く夢の様な心地が致します、同窓の皆々様にも随分御變り遊ばされた事でございます、私もなつかしい故里を出ましてから、もう五年になります、ずつとこの閑静な目黒の地に住居致して居ります、今ではすつかり土地の様子もわかつてまゐりました、關西地方に比べまして當地の方が餘程質素の様に思はれます、奥様がたも仲々よく働かれて又仲々しつかりしていらつしやるのにも感心致しました、ほんとうに開けた住心地のよろしい土地でございます、私も今は二才になります男の子供の母として楽しい日を送つて居ります。イタツラ着をきてヨチ／＼と歩いて居る様子など見て居りますと、ほんとうに子供つて可愛らしいものでございます、同窓の皆々様にも御目にかゝる事もございません、只時を栗野千代様が遊びに來て下さるのが何より樂しみてございます。さて昨年末國の方から會報を轉送してくれましたから、にて御なつかしい皆々様の御消息拜見いたしましたし

て誠にく有難うございました、本年も亦近き内に御發行に相成る事と何よりも楽しみに致して居ります。

誠に御手数でございませうが當地の方へ御送り下さいませ諸先生及同窓の皆々様へよろしく。後略

(檜垣幹事宛)

旧小川 田村キヨ(六回)

秋風身にしむ頃となりました諸先生にはいつも御健かに渡らせ給ひ日々御忙しく御勤遊さるゝ事と存じます。さてこの度御親切に近状知らせよとの事で御座いますが、別に申し上げる程の事も御座いませぬ此節は右の別荘にて暮して居ります、五才になります女の子が一人居ります、毎日無邪氣なそぶり罪ない言ひ草はいつも家庭を賑はず一つとなつて居ります、別になにもいたさない様でも、あれやこれや家事におわれまして、筆とる事もこたり勝ちで失禮ばかりいたして居りますが、なにぞ悪しからず御許し下さいませ。

末筆ながら御なつかしき岡田先生によろしく御傳へ

下さいませ。同窓の皆様へもよろしく陰ながら母校の繁榮祈ります

(檜垣幹事宛)

服部ト子(七回)

先日は浦曙會よりわざわざ御通知下さいまして有難う御座いました、いつもながらの幹事様方の御熱心のはごうれしく御禮申上ます、其後母校は増々御隆盛に趣きなにより嬉しく、これもみな諸先生初め同窓の皆様のお力賜と深く感謝いたします、次に何か消息をどの御事で御座いますか、何と申しましても平々凡々の月日を送つてゐる私にはペンを取る事も忘れなされた様な次第で何とも申様がございませぬ、どうぞ御許し下さいませ、クラスの皆様は御達者でいらつしやいますでせうか私は昔なつかしいナニハの空で暮して居ります故誌上を通して貴女様より同窓の皆様方によろしく御傳へ下さいませ、當地にも皆様おらつしやる様な様子ですが何分家事に追はれ通しの私には一寸も御消息がわかりません、御許し下さいませ貴女様の御健全を祈ります、住所が表記の所に變りました故左様御思召下さいませ。

青 盛 當 子 (七回)

御許様先日は御多忙中わざ／＼會報發行の御通知下されまことに難有く御座います、氣儘者にて平素大御無沙汰いたしております、いつも／＼通信なし下され色々御手厚き御盡力頂きます故、楽しみに致しております。會報楽しく／＼と拜見させて頂きます此有難き御厚意感謝致しております、折角御通知下されしに無駄に致しますのも何となく口惜しくご存じ色々考へましたけれど何も變つた事とてなく毎日／＼平凡に日暮しを致しております、此度はこれにて止めておきます。何卒御許様當方へ少しは御來遊下さいませ多少なりと違ひております。皆々様によりしく申し下さい寒くなりますから御用心下さいませ。新春の候になりましたら一度來尾致しゆつくり御目もじ致します楽しみに待ち居ります。先づは御返事迄に。

作 田 定 代 (七回)

大變お寒くなりましたいつも御無沙汰ばかり申上げまして何からおわび申上て良いやら昨年尾道えまゐ

りました節御許様をお宅で御見受け申上げた様に存じますが失禮ばかり致しました、お忙がしい中をいつも母校の爲におつくし下さる由うれしう存じて居ります。私事主人の都合に依りまして神戸から當地に變りまして只今は大低一人の様なもので親類に居ります、暫く神石郡と云ふ奥の方え参りまして少し体をわるく致しましてぶら／＼致して居りますので別にお話も差上られず何ぞ御ゆるし下さいまし、誠に御手数などは存じますが會費二圓御送り致しますから何卒御取はからひ下され度吳々も御願ひ申上ます寒さに向ひます故御自愛の程お祈り申上て居ります

かしこ

高 橋 楠 子 (七回)

大變御無沙汰申ます運動會にバザーに氣持ちのよい時候になりました、御機嫌ようゐらつしやいますか毎度御世話になりました有がたう存じます、御蔭様で無事に居ります御安心下さいませ、定めし御忙しい事で御座いませう何卒おつかれの出ませぬ様にと御祈り申上て居ります。先づは右御禮まで かしこ

追々と寒くなつて参りましたが其後皆々様お變り御座いませんか、色々とお世話のみして下さいませすの
にいつもながら御無沙汰のみ重ねて誠に申しわけ御座いません、降つて私方には小供が弱いため色々心配を致して居りましたが今年二月頃尾道へかへつて居ります時どうも肺炎にかかりまして六十日程それはしく心配のしつづけで御座いましたがお蔭様で段々と快方に向ひましてこの節では大變達者になりましたので大安心致しました。早く御返事出さなければすみませんのに丁度先日から家に客がありましてので何かと忙しくして居りましたのでこんな後れて誠に申しわけ御座いません、會費三圓同封致しましたから何卒よろしく願ひ致します。先づは皆々様御身御大切に下さいませ。

晩秋の日に 尾畑幸江(七回)

庭の青桐のくち葉がたえまなくバザ／＼と落ちて來ます。

【 75 】
其の後の失禮御ゆるし下さい。

別に變りなく過ぎし來たと云ふものゝ私にもこの春すべての花の咲き出づる頃世の中の悲しみに接しました。それは愛兒を失つた事です。逝きし兒を思ふとそこに云い様のない感情がひし／＼とせまつて來ます。

子をいただける母親の微笑のうちに永遠の神秘がひろんでゐると。唯かは云つてゐます。

人事の様に思つて居た温い親心を小さき者の母となつては母性愛といふ物のかくまでも如何に強きかを體験をせられました。

今の私の頭の裡は他に何物も書く事を持ちません。やがてせまつて來る木枯の吹きすさぶ目を思い同じ學窓の友の上にそして又私の知る限りのすべての人この上により以上健康と永遠のよき幸とを切に祈つてゐるばかりです! どうか幸福でゐて下さい!!

石井順子(七回)

桐の一葉に何とやら。いつしか紅葉の頃も終に近づきました。過ぎし頃には同窓會より近況知らせる様にどの御手紙戴きましたのに其後とかく雜事にまぎ

れ、心にもない御無沙汰悪しからず思召し下さいませ。

来る日もく今日も今日も存じつゝ餘りの御無沙汰に、今更お恥しくこんなに延引いたしました。

母校の爲にお厭ひもなく、努力して下さる幹事の方々のなみくならぬ御手数や、御骨折をお察して今更の様に省られて、遅ばせにも筆取りました。其後御健に御過しの事何より御目出度存じ上げます。私も至つて平穩無事で格別取立て申上げる様な材料を持ちませんのを残念に存じます。田舎の事で御座いますので少しは都會でうける様な刺戟もあつてはしいと思ひます位、單調な日を續けて居ります。外出するといへば、秋の茸狩、春の土筆取位なもので御座ります。終日銀色の針を見つづけながら隣りの御部屋から洩れて来る、ピアノの音に、何時の内にかお仕事の手を休めて聞きとれてゐる自分を見出す事が御座ります。懐しいピアノの音、それは私にとつてほんとに懐しいものゝ一つで御座います。若葉の頃、講堂から洩れるピアノの音、深くく脳裡にきざみつけられた忘れがたい記憶。考へますと八年も前の事で御座います。一日の中一番楽しみな時は夜

床へ入つてから讀書する時間で御座います。學生時代によく人形等のいたづら書をして暮い時間をつゝして居りましたが此頃では何故あんな時最つと有益に時を使はなかつたかと悔まれます。どの方面にも未熟な自分を省みて深く考へさくれます。一度皆様とお會ひしてあれもこれもお話したい事が山程、今夏も亡父一週忌に下尾致しました折、増築出来た母校も拜見したく、お友達にもお會ひしてと、心の内用が出来まして大急ぎで歸りました爲私の楽しんでゐた幻想。ほんとにそれは空しい幻想に過ぎませんでした。此頃は同窓會はいつ頃御座いますの？一度参りたく存じて居ります……中畧……末筆乍ら岡田先生にお宜敷おつたへ下さいませ。

(貝沼幹事宛)

旧池田 沖森卓代 (八回)

先日はわざわざお手紙を下さいまして有難うございました。何時も御無沙汰ばかり致しまして申譯もございません。其後諸先生を始め同窓の皆様お變りなく

ていらつしやいますか、私事御蔭様で障りなく只今表記の所に住つて居ります、偶然に近所に青木（岡本）綾キ様が御住ひの事を知りました、去る日栗野千代子様、青木様と三人一緒に一日楽しく過しました。他に何も申上げる材料がございません悪しからず御許し下さいませ。末筆ながら諸先生を始め同窓の皆様によろしく御傳へ下さいませ。（幹事宛）

今 川 好 美（八回）

しめやかに降る春雨の間に、一日一日と緑も深くなつてまわります、折から諸先生を始め同窓の皆様にもいよいよ麗はしく渡らせらるゝ事を蔭ながら御喜び申して居ります。學屋を去つて早六年の春を迎へながら一度の御便致しませす何と御詫してよろしいやら本當に心苦しく存じます。さて先日は待ちに待つて居た會報を御送り下さいまして有難う存じますもう嬉しくて、何も手につかず一日中なつかしい母校の有様やら同窓の皆様のお消息を息をつかないで拜見致しました。

是も一重に諸先生方や同窓會幹事皆様の御骨折と深

く感謝致して居ります。當市にまわりましたて早三ヶ年を迎へました私でございませすがこれとて別に變つた事もなく平凡ながら平和に過して居ります故他事ながら御安心下さいませ。去る二月廿六日に母を失ひ他郷の淋しさは一入やるせなく母います折の事も思出されて、毎日涙の日を送つて居ります「何時までも有ると思ふな親と金、孝行しやうと思へば親はなし」とか故人の句にございませすが實際その通りだとひしく感じて居ります。丁度卅五日を折に尾道に納骨にまいりましたので今度こそは母校を訪ねる心組で居りましたのに妹の入學式がございました爲にゆるゝ故郷の友達さへも音れる事も叶はず今更ながら残念に思つて居ります。驛で辨野様にふと聲かけられ種々母校の話聞いて汽車で待つ間さへも飛んで行きたい心地になり、何時までも、なつかしい故郷にとどまりたうございました。皆様誠にむさくろしい所でございますが、御上阪なさいました節には是非御立寄り下さいませ、久方ぶりに御目にかゝれば又なつかしい母校の事や同窓の皆様のお事が伺はれますので嬉しいと存じます。中略。母校の發展と皆々様の御幸福を御祈申上ます。

(浦曙會幹事宛)

吉本 いと (八回)

さら／＼と舞落る木葉の音も寂しく何んとなう物思
しい様な秋も半過ぎ様として居ます、此内は御親切
にお尋ね下さいまして有難う存じます其後諸先生初
め同窓の皆々様にはお障りも無くお暮しなされます
か、私も此節ではお蔭様にて達者にて平和な静な
日を過して居ります何に付けても思ひ出さるゝのは
故里の事樂しかりし學生時代の事どもで御座います
お懐しい會報を手にする時飛立つ思ひにて拜見致し
ました、おなつかしい師の君や同窓の皆様の御様子
を知る事が出来るので御座いますもの、幾度も／＼
繰返し／＼読んで居ります。

此節當地は大變の賑やかさにて毎日／＼宇治へ行く
人御陵參拜の人々或は先生に連れられた澤山の學生
様達にて眞黒く乗せた電車は幾廻となく我家の川向
ふを走つて居ります。

嬉しうに騒ぎ廻つてゐる學生達を見る度にありし
日の昔樂しかりし學生時代を追想し今更懐しい學の

窓にいそしみし頃を思せられます。此頃お仕事暇
に樂しみとして長唄のお稽古いたして居ります、當
地方は大變盛んにて人様のお進めのまゝに好きな事と
て此内より始めて居ります。京阪地方の同窓の皆様
と一度お逢ひして懐しい母校の話等致し度く思つて
居りますが、未だ其機を得ませず残念に思つて居り
ます、何時か又お目にかゝる事がある事と樂しみに
致して居りますほんとに下らぬ事のみ書つらね誠に
失禮致しました。末筆乍諸先生初め同窓の皆様によ
ろしく御傳聲下さいませ、尙母校の益々御榮へあら
ん事を切に御祈り申上ます。(浦曙會幹事宛)

旧青木 栗野千代 (八回)

先日はわざわざ御通信下さいまして有りがたう存じ
ます又今年もあの上野を賑はす美術の秋がおどつれ
て參りました。いつもながらの御無音悪しからずお
許し下さいまし其の後母校層々御發展向上に相向ひ
誠によるこばしく存じます、これ一重に諸先生並に
皆々様の協力の賜と厚く感謝いたして居ります。
さて私事もおかげ様で至極丈夫に送日致して居りま

す、この地にも住み馴れまして第二の故郷の様な心地が致します、この節は帝都の幼な子までがラデオくくと申して居ります様子大變發達して居りますこのラデオによつて得る点は多大なもので御座います私は午前九時四十分より放送されます御料理献立或は家庭講座等は特に注意して聞いて居ります、晩の部になりますと御承知の通り和洋音楽が放送されますのでこれ又楽しく一同聴取りいたし居ります。

過日は上野竹の台にて開かれました帝展を沖森卓代様と觀にまゐりました、何れも傑作揃ひで驚嘆する外はございませんでした。

中でも洋畫熊岡美彦氏作「綠衣」はとても私共の氣に入つたものでございました。

次に去る十月卅一日には明治神宮陸上競技大會へ見物にまゐりました、その廣大なる且つ設備の完全なるは東洋一の稱あるもむべなるかなと感ぜられました又それと共にお互ひに妙技を競ふ女子選手の方々が羨らやましくなつてまゐりました。あのなつかしき昔日を偲び最う一度あんなに飛び廻り度くてなりませんでした。どうか母校の皆々様の中より代表選手としてあの明治神宮グラウンドに御出場あつて聲高

らかに呼ばはるアナウンサーより「廣島縣立尾道高女云々………」と心地よき言葉を聞き度きものと思ひました今より樂のしみに期待いたして居ります。終りに望み諸先生並に御皆々様方の御健康をお祈り申上ます。

尙は同級生沖森卓代様(旧姓池田様)御機嫌よく新家庭の奥様としてお暮しです。家事のひま〜に二人はフランス刺繡等面白く稽古いたして居ります。では乱筆にて失禮いたします。

河野若枝(八回)

年と共に榮へる母校の繁盛を先ず御祝ひ申ます、私事去る十二年青島から内地にかへりまして一時故郷で過しましたが又又此方にまいりました形計りながら家庭に入りましては乙女の頃の様な呑氣さや得手勝手な理屈は持ち切れず一人の女兒(みどり三才)の母となつて極めて平凡に過して居ります、先日は秋季運動會がありましたとか定めし賑はつた事と存じます、此方の各學校の運動會が内地に比べて余りにあつけないので母校のあの盛な有様を思ひ浮べて

尾道に暮している皆様が羨しく存じました。では母校の繁榮と諸先生及幹事皆様の御幸福を祈つて筆をおきます。(小山幹事宛)

旧姓石井 村井貞子(八回)

過日一寸葉書にて御通知致し置き候通り私事五月より當市にすまひ致居候一人の男の子供をつれ何と云ふ仕事もせき毎日忙しく雜事に追れながら日を過し居候間何卒御安心下され度候、表記の所にて眺望大いへんよろしく候間お暇の節にはどうぞお遊びにお出下され度切に〜樂しみに致待上候、會費お送り致候間御查收下され度候。かしこ

(小山幹事宛)

旧黒瀬 森 この枝(八回)

紅葉も日毎に色濃く冷氣をさへ覺える様になりましてが母校の諸先生方を初め皆々様にはお變はございませんか先日は何か近狀を知らせよとの御便りを戴き有難うございました、別に之とて申上げる程の事

もありませんけれどもお蔭様にて平凡ながらも平和に暮してをります、子供も早三才の腕白盛りとなり子を持つて知る親の恩とかほんどに此の頃は母としての責任の重大な事を感じます。

夏の頃より俳句に興味を持ち少しばかり作りましたので未だ日が浅いのでお目に掛ける様なものではございませんが雜詠を御笑覽下さいませ。

若竹の一筋の道や蟻早し。

香水や行來る人の袖の風。

炎天や蜘蛛の巢破るホース水。

雁來紅重き蔓來て曲りけり。

さくやかに水影守るとんぼ哉。

蟋蟀や庭の松洩る月明り。

コスモスに巻く蔓とるやゆる〜と。

(奈良に遊びし時)

猿澤の池を覗きし小鹿かな。

蒔柿や六甲山の日暮れ道。

終りに諸先生の御健康と母校の益々發展せん事を偏に御祈り申し上げます。

いつも御無沙汰勝ちで誠に御恥かしい次第でございます。諸先生や會員の方々には益々御發展で結構の上もないと存じます。皆様の御消息はいつもなつかしい會報で承知いたします。それですのに私自身の通信をいつも怠つてほんとに相済みません御詫旁々私の消息を申上げることいたします。

私は一昨年の暮入嫁いたしました當時主人は大阪に勤務中でしたが更に上級の學校に進むべく勤務の傍ら勉強中でありました。入嫁早々無我夢中の中にも成功を祈つて居りましたが其甲斐あつてか昨年六月無事入校の運となり共に上京いたしました。表記の所に居住いたして只管其の成業を待つて居るのでございます。現在はまた子供もありませんので至極呑氣の様でございますが私は實社會といふものに入つて見て自分の修養の足らぬことや知識の誠に淺薄なことをしみじみと感ずるのでございまして學校時代にあんなことを勉強して居たらなど思ふことが間々あるのでございます。

【 81 】
家庭外のごことは兎も角も單に家庭内のことに付て考へて見ましても女は主婦として妻として又母として

其の任務を完うしますには之に應ずる丈けの知識や修養が十分でなければ到底この重任を盡くすことは出来ないと思ふのでございます。それですのに之にたいしての知識と修養は誠に御恥かしい次第で私はこれではいかぬと染々感じました。

早朝より學校に行き歸れば深更迄勉強して居りますのに私のみが如何して安閑として居られませう時には筆記等に手傳ひ其の手助けをし傍ら私もそれにまけず勉強し又講演や講習等には成る丈け出る様にし又家事を處理するにしても成るべく研究的に理屈に叶ふ様にいたしたいと心掛けてみる次第でございます。目下主人は在學中のことゝて同僚の交際といふ様なことも至つて少く近所の奥様達とも餘り深く交際いたしませんし又他所の方の様に物見遊山や遊藝など耽るといふ様なこともなく徒然の折には裁縫などいたして居ります。そして今の大切の時代を有意義に過し楽しい生活の礎を築つくと共に婦人の天職に向つて進んで行きたいと思ひます。

誠につまらぬことを申上げまして恐入ります。私は今學校と遠く離れて居りますが、職業の關係上これから先各地へ轉々とうつりますので又親しく御目も

じの日を樂しみに待つて居りますでは皆様御機嫌よく。

天長節祝日の佳晨に君が代の奏樂をきつゝ筆を擱きます。

(木曾幹事宛)

加藤久子(九回)

五ヶ年ぶりになつかしい故郷の土をふみまして樂しいまどひをいたしつきぬ話に半日をうれしくすごしましたのは縁したる五月の頃でしたのに月日は流れて暑い夏の日もすみ又霜おりの頃になりました其の後は御無沙汰ばかりいたして居ります、貴女様には御變りなく又御子さんも元氣に初誕生を御むかへになつた由御よろこび申ます。

次に御手紙にて何か通信をどのお言葉を頂戴いたしましたてあれ程御世話になつた母校へ卒業後一度の御たづねしない御詫びとしても是非御便りして御ことわりなり私の事ども御しらせいたそうと心には思ひつゝ何故か筆持つ時のなく今日は明日はと思ふ中又一週間すごしてしまひました。

過日尾道にまゐりました時にも必ず一度はど樂しみを

樂しんで居りました母校訪問も遂に思ふのみにて果さず残念に思ひつゝ又の日を期して歸つてしまひました、母校も廣々新築なつたと噂にのみ聞いて一度も尋ねる事が出来ませんでした。

丁度あの頃は子供が人見ずして其の上座る事も出来ませんでして私にはばかり抱かれてゐたためほんとに困りました、尾道をたつて東京に遊びました時も同じ事にてほんとにつまりませんでした、それであの後匍ひだしますし九月頃から歩き出しまして十月中旬よりは靴をはいて大喜びにて庭やら公園を歩きまわつてゐます、おかげさまにて至つて丈夫に大きくなりました此の節では中々油斷出来ませんし何でも人真似をして困ります、それでも一人遊んで居ります。私共も「マシラ住むか熊が住むか」と怪しまれる飛彈の山奥の當地に假の住居を結びましてより二ヶ年半にもなりました。

東には焼ヶ岳(今盛に煙を噴いてゐます)乗鞍ヶ岳と槍ヶ岳といふ聞くも恐しい様な日本アルプス連山が皆雪の化粧をして雄然とそびえ、西には加賀の白山を遙に望む、其の盆地に東西南北と丁度京都のそれの如く整然と町をつくり中央に一筋の清流がながれ

てゐる山奥には珍らしく開けた高山を南國に生れた私には夢だにも想像した事はありませんでしたけれどもほんごに不思議なものでございます。

そして周圍の人は少しも知つた方はなく、話し交ふ人もありませんでした。

それに當地はこれから冬になりますと雪も尾道では見られない程、度々に降りますし朝夕に「シミル」事のひどいのは驚きます、道路は雪が降つては凍るために鏡のやうにスベ／＼になり皆釘のうつた下駄を履きます。

こうして何から何まで凍りつき玉子でもシミルため火にあぶつて溶かしますし、それは到底想像がつかない位です、主人等往診の時はソリに乗つて行く事があります、こんな風に知人のない上にこうした氣候故に訪問するやうな事もなく一人の子供を中心に私共二人に女中の四人のさゝやかな家の主婦として小さいながらも一家の主婦としての取りしまりをいまして居ります。

【 83 】
こうした土地に住みます私共には「ウマ／＼」と「トウチャン」と云ふ位のいたいけな子供が何よりの相手にてお守りをするのやら、玩具にするのやらわか

らないやうにはしやぎながら毎日々々を平和な内に楽しくすごして居ります、主人も當地にまゐるまでは東京大學病院分院に居りましたのですが先きの經驗のために常高山の赤十字病院に務めて居りますので日曜日を楽しみにて天氣のよろしい時には郊外散歩に出かけて居ります。

當地は冬寒い代り夏は涼しくかなり避暑かた／＼登山に来る人が多うございます。

そして山國とは申ながら非常に運動演藝等が盛にて毎週何かしら催し事がありますのでそれを楽しみにして一家揃つて出かけます。

先月は病院でも茸狩りをいたし、醫員看護婦等四十人ばかりの中へ加はつて一日遊びましたし、一日には運動會をいたしまして私も他の奥様方と一緒に競走に出ました。その時はつくづく母校の運動會が思ひ出されて在校時代が走馬燈のやうにとりひろげられました。

本年もさぞかし盛大でした事と遙かに想像いたしました、せめて一人でも當地に同窓の方がいらしたらどんなに心強うれしいだらうと思ひます、然し私共も一二年の後には又東京に歸へる事になります、主

人は東京でして両親も東京に居ります事ですから。東京に住むやうになれば何かの機会に同窓の方に御目もじ出来る事と其の時を楽しみにいたして居ります。

貴女様も幹事として働き下さいます由何とぞよろしく願ひ申します。

まだ色々土地の風俗習慣と面白き御話しもございますけれども又改めて此の次に申すとして今日はこれにて失禮さして頂きます。

母校の先生方並に皆さまによりしく御傳へ下さいませ。先づは乱筆にて。

(山形幹事宛)

武田 長 (九回)

わくらはに文しておくうれしさは

神の佛のめぐみなるらむ

先日は御多忙中御手紙下さいまして誠に有難御座いました早速御返事申さねば済みませんので御座います、何分此の節は秋の取り入れで多忙いたしました居りましたものですから途ひ心ならずも失禮致しました。其の後校長先生を始め諸先生には御變りは

御座いせんか尙同窓の御皆々様にも御障りなく御機嫌よろしく御暮し遊ばされますかお伺ひ申上げます、扱此の度は私の消息を送れと申し下さいまして難有う御座います、一年一度のお互の様子を承りますので御座いますから委細に申し上度存じますが。前申し上げました如く農村は非常に多忙御座いますゆゆり筆取ります暇も御座いせん、従つて心も落ちつきませんので筆に致します事も混乱致しまして大切な時間をむだに消します様になりまして却つて御失禮と存じますから今日は眞の御返事のみ止めさせて頂き度う存じます。下つて私事毎日家事にいそしんで居りますから乍他事御安神下さいませ、去る九月十七日に久し振りに母校をお尋ねいたしました節、おしたはしい岡田先生や高木先生にお目にかゝりまして何より嬉しく存じました、母校に参りました何より嬉しく存じましたのは私達が通つて居りました時より非常に学校の發展して居ることと諸先生方のおまめそうなお顔を拜しました事等で御座います、私は尾道に参りますとすぐ學校へ参りまして皆々様にお會ひいたし度く存じますがちつとも同窓の方々にお目にかゝりませんで残念に存じま

した、雨の降ります日も廣い野原で手傳ひいたしま
す。時でも在尾中を偲びましてなつかしく存じます
あゝ秋も半ばを過ぎまして稻は赤く實のり麥まきの
時節となりました、私達同クラスの方々は如何がお
暮りで御座いませうか私は今春長男が出来まして、
毎日／＼笑つたりわめいたり致します。愛兒によつ
て楽しく送日して居ります、九月に母校をお尋ね致
しました時岡田先生が寫真を贈るべく申して下さい
ましたので今日は生後五ヶ月目のを一枚同封いたし
て置きましたから何卒お笑ひぐさきに御覽下さいませ
名は猛と申します此の子供は私が乳線炎でお乳が御
座いせんのでミルクと牛乳で育て居りますが、
まだ一度も病氣した事は御座いまん、最早此の節で
はよく立ちまして色々悪い事はかき致して居ります
余り子供が達者なものですから母がいつも人様にこ
う申して笑つて居ります、親はよく病氣して心配さ
すけれどもまめな子供を産んだ事だけは感心である
と申します誠に無病の者はどんなに幸であらうかと
存じます、私達お互は此の上でも健康に注意してゆ
き度いものと存じます。

年末筆先生方の御健康を祈り上げますと共に同窓の

皆々様の御多幸を二重にお祈り申し上げます。
くだらぬ事を長々と申し上げまして御許し下さいま
せ。先づは右御返事申し上げます。(木曾幹事宛)

金尾艶子(十回)

深い霧を分けて落葉ふむ頃となりました。おたすね
に預り、今更の如く御懐しゆう存じます。

諸先生を始め同窓の皆様方には御變りもあらせられ
ず、御過して御さいますかお伺ひ申上ります。私はお
かげ様で相變らず家事にいそしんで居ります。

母校近く住ひながら、いつも御無沙汰致しまして御
許し下さいませ。愚妹が母校にお世話様になつて居
りますので、母校の御發展なり、御様子は常に伺つ
てかげながら喜こんで居ります。

此度會報御發行につき一層詳しく母校や皆様方の御
様子を承る事が出来そうですので、どんなに楽しくお待
ちして居ります事せう。

何んの苦もなく、喜々として勉強して居ります、妹
の様を見ましては、樂しかつた學生時代が思はれて
今一度あの頃の私に歸つて見たい等と考へさせられ

ます。

おたせねに預りました當時、折悪しく上京中で御ざいました爲に遂々御返事を延引致しました次第でこゝにお詫び申し上げます。

當地方へ御越しの節は必ず御立寄り下さいませ。

どうぞ皆様日増にお寒くなりませ故何卒御身御大切に遊ばしませ母校の御發展と師の君同窓の方々の御幸福を神に誓つて擱筆致します。(十回幹事宛)

日野 乙 枝 (十回)

秋もだん／＼深くなつて行きます。秋風のふく温泉場にも亦静かに考へる何物かを興へられます。

先日は御親切にお尋ね下さいまして誠に嬉しうございました。

皆々様には會のためにいつも／＼御熱心にお世話下さいませことを深く／＼感謝いたします。私共はいつも遠く隔てゝ居て母校の種々のお催しにも出席いたされ、非常に不幸なことよと歎いてゐます。併し毎年御發行になる會報によつて母校の消息を伺ふことが出来ますのでそれのみ楽しみにお待申してゐ

ます。

かうした變つた土地に來て色々變つたお話を申したいと存じますが。どうもまとまつたことも書けませんからはんの私の現況だけを申し上げます。

私が母校を卒へて後は色々不幸に遭遇いたしましたので、精神的にも肉体的にもすつかり健康を害しましたのでどう／＼此の夏から當地へ來て遊んでばかりゐます。當地は大變氣候のよい土地でございます。

山に海に温氣によりまして健康を惠まれます。

來年二三月頃まで滞在いたす心算であります。

人は思はぬ障害のために常に試練されるのだと觀念いたしてゐます。後略

土肥 マスミ (十回)

緑滴るやうな若葉の間に初夏のさゞやきを聞く様になりました。梅雨期とて兎角氣候の穩ならぬ今日此頃皆様にも御變りなく、又年月に榮え行く母校の御盛況を心から嬉しくお祝して居ます。折につけ物に觸れおなつかしきは昔學びし母校のことであります。併しいつも／＼御無沙汰ばかりしてゐますことが此

上もなくお恥しうございます。瑠璃山下のあの學びの屋でうけたまはつた御慈悲の籠つた先生のお言の葉を一日も忘れず修養に努めて居ります。いつかは万分の一の御報恩も出来るかと心に期して居ります。

宮 本 花 子 (十回)

おなつかしい同窓の皆様。

おそ睨の梅の窓邊に香高い今日此頃恩師の君を始め同窓の皆様如何と思煩つておました折柄、突然送付された會報を手にしてどのやうに喜んだことでせういつもながら皆様の御盡力を感謝いたし心をおどらせながら拜見致しました。

諸先生始め同窓の皆様いつも御健かにおはします御様子を詳にして何より嬉しくおなつかしく思ひます。心にかゝりながら平素は御無沙汰に打過ぎましてお詫びの仕様もございません。あしからず御許し下さいまし。

昨年秋祖父が亡くなりましたので一度歸尾致しました。是非訪れて立派に改築された校舎を拜見致し

又皆様の御近況をも御伺ひ出来ると深く／＼楽しんで居りましたのにこちらが手少なのため其の暇も取りかね残念ながら恨を吞んで歸坂いたしました。

私事お蔭様にて日々健かに智慧づき行く子供を相手に楽しく暮して居ります。皆様御上阪の節には是非共お立寄下さいませ。

大阪方面にも多くの同窓の方も、お在す御様子で御座いますけれども一度も面會いたしません。私は常にさう思つてゐるので此の地方へ同窓會支部を設けていただいて時折には同窓の方々どうちくつろいで昔を談じ合ひ近況を報じ合つて見たいとおもひますこれが出来たならばどんなに嬉しいことでせう。終りに臨み母校の校長先生始め諸先生并に同窓の方々の御健康と御幸福をお祈りいたします。

舊村井 早瀬貴美代 (十一回)

小春日和のいと心地良い候と成つて参りました、校長先生始め諸先生御機嫌よろしくお過し遊ばす事と御察し申上げて居ります。母校も日に月に御隆盛の趣き、これも一重に諸先生及び同窓の皆様御熱

心なる御活動によるものと只管感謝申上げて居ります。

降りまして私も無事にて日々家事及びお裁縫に平凡な月日を送つて居りますから憚りながら御休心下さいまし。主人が大阪の會社に務めて居ります都合上私も大阪へ参ります。休みなどの時には當地（連島町）へ歸へります。來年三月位から大阪の方へべつたり居る事になります都合で御い座ます。當地（備中連島町）は殊に遊藝の發達致しました土地で御座います。

婦人は申すに及ばず男子の方迄をれく各自技能の練習に熱心なのに驚かされます。十一月一日當地正福寺に於て曲琴演奏會が催されました。尺八、ヴァイオリン、三味線の合奏の美妙的な音曲には實に感心させられました。皆様の熱心な努力の結果がありありと現はれて居りました。

男子の方など、淨瑠璃、義太夫、圍碁など余程發達致して居ります。時々會など催されまして宅の父も參るので御座います。遊藝は人々の心を清く、上品に導くといふ事を深く感じさせられました。お料理編物及び手藝の講習も催されます。倉敷町及び岡山

へも直ぐで御座いますから何かと便利で御座います。當地近郊に關東平野もかくやどうなづかれる如き廣い野原が御座います。春はお辨當持ちにてつくし取りに行きます引けども引けどもつきないので御座ます。原の向ふが直ぐ海と成つて帆掛船の長閑な歩みと、雲雀さへづる原の長閑けさと調和して、詩にでも作りたい程で御座います。又夏は磯遊びで御座います。脊丈の同じ位な蘆が見渡す限りの河中を、帆前船でブラブラ進みます。歌など口誦んで居ります内、何時しか廣く海に出て居ります。さうして泳ぎ度い人は泳ぎ蛤、蟹など思ふ存分獲つて居る人も御座います。海に這入つた事も無い私も、此の夏は十分浸りまして、殊の外夏の快味をそよりました。女學生の方二人程一緒に参りまして、自分も眞に元氣ある女學生になりました様な心地が致しました。今頃御通知申上げますのに春夏などの事を申上げまして何だか無細工で御座いますが、當地の優れた場所のある事を皆様にお詫言して頂く爲、此の際紙面をつぶさせて頂きます。

御なつかしい先生及び同窓の皆々様、どうか御遊びにいらつして下さいまし。

つまらない事を長々申述べまして、ほんとに失禮致しました。追々寒さに向ひますから諸先生をはじめ同窓の皆々様より以上御身体御大事に遊ばさん事を御祈り申上げます。終りに母校の發展を祈り上げます。會費を小爲替にて御送附申上げますから御面倒ながら御受納下さいまし。

(檜垣幹事宛)

小松下枝(十一回)

山の木々の色づくとともに、秋も次第に更け、朝夕は大分冷たくなつてまゐりました。先生には御變りも無く、御健かに相變らず母校の爲に御盡し下さいまして、誠に有難うございます。厚く感謝致します。降つて私ことも變なく、毎月様に平凡なる日のみ繰返してゐますから他事ながら御安心下さいませ。さて先日は御手紙にて御たづね下さりまして有難うございました。日々家事の手傳をして過してゐます、別に申上げる程の事もございません。同じ境遇の皆々様も、ごの様な日を御過しの事かと思つて居ります。家事の暇々に讀書します事が私の唯一の楽しみでございます。學校を出ましてからは精神的に刺戟

を受けます機會がございませんので、せめて讀書によつても、少しでもよりよくなり度いと心がけてゐます。内生活を深め度いと思つてゐます。

御別れしましてから月日のたつにつれ、段々とお友達の動靜もわからなくなつてまゐります。この頃は會報の御發行になるのが唯一の楽しみとなつて居ります。先生及幹事様方の御骨折によりまして、一日も早く發行されます様御待ち致して居ります。どうぞ皆様の御消息をもつと委しく、表面的な事のみでなく、皆様の御心境なども御戴せ下さいましたら大變に嬉しく存じます。大變に氣儘な事を申上げまして御許し下さい。(後略)

(岡田先生、檜垣幹事宛)

無斷にて會報に戴せさせて頂きました事を幾重にも御詫び申上げます。

大山喜久代(十一回)

大變に凌ぎよく成つてまゐりましたがお障りもなく御暮してございますか、此頃は運動會の御準備で何かと御忙しい事でございます。何時も御たづね致

さうと思ひながら失禮致して居ります。先生私共のクラスの方々も、早三年も経ては随分御變りになりました。御悦び、御不幸、時には一度に両方聞かせる事もございます。けれども今年はどうして斯様に悪い年なのでございませう。あんなに親しく仲よくして居りました友達を二人も失ひました、向島の和泉ヨシコ様も、藤田智恵子様も、最早現世にての御縁は切られてしまつたのです。和泉様は何でも勝チブスとか、藤田様は御風を召してそれから肺炎におなりでしたとか、ほんとに御氣の毒でございませう、まだ御若くて前途の多い御方でいらつしやますのに、御両親様や、御家族の皆様の御歎きはどんなでございませう、私はまだ御悔みにも得上らないで居りますが、屹度近い内にまわり度いと思つて居ります。先生それから私の姉も今年の八月の四日に亡くなりました。(五回の卒業生でございませう)岡田先生にも一度御禮に上り度いと申して居りましたのに、去年の十二月の始めに、二度目のお産を致しまして其の後の悪くてすつと八月までベッドに横になりました。したきり、起き上る事も出来ず、亡くなりました。一度は尾道へ行つて、學校にも行き、先生方に御目

にかゝり度いと申して居りました。亡くなる前には、おはど御世話になつた岡田先生に、御禮の一言も申上げる事が出来ないで……と泣きました。そして私に、御目にかゝつたら是非御禮を申上げてくれつて言葉を残して、他界致しました。岡田先生に御知らせしやうと思ひましたけれど、書き出しましては色々と思出しまして、かけなくなつてしまひます。どうぞ先生に仰言つて下さいませ。こちらに一度歸り度いと申して居りましたので、御骨を分けまして當地の菩提所にどむらひました。多い姉妹も斯して少くなりました、何よりも身体が大事でございませう、秋風も早冷氣を感じる様になりました、どうぞ御大事に遊ませ。(後略)

「無断で私への手紙を拜借して誌上に載せました事を御ゆるし頂きたう存じます」

旧宮本 武田トシエ(十一回)

青葉の世界も何時しか紅葉の世と變り、晩秋の感入思ひやられます。折から數ならぬ私にまで近況を

どの御便に接し、今更乍ら平素の御無沙汰が恥かし
く、筆も鈍り勝にて、常になつかしく存じながらも
申譯無延引致し、失禮の數々何卒御許し下さいませ
先方を始め、同窓の皆様には御變りなく御暮しの
御様子、何よりも嬉しく存じます。私事も一昨年よ
り可愛いと子供を相手に、教鞭を取つて居ります。
ほんどうに流れる月日に淀みなしとか。四ヶ年間は
夢のやうにすぎ去りました。共々に机を並べて學屋
に楽しく遊んで居た友も、今は西に東と又境遇もそ
れ／＼變られた事を承るにつけ、しみ／＼と昔の事
が思ひ出され、一入なつかしくなります。御互様に
遠く隔りませば、如何遊ばしたやらと唯會報により
皆様の御様子を承ります事を無上の樂しみと感じて
居ります。何時も／＼先生方や各回幹事の方の御熱
心なる御骨折を、深く感謝いたします。私事も教鞭
を取る様になりました。早一ヶ年半になります。只今
では子供達にもなれまして、登校するのが楽しくな
りました。時々は登山したり、天氣麗らかな日には
海邊にも遊びにゆきます。其都度學生時代に裏山の
淨土寺に、岡本先生に連れられてまゐりました時を
思ひ浮べ、一入なつかしく存じます。此節では立派

な運動場が出来ましたとか、其中で御勉強なさいま
す皆様が羨ましく感じられます。
終りに、母校の發展と諸先生及び幹事御一同の御健
康を祈ります。
(浦曙會幹事宛)

旧宇坪 砲 隆子(十一回)

拜啓、打たえて御無沙汰ばかり致しまして誠に申譯
もございません、先日、バラツクの東京から歸省致
しまして、水道の出来た尾道、街の廣くなつた尾道
將に花の開かんとする尾道に、のんびりとして、お
なつかしの會報十一号を拜見致しました、そうして
師の御君初め、皆様の御消息を承つて、うれしう存
じました。今から早次号を樂しみにお待ちしており
ます、只今會費として金貳圓を別紙小爲替にて、御
送附申上げますから御受納下さいまし。卒業以來い
ろ／＼な活人生の生活經驗を得まして、いろ／＼考
へる所がありますが、愉快であつた學校生活も卒
業後の實社會とあまりに懸絶したものだと思はれて
學校時代に、何故もつと創造的、必要的、進歩的教
養を受けておかなかつたのだらうと、すぞろに悔い

ずにはをられません、世の中へ出て職業婦人の生活も経験して、次いで結婚生活に入りましたが、その間に、色んな事を見聞き者へもしまして、婦人はもつとくしつかりせねばと衷心思はせにはゐられませんが、所感二つ三つ記させて頂きませう。

婦人は、概して、あまりに批評が多すぎると思ひますが、先づ井戸端會議は、婦人の専有場とされてをりますが、自己を忘れて人を批評する事は、それも根本的な理由も、人生的深刻な考察もなしに、單に皮相な見聞や想像で他人を批評するのは、ほんとに大きな婦人の欠点だと思ひます。これは私が多くの人生経験の一つです。といへばどつちにして同じ事になりますか——何にしても、婦人はもつと無口であつていゝと思ひます。

西の國の笑話に、こんなのがあつてさうです。

A「主人が勉強してゐる時、私が大變手助けになる方法を、主人が発見しました」

B「それは奥さんもお喜びでせう、してごういふ風になさるんですや」

A「私は、主人が机に倚つてゐるのを見次第、外の

室へ行つてすむ迄、チツとたまつて靜かにして居るんです」

こんなのもあります。

『新婚旅行中の若い夫が突然叫びました。』

「オイ！一体これは、僕等の新婚旅行なのかい」

妻「まあ、勿論そうちやありませんか、何故そんな事を仰言るんです」

夫「なんだか、講演旅行の様だからさ、新婚旅行ならもういゝ加減に、お喋りは止してくれ」

こんな話はまだ澤山ありますが、實際上に權も威なき批評、おしやべりは、ほんとに澤山の滑稽と、失敗と、そうして罪惡をつくると思ひます、皮相な批評風聞の爲に、どれだけ世間的に傷つけられる者があるもしれませんが、人は殊に、婦人は充分口をつしむ必要があると存じます。それから婦人は自己を知らねばと思ひます、これは、古希臘の中古の頃から「汝自身を知れ」と、聖哲の訓へる所であります

而も千古の光耀を合する言葉だと思ひます、一切の善ならざるものは、汝自身を知らざるによつて生ぜると思ひます、抽象的な言葉ですがこれを深めると幾多の、コンクリートな事實を見出す事は容易な事

だと存じます。又、私は學校を出ましてから、切實に讀書せねばならないと思つてゐましたが、結婚生活に入りましからは讀書よりは尙一層、修養の必要を思ひます、いかに、該博な智識も、その行爲、品性に修養を欠いてゐると、一片の崇敬にも價しないと思ひます。口に道徳を説き、春徳行爲、似而非人格者は、實に多いと思ひます。幾多の經濟學書を讀んでも、その人が一躍して富豪になれるのてなはく萬卷の倫理學書を精讀しても、その人の行爲必ずしも善とはいへますまい、倫理説を知らずとも、その品性の磨かれたなら、その人の行爲のいかに正善なるかは、云はずもの事と存じます。

世の中にはゴマ化しの上手なものを、處世上手とか、才子とかいふ讃辭を呈して、純な、真正直な、道義の念強き人を、世間知らずの馬鹿だといつて、けなすものもあります、私はいつもこれをはがゆく思ひます、まだよく書けばいろんな事があるのですがいつか今度具体的な事例ばかり並べさせて貰ふ時あるを期して、今日はこれで擱筆させて頂きます。長い事乱筆で認めして、おわかりにくい事と存じます。生來の拙筆者の事はいへ、汗顔の至りです。御判

讀下さい。かしこ

(浦曙會幹事宛)

舊山本 渡利壽子(十一回)

月冴えて晩秋の風肌に沁み、上野の鐘もやがて木枯を思出させる頃と相成りました。諸先生はじめ同窓の皆々様にはお變りもあらせられず、日々の御仕事に御熱心の事とお察し申上げます。此度は同窓會報發行に種々御盡力の由一日も早く御完成下さいまして同窓の皆様を御様子を知り度と願つて居ります。私も今年はやや震災二週年の思出多い日を迎へして御奇禍にお會ひ遊ばされた、御不幸な同窓の方々に心からの御冥福を祈るために心ばかりの花を手向け、諸先生及同窓生の代表とも云ふべき心持ちで、被服廠へお参り致しました。引きもきれぬ參詣の人々の今も尙記憶に新しい悲嘆の姿を見ては、さすがに涙を催しました。併し復興のすばらしい東京を思ふだに心地よく第二の東京を建設致しました。遠き將來の夢と思はれたラヂオも早や加入者十万人を有するすばらしさを見せて居ります。午前九時半料理講座にはじまり、科學講座、演藝講座、英語講座と坐

ながらにして名士の講演に音楽に耳をかたむける事が出来ず。私も此頃では幸ひラヂオを加設しまして毎日愛宕の山から放送される音楽に講座に耳かたむけて居ります。放送された榮養料理及び手藝等に付いて皆様に發表して參考にして戴くつもりで完成にいそぎましたが、時日が差迫つて間にあひませんから又いづれ御送りする機會もあるかと存じて居ります。私も家庭に入りましてからは婦人子供洋服に手藝に料理にとあらゆる暇を利用して一生懸命に研究を續けて居ります。幸ひ主人も理解してくれまして今春は日本文華裁縫學院婦人子供服科を卒業しまして引つゞき研究して居ります。家も研究に便利を計るため総てを簡單にしまして、女中を廢し、ドアーの鍵だけで安心して外出出来る様にと思ひ現在ではアパートメント式の極々簡易生活をして居ります。

なつかしい母校をお尋ねして諸先生や皆々様に、お目にかゝりたいものご日夜思つて居りますけれど、何分遠隔の土地故、思はしくもゆかぢほんどうに残念に存じて居ります。

どうぞ／＼皆様の上に幸福の恵まれます事を、蔭ながら祈つて居ります。

岩井ユサヨ (十一回)

御なつかしい同窓の皆々様へ。

お別れ致しましてからあわただしい月日は流れ去つて、早三回目の秋も訪れて参りました。

この空高う馬肥ゆる時節に、御なつかしい母校の諸先生、同窓の皆々様にはさぞお健にて御活躍遊ばさるゝ御事と、蔭ながら御喜び申しております、降つて私事も昨年の春此方に参りましてから、何時も元氣で社會の大波にもまれて、色々な智識を受けながら一家の主婦として、又愛兒の母として、心に暇のない忙しい、そして又心強い生活を續けて居ります。母校の御榮へ、御恩深き諸先生、同窓の皆々様、どうぞ永久に幸多き日をお迎へなされる様遠き空でお祈りいたします。皆々様お健かに。かしこ

(野村幹事宛)

皆 様 と 十三回 M 子

旧き都路を行く大原女に散添ふ紅葉が色濃くなつてまゐりました。

十三回卒業の皆様!

あの日から早くも二度目を廻るこの秋を、何所にお眺め遊して？

同じ窓から貰い青桐の落葉に時雨の音を聞き裏山に眞赤な柿を數へるまで見つめた秋でございます。定められた事とは申乍ら離れ／＼に日々遠ざかつて行くのを考へますとき、ほんどに淋しい一層おなつかしさが感じられますのね。もうすつかりお美しくお變りになつたこととおもひます、でもやはり海老茶のお袴とお下げ、四角な机、その一段上に師の君が交る／＼映つてまゐります。さういふ秋の光景を、皆様もきつと……で。ございませう。

只今皆様の印象深い修學旅行の最後の頁を彩るこの地に朝な夕なを迎へてゐる一人でございます。さすがは古い歴史を持つ町の事とて、凡てが、のどかな親しみを絶えず與へて下されるのでございまして。お教室の後に掲げてありましたあの札の森も霧の中にすぐ目前に浮んでおります。加茂の堤には春と云ひ乍らも、冷え冷えした響を通して柳が續いておりますの。御園の芝生に月を眺めるときは「雁等のつらねたるがいと小さく見ゆる……」

等を思ひ出されて、ほく笑ますには居れないのでございまして。

春の奏祭と並んで十月二十二日には時代祭がございました。都大路をひねもす練歩く長閑な姿は、古をしのぶ心がやがてこうした物となつて現れたのだとうなづかれるのでした。かつては天狗の住んだ鞍馬の奥にも安々歩入ることの出来る今日尙、過去の名残は、人々の胸をしみ／＼と流れてゐるのでございます。日數浅い事とて、誠に狭い訪れでございますが、到る所一歩々々がこの地に心を引付けられて行く様にさへ思はれるのでございます。

春―夏を送り今又秋を送つて雪の叡山を眺めやうとしております。

皆様―

ではみ健やかに。何時の日か、おめもじの日を祈りつゝ

……

龜田政代(十三回)

先生随分暑くなつてまゐりました。其後お變りはございせんか、お伺ひ申します。私は相變らず元氣で日々を送つて居ります。

やう／＼火鉢を離れた時分あの懐かしい母校。住みなれた寄宿舎を後にして早も二ヶ月を過ぎしました(中略) お別れも迫つて來た時先生のお部屋での娯樂!!

あの時の讚美歌の合唱も今まだ耳に響いて來る様です。あの時の先生の餘興も初めての終りでした。

あんな楽しい又あのまんまのお友達が集る事はないでせう。今は過去の幕に閉ざされてなつかしい思い出に過ぎません。(中略)

本年は分舎の舎生は少ないとの事、しかし新しい先生がお出でになつて随分お賑かなこととせう。一度は御邪魔にまゐります。

私共の寄宿舎も總計百人位で一部屋に(六疊、四疊半)三、二人となつてゐます。私共の方では外出は自由で放課後(三時半ヨリ四時)から午後七時迄は自由になつて居ります。夜は十時半頃遅くなると十一

時半位迄起きて居ることもございます。自習は七時

九時迄になつてゐます。

舎には別に娯樂機關とはありませんが七時迄はピアノ。ピンポンテニス等は勝手に出來ます。

近來舎の娯樂室にラヂオを設備して放送の日は自由に聽かれます。

先生今では學校にもなれてまゐりまして非常に楽しくなりました。

最初一つの科目が一日に二三時間もぶつ通しにあつて筆記の時などは手がだるくなつて堪へられない位に疲れました。併し今はそれも練習が積んでよほど樂になりました。

當地淀川が地震帯であると聞かされてゐる所へ此の間の地震でせう。随分大騒ぎをいたしました。それも今は落ついてやゝ大膽になりました。(後略)

赤松千代子(十三回)

何時のまにか秋風が冷たく吹いて參りました。いつも御無沙汰ばかり致しまして何とも申譯がありません。

諸先生を始め同窓の皆様には御機嫌うるはしく御過し遊ばされる御事と御察し申上嬉しう存じます。

此度は幹事様達の御親切な御便りを戴きまして有難うございました、御忙しい御用を控へてゐらつしやうながら何かとお世話下さいます幹事様方の御骨折りの如何ばかりで有るかを考へましてほんとうに感謝致して居ります。何れ近い中に輝やかしい會報に依りまして、皆様の御様子を御伺ひする事の出来ますのを非常に嬉しく存じてゐます、私は本年は至極達者になりました毎日毎日を感謝に満ちて楽しく暮して居ります。

何か近況をお耳に入れたいと思ひますが、これといふ著しいこともございせん。唯當地で催される色々な會合や講演會へ繰り合せて参ります位です。

鞆の津を以つて聞えてゐる此の地は山紫碧水奇岩怪石を以つて彩られたる風光の妙絶、實に平和な静かな町でございませぬ、そして四季避暑遊樂の遊客は常に跡を絶たず。五六月の頃は鯛網見物、秋は魚釣等遊樂の機會も澤山にございませぬ。

本年は春も秋も大變賑ひでございました。

春風や釣つて見たきは鯛鮓

といふ句もあります。北は福山へ三里、西北は尾道へ五里、海陸の交通が至極便利でございませぬ。どうぞ一日の御暇を御作り遊ばし御來遊下さいませぬ。きつとお待ち致します。

末筆ながら諸先生並に同窓の皆様によりしく申して下さい。私はいつても皆様の御健康を御祝し申してゐます。(幹事宛)

佐藤タキエ(十三回)

緑濃く木々の枝を飾つて居たあの青葉若葉も、今は光も艶も消え失せて、風吹く度に悲しさうに散つてゐます。昨年先生とお別れをしまして、早一年半といふ年月は逝つてしまひました。其後先生にはお變りも御座いませぬか、お伺ひ致します。母校にも此の頃運動會の前で賑々御忙しいことと御推察申上ます。先日會報發行について何か消息をど幹事様から御親切なお便りを戴きました、日々平凡な暮しをしてゐます私には別にこれといふ書くべきこともありません。私は昨年九月上海の兄の許に歸りました田舎育ちの私には総てが珍らしく感じました。併し

小膽者の私の事ですから最初は一寸外出しますにも
氣おくれが致しました。其の上に言葉が通じませす
唯日曜などに姉と公園に遊びに行く外は家に居て家
事を手傳ふかたはら子供を相手にして暮して居まし
た。其の中に追々と言葉も解りかけまして姉の忙し
い時は市場に買物に一人で行く様になりました。此
の市場は支那人は勿論日本人、西洋人、印度人とい
ふ様に各國の者が集つてまゐります。此の市場は東
洋第一の大建築物であるといふのですが其の混雜は
非常なものでございます。

私の家は租界の中央になりますので、全く立樹とい
ふものも御座いませぬ。唯鉢植の草花があるだけで
すから、日曜なんか公園で一日木の蔭で遊ぶのが何
よりの樂みでございます。彼方での生活はこんな平
凡なものでございましたが、四五ヶ月は元氣で過し
ました。併し今迄田園生活をしてゐた私が急に氣候
の變つた土地に住みました爲でせう、二三月頃より
病魔におそはれて床に臥しました。丁度其の時あの
恐しい排外運動が起つたのでございます。日本人と
見ればしきりに投石し、副食物なども絶体に賣つて
くれませぬ。唯自分の家に使つてゐる忠實な支那人

が少々の物を求めて來た位でした。それも日本人の
間に使はれてゐることが知れるとさん／＼に叩かれ
てるので恐れてどう／＼買物に行きませぬ。こんな
不自由な日が幾日も／＼も續きました。併し私の家
は前申しました様に租界の中央でしたから、陸戰隊
に守られてゐたので何等の危害も受けずに濟みまし
た。此んな騒ぎを病床にゐて耳にする私はどんなに
不安であつたかを御推察して下さいませ。

其の中にやさしい兄や姉の心盡しの介抱に依りまし
て、多少快方に向きました。丁度五月十八日でした
兄が商用で日本に歸りましたので、醫師の勧めらる
ゝまゝに私も日本へ歸りました。まだ入院中なので
体の衰弱も充分快復してゐませんでした。内地の
清らかな空氣の中に浸つて日々と元氣が増してゐま
す。今では吳市に近い警固屋町で靜養してゐます。
もうすつかり健康体になりました。
終りに臨みて諸先生並びに同窓の方々の御健康と御
幸運をお祈り致します。(檜垣幹事宛)

富田 壽 (十三回)

御通知を頂きましたのが、氣の落ちつかない卒業式
(十一月三日)前で御座いました。

忙しいので一寸見まして十五日と思ひ込んでしまひ
ました。多分五日の所が十日となほしてあつたため
だらうと存じます。

其の後解剖で殆ど毎晩八時頃までかゝり、解剖する
時は起つて居らなければなりませんので、私の様に
足の悪い者は殊の外に疲れ、古いたとへでは御座い
ますが、体は綿の様になり、解剖室からお室へ歸へ
りますと、バツタリ倒れたきり何もする事が出来ず
そのまゝすぐ床についてしまひます。

ですから又お手紙を読みかへす事も出来ませんでし
た。

明日でした。十五日ならば最早やお送りしなくては
と思ひまして出して見て驚きました、十日を書いて
あるんですもの。

すつかり驚いてしまひまして、今日早速郵便局に行
き爲替を組んで來ました。

お忙しい仕事をして下さいます皆様に対しまして、
こんなズボラの者が居りましてはほんとに申譯が御
座いせんけれど、又皆様もさぞお腹立ちで御座い

ませふけれども、なれない解剖室の嗅氣のために頭
はいたくなり、体のつかれるところをお察し下さい
まして、おくれましたがズボラはどうぞくお許し
下さいませ。

お願ひいたします。五十錢は同封いたしました。ご
うぞくお受取り下さいまし。

川上タマコ(十三回)

見ゆる限りの山々は大自然の織出す錦を飾り、吹く
風も漸く身にしむ様に相成りました。其の後御無沙
汰致しましたが、諸先生始め同窓の皆々様にはお變
りなくいよゝお健に、渡らせられる事と、心遙か
におよろこび申し上げます。さて、數日前浦留會か
らお手紙戴きまして有難う御座いましたけれども、
私は田舎で極めて平凡な生活を送つて居りますので
何一つ申し上げる様な事もございません。只々毎日
同じ様に家事のお手傳ひしながら、色々のお稽古に
いそしんで居りますから、何卒御安心下さい。今夏
御地へ参りました節、是非母校を訪れるはづでござ
いました。非常に用事が多く、又急用で歸郷致し

ましたので、なつかしい母校も見ること出来なかつたのを非常に残念に思ひます。

けれども只々よろこんで居りますのは、校長先生に度々お會ひして、色々とお話しを受け賜りました事でございます。今度参りました節には、是非お伺ひしたく思ひます。其の日の一日も早く来る事のみ望んで居ります。終りに母校の發展及び諸先生並びに皆々様の御幸福をはるかに祈り上げます。かしこ

(浦陽會幹事宛)

佐藤タキエ (十三回)

裏の木々に蟬の聲が騒がしく、夏も早半となりました。月日のたつのは早いもので、おやさしい諸先生をはじめ、お懐かしい同窓の方々とお別れしてもう二度目の夏を迎えました。長らくの御無沙汰に、ごんなにお詫びしてよいか分りません。其の後は諸先生や同窓の皆々様には、此の暑さにもお弱り遊ばさずお暮しでございますか、御伺ひ致します。私は去年九月に上海の兄の元にまいり、九ヶ月程彼方でくらししました。上海に参りましてまだ一年もたぬ内

大陸の氣候になれない爲だつたので御座居ませう、不幸にも三月終り頃から病にかかり、六月には醫者のすすめによりまして、なつかしい故國に歸つて参りました。今では吳市外の海岸町で、靜かに療養を續けてゐます。内地の靜清淨な空氣に浸つて、今では元の健康体に復しました。上海に参りまして初めの間は、言葉もわからぬ彼方を見ても、此方を見ても皆知らない者ばかりで、ほんとに心細く感じましたが、日の經つのに伴つて多少の言葉もわかり、姉の忙しい時は姉の代りに、支那人ばかりの市場に買物に行ける様になりましたので、却つて今では上海の方が面白い土地の様になりました。私の家の近所には、鉢植の外は草や木はなく、唯々家が建て込んでいますので、田舎育ちの私には初めの内は何にも思ひませんでした。日のたつにつれて野山の草木が戀しく、日曜日には朝から兄さんの子供を引張つて公園に行き、思ふ存分草を踏んでおました。今年の支那の暴徒の起りました時は、丁度入院してゐましたので、其の土地に居乍ら余り詳しい事は知りません。

一寸耳にしました所では石を投げたり、ピストルで

討つたり、随分乱暴をしましたさうです。初めの中は小學校も、義勇隊や、陸戦隊に護られて、何の危険もなく勉強していましたが、段々危くなるので、終ひには女學校も、小學校も休學になりました。兄の子供が日本小學に通つてゐますが、支那人の爲に頭に石をなげられたと云つてゐました。

市場も永い間休みまして、副食物に非常に困りました。日本人には絶對に物を賣つてくれないのです。それで家に使つてゐる支那人がこつろりと少し宛買つてきて居りました。それも日本人の家に使はれてゐると分れば、買つた物を取つたり、叩かれたりひどい目に逢されるのです。

一時は水道を切るといふ噂で、風呂や、バケツや、瓶に水を一ぱい入れ、まだ茶碗にも満たしたといふ仕末で、大騒動をしました。

支那には度々こんな事はあるさうです、今度のさわざで、大部分日本に引上げられた方もございます。幸に余り大した事にもならぬ治まりましたので、私の家にも安心して今は暮して居ります。

長い事降らぬ事を述べました、終りに臨みまして、母校の發展並びに諸先生や同窓の方々の御健康をお

祈りいたします。(原田幹事宛)

無 名 (第十三回)

私のつまらない消息でもお報らせ致します。

相變らず元氣に學校生活、及び寮生活を續けて居ります。悲しい事も、嬉しい事もございます。でも苦しい事、いやな事のために、前途の希望をなくしてしまはない様な修養も致して居ります。

近頃目白名物の一つに數へられる大運動會を前にひかへまして、毎日なか／＼意氣込んで居ります。母校の運動會もそごろにしのべれます。

諸先生方や、卒業生の方々に、いつもとんだ失禮ばかり致しまして、何んとも申しわけがございません。この誌上で深くお詫び申し上げます。

では皆様御機嫌よろしく。(木曾幹事宛)

管 波 久 代 (第十三回)

クラスの皆様!!

千光寺の櫻の蕾も未だ堅い頃、なつかしい學び屋、

お情け深き師の君と袂を別ち、クラスの皆様と悲しいお別れを致しましてから、月日は流るゝ水よりも早しか、最早二度目の秋は訪れてまゐりました。なつかしいクラスの皆様!!! 其の後如何お暮し遊ばしていらつしやいますか?

私はこちへまゐりまして、初めの程は校風も分らずお友達とはないし、どうしようかと思つて居りましたら、偶然にも村上千代子さんが同じ學び屋に、しかも同じクラスにゐらつしやる事を知つた時、ほんとに云ひ知れぬ喜びで満されました。

それに今では學校の様子も分つてまゐりましたし、又課業にも餘程興味を覺えて、毎日ほんとに愉快な日を送つてゐます。

時々和洋へ御通學の前田さんと九段で（皆様と御一緒に重い足を引すつてまゐりましたわね）お會ひしては、なつかしい母校や、師の君、クラスの皆様のお酌等して、樂しかりし日を偲びて、なつかしい昔にかへるのが、何より楽しみでございます。

お堀の向ふの佛國大使館の庭木も、いつの間にか赤に、黄に色づいてまゐりました。

あゝ、思ひ出多き港の町にも、淋しい秋が訪れて

まゐりましたでせう。

なつかしい校庭のポプラも、そよ吹く秋風に誘はれて一と二た散り初めたでございます!!!

あゝ、あの緑したゝるポプラの下で、クラスの皆様と楽しく遊んだのも、皆思ひ出の種でございます

この冬休みには同窓會をお開きになるとか、定めて其の折にはクラスの皆様お揃ひ遊ばす事でございますませう。皆様にお目もじする日を今から待つてゐます。

終りに臨み、母校の御發展、師の君のお榮、クラスの皆様御幸福を、お祈り致します。（木會幹事宛）

佐藤タキエ（十三回）

木の葉は風吹く度に名残惜しげにバラ／＼と散つてゐます。其の後皆様にはお變りもなく同窓會のため御盡力のこと、喜んで居ります。先日會報發行について何か消息をどのこで御座居ますが、日平凡な暮しをしてゐます事とて別に之と言つてお知らせする程の事もございません。本年六月上海から歸りまして警固屋町で静養してゐます。今では大部元氣

になつてまいりました。

此の警固屋町は後は山を負ひ前は瀬戸内海を控へまして、常に汽船の往來が繁く、丁度尾道の様な所で御座居ます。町民の殆んどは吳海軍工廠の職工です。近くの音戸、室尾などの島々の職工は全部此の警固屋町から舟を降りて吳に行きます。それで朝晩は職工で殆ど道路をうづめてしまひます。小さな町ではございますが吳市の近くにある加減でございます。撞球場、卓球場も所々方々に設けてあります。それで定時間夜遅く迄球の音が聞えてまいります。日曜日には庭球野球などをする者も澤山にあります。先日は小學校で野球大會が催されました。

音楽も非常に進んでゐまして音楽會、琵琶會も度々催されます。此の日曜日には青年團と少年團との運動會がございます。小さな町に似合はない音楽や運動の進んでゐるのには驚かされます。母校にも此頃は運動會でお忙しい事でございます。終りに臨みまして諸先生や同窓の方々の御健康を御祈りいたします。

(十三回木曾、井田、富岡、原田幹事宛)

石川喜代子(十四回)

會誌發行につきわざわざお知らせ下さいまして有難うございます。慣れない寄宿生活も半年余りして來ましたので、今では大分なれてまいりましたから。ぼつぼつ我儘を出しまして、此の頃はすつかり面白く暮しております。其代り少しも勉強しないで遊んでばかりゐます。時々女學校時代の師や友の事を思ひだしては再び來ない時代をなつかしく思つてゐます。最後に皆様の御健康と御幸福を祈ります。

阿蘇波延子(十四回)

御通知下さいまして真に有難うございました。皆様には御變りは御ございませんか。私事、在學中と同じく通學致して居ります。又此頃は澤山の友達が出來毎日愉快な日を送つております。此方にも毎日の様に運動會といふ聲をきいております。對校試合も多く遊覽者を樂しませております。常に觀覽席は滿員で其應援振も大變勇しく勝負も美しうございます。然し乍ら私の居る學校は只一部分の人のみで他の人は音樂園藝に熱心であらうございます。私も此頃は一生懸命で農園へ行つては色々なものを作つて自然と樂

しんでおります。此頃ではコスモス、菊等が校庭を装飾し其の間には野菜類が芽を出して大變美しゆうございます。近くの植物園も菊の眞盛りで人出が多く賑はしております。もう少しすると嵐山の紅葉が見られると思つて大變楽しんで居ります。前週に奈良高師へ参りましたが、金谷さんに會ふ事が出来なくて残念に思ひました。終りに望んでいやが上にも母校の榮えん事を祈る次第でございます。皆様に宜しく御傳へ下さいませ。

有地 松江（十四回）

ひまゆく駒のあしかきも早く皆様とお別れして、春を過ぎ、暑さの峠も越えて、氣持よい秋風を迎へる時になりました。四年の長い間同じ學びやに學んだ皆様は今何處の地にいらつしやいますか。語る人ではない私は只一人事にふれては思ひ出し、皆様の御健康を祈つております。在學中弱かつた私は今は元氣に社會への第一歩、家事の練習に没頭しております。皆様之から遠い將來なつかしい母校を忘れないで師より授けられた智と徳のこの二つの武器をもつ

て、どんな社會の障害にもひるまないで強く光ある生活をつづけてまいりませう。完

人知れず心なげかゆこそこの秋

異國に母を失ひてしより

菊の花一枝折りてかなしくも

思ひ出せり亡き母の名を

岡山山陽女塾一同（十四回）

私達山陽女塾にゐます者は母校時代と變りなく快活に愉快に毎日を送つております。尾道から参りました者が一番多いものですからいつも一團体をなしております。そしてはなつかしかつた母校時代の事を語りあつております。運動會の時も歸りたくて歸りたくてなりませんでした。昨年の運動會の事を話して其日の盛會を思ひ浮べました。時々母校に歸りたいと云ふ人もございましたが、今ではもう慣れたので云ふ人もなくなりました。母校は日の經るに従つて盛になつてゐる事でございませう。岡山にゐる七人の者も、そうあれかしと祈つております。

浦曙會の一人となりました私でございます以上はほんとに努力してお盡し致さなければなりませんのですが、私にはそれが出来かねます。ほんとに残念に思つております。初風の立ちそめし頃私は或恐しい病魔におそはれました。そして學舎を後にして海岸の方に轉地静養を致さなければならなくなりました。そして今日少し良くなつて家に歸つて見ましたらお便りがございましたので驚きました。中を見ました時はもう期限が切れておりました。會費のおそくなりました事をお許し下さいませ。お集め遊ばす方にとりまして随分お困りになつた事でせう。幾重にもお詫び申上ます。今お送りいたしますから御受納下さいませ。失禮致します。

藤原澄子(十四回)

先日は御手紙有難く拜見致しました。其後はお詫びの申上様もなき御無沙汰に打過ぎ何とも申わけがございません。叔母校の諸先生を始め同窓の皆様には

お障りもございませんか。お伺申上ます。降つて私事卒業後は相變らず毎日家事の手傳ひをなしつつお琴の稽古に通つていますから、他事乍ら御安心下さいませ。終りに臨みまして母校の皆様様の御健康をお祈りします。

沖浦つる子(十四回)

静かな秋の夜！ぼーと汽船の汽笛が小さな港町に静かに淋しくひびく。

××様。御奈津かしゆう存じます。御慕はしゆう存じます。夏が去りいつしか虫の鳴く時もすぎ早十一月の晩秋になつてまいりました。あの四年間、長い様な短い様な四年、其間共に楽しく學び遊んでおりましたのに、今はむなしくその四年を奈津かしみ慕ふ様になりました。私はこの世と云ふものを余り深くも考へず、唯卒業したら家でどうしよう、こうしようとかあれと理想のみで巢立ちました。けど今もう其様なふわ／＼した浮草の様ではをられません。この世といふものを深く／＼考へてそしてリンとした心をもつて働かなくちやならない身となりま

した。私は學生時代が余りに幸福でした。家には祖父父母を初め父母も皆揃つて心配は有りませんでした。けれども今では此世に二人とない大切な大切な父を失つて、此の世と云ふものを深く／＼考へさせられます。常に淋しく第二の故郷尾道をなつかしみつゝ生活しております。運動會にも行つて見たくて／＼たまらなかつたのですけれど、母は岡山の病院に入院してゐるし家は忙がしい其上老いた祖父母と幼い妹達をどうしても残してゆかれませんでした。

××様。運動會は盛大でしたせう。日曜日ではあるしほんとに見たうございました。

母校には何の變りもございませんか。前庭が美しくなつてゐるでせう。校長先生田邊先生其外諸先生御健やかにいらつしやいますかお伺ひ致します。

朝書宵の下りの汽船を見る度にどうしても第二の故郷尾道を思ひ出さすにはおられませんの。四年間の寄宿舎生活を……。あゝ今は夜の十一時まあ静かなこと。外には満月になりかけの月が淋し相にかゞやいております。私の奈津かしい尾道の空にもこの通りでせうね。どんな愚痴こぼしてもつきませんから、もうペンを止めます。ぢやみ健やかに。

淋しさにふとペンとれば

亡き父のまぼろし見みてそら悲しき

ありし日の事ども千々に思はれて

一人悲しむ秋の淋しさ

春すぎて夏來て去りぬ落葉ちる

秋は深めり心わびしく

病みつきて早も四とせは過ぎぬれど

いえる日の來ぬ母の病よ

池尻キクヨ (十四回)

秋は益々更けて参ります。皆様御變りはございませんか。御伺ひ致します。私はお蔭様で至つて丈夫で學びの道にいそしんでおりますから、御安心下さいませ。

御存じでせうけれど私達の學校は東京郊外の大森にございます。前も後も草原によつて圍まれて立つております。朝はしつとりと露にぬれた小草を踏んで氣持よい空氣を呼吸し乍ら學校へ参ります。學校は地階附二階スレート葺の西洋建でございます。地階はコンクリートで解剖學實習室、屍体室、病理解剖

學室、生理學物理學實習室、化學實習室、天秤室、暗室、通風室、元素分析室等あります。第一階第二階は木造りで第一には階段教室二其他事務室講師室圖書室及校長室等、第二階にも階段教室がありまして、階段教室は各室二百名以上收容する事が出来ます。教室の両側は窓になつてゐて、完全な暗室装置を備へ大變氣持よく授業が出来ます。學校全体は大さき事はございませんけれど、設備の完全で新式な事は他に決してまけない事と思ひます。私等豫科生百七十人は全部一つの教室で學びます。校長は醫學博士額田晋氏で私等の動物植物を受持つて下さつてゐます。理事長は同じく醫學博士額田豊氏です。

その他 文學 博士 下田 次郎氏(修身)

文學 博士 佐々木信綱氏(國文)

醫學 博士 賀川 哲夫氏(外國語)

理學 博士 龜高 德平氏(化學)

醫學士理學士 田中 廣志氏(物理、數學)

等立派な先生方に教へられる私等は何と幸福な事です。寄宿舎は學校と草原と隔て一町位の所に立つてゐます。玄關を出るとすぐお池になつて満々としたへられた水は幸福そうな小波を立ててをります。

今入舎してゐる者は全体で八十人位です。自治制の下に活動してゐますので舎監といふものはありません。此の程病院が落成致しました。寄宿舎のすぐ後にございます。十一月二十二日盛大な落成式が催されますので、今頃私達は余興の考案に忙しゅうございます。二町ばかり海岸の方へ出ますと、城南女學校と云ふのがございます。此間その運動會を見に行きました。

モーターダンス、フアストもございました。見てゐる間にいつのまにか尾道女學校の運動會のやうな氣になつてしまひました。東京の學校といひましても田舎町の大森等は別に變つた事ありません、けれどもあの塵多い東京よりも此の靜かな、そして氣持のよい郊外の方が私の學ぶ私共に取つては、どんなに嬉しいことかわかりません。

余り長くなりますからこれで失禮いたします。終りにのぞんで皆様御健康とをしまして母校の彌増に發展ある事を遠き空よりお祈りいたします。

萌黄の若葉の時となり、野に山に散歩し又旅するの
に一等よい時ですのにほんどうによく雨が降ります
例年の母校の旅行も終えられたことゝ存じます。何
地への御旅でしたか、私は昨年の思出によつて再び
其の當時愉快が湧いて出ます。私は新しい出来たお
友達と廣島へ遠足をいたしました。

永らくお世話に預りました懐かしい母校を離れて岡
山山陽塾生の一員となりました。本塾は、裁縫が主
で學科は修身、作法、習字、作文、講讀、法制經濟
婦人衛生、應用理科、家事、体操などが僅かの時間
に配當されてあります。

外に修養會の時間が設けてありまして、其の時間
は或題目の下に自分の意見を發表をするので、自然
と研究心が向上して發表振も上手になり、精神修養
の鍛練ができます。かやうに各自が修養に力めます
から同室のお友達は大きな一つの家庭を作つてゐる
やうに至つて輯睦であります。かうした温き空氣が
ただよふのもお情厚い先生の御指導の賜と今一つは
宗教信仰といふ強い力があるからだと思はれます。

朝夕のお祈り聖堂への參拜、毎土曜日の校長訓話は
私共の精神を一層清く洗練されます。宗教に冷淡だ

つた私も日一日と感謝の念に生き歡喜の心に安じて
ゐます。(後略)

雁のつて

第一回

粟村トク様

最早よいお醫者様になつていらつ
しやいませう。御發展を祈ります。

生酒コト様

いつも變らぬ御壯健で、本年も秋
尾道へお出になりました。嬢さま
の太つていらつしやる事、全く見
違へて仕舞ひました。

井上千代花様

本會幹事としてよく御盡力下さい
ます、大きい嬢さまはもはや五年
生、そろ／＼女學校の入學の事が
氣にかゝるからと仰しやつて、絶
えずお子様の教育に心力を傾けて
いらつしやいます。

御住所及御身分に御異動有る時は御一報頂き
たう存じます

猶會員の内消息不明の方が多く、之等の姉
妹方の御様子御知らせ申上げる事の出来
ない事を此上無く残念に存じます

どうぞ御寸暇もありましたら年に一度御
様子御聞かせ下さいませ御願申上ます。

小田政代様

お醫者様の奥様として誠にふさはしいお方。生花三絳等御趣味も廣く好ましい生活を續けていらつしやいます。

本會幹事としてよく御盡力下さいます。

高橋春子様

今年の夏大連へお出でる途中一寸尾道へお立寄になりました。十三年振の事ではあるし、如何に驚いた事でせう。お側に背の高い体格のよい坊ちやんを眺めた時、再び驚きました。三人の坊ちやんと一人の嬢ちやんを連れてお出でになりました。はるく澎湖島のはてから昨晚尾道へ着きましたをして明日は大連へ行かふと思ひます」
 どのお言葉でした春子様の面には流石しつかりとした御氣分がみなぎつてゐました。今年彼地でお越しの上來年は大連へお移りなさる御様子でした。

野崎 幸様

住友銀行小倉支店長夫人として御暮しの由。

野村サカ様

御多忙中、本會幹事としてよくお務め下さいます。嬢ちやんも大きくお成りになりました。

中野チトセ様

大阪から三原へお歸りになりました。御親切な中野さんに早くお目に懸り度いと思つて居ります。

橋本信子様

相變らず伊藤菊野と共に廣島支部の爲御盡力下さいます。感謝に堪へません。

橋本キク様

神戸から大阪へ御轉任の由、よい母君として良い奥様として、理想的な生活をしていらつしやる事と存じます。北區の淨正橋を語らひ乍ら通つて居りました當時が頭に浮びます。未だ昨今の様な氣がしてなりません。お互に年はうんと取りましたのね。

佐藤熊子様

本年も夏にいらつしやいましたとか後に聞いてお目もじも致さず殘

藤居フデ様

念でございました。

本會幹事としてよく御世話下さいます。小田様と共にお花のお稽古に御熱心です。

吉岡繁子様

お元氣にお過しでいらつしやいます。坊ちやまはお一人、平和なお家庭をつくつて居られます。

舊伊達
小山房子様

其の後の御様子を一寸ども存じませぬものですから御姓も御住所も昔のまゝにして居りまして、誠に失禮致して居りました、悪しからむ御許し下さいませ。

岡田先生より先日御様子を伺ひまして嬉しく存じました。數年も以前の事岡山縣の小山家に御入嫁遊ばし、唯今では御二人の御母上様と御なり遊ばしていらつしやるごか。御主人様もやはり御醫者だごか伺ひました。時々御便御聞かせ下さいませ。

第二回

花本ミチヨ様

何時でしたか向島でお見受け申したと島の方が二三度御通知下さいました。一度お會ひ致し度いがと思つて居りました所、秋には最早御歸京なさいましたごか、御様子承り度し。

宇坪ヒサヨ様

市内御在住の事とて市中のどこかで時折お目に懸ることがあります何時も御壯健で御子様の御養育にお暇の無い御様子。

岡田とみ様

昔の儘の親しみの深い方、懐かしい方、親切な方として、忘れられぬ岡田様には只今はお二人の嬢さまの母君として意義ある生活をしていらつしやいます。

義理ある中にも小さい嬢ちゃんから「お母様お母様」と慕はれて、寸暇も離れられぬ御様子、さてごころと理解ある御生活を羨む次第でござ

繁田 チヨ様

ございます。

まず、御健在で近頃は土堂町光
明寺邊へお住ひごか、アメリカの

お土産話どつさり承りたし。

小林 久様

長江町のお店でよくお目にかゝつ
て居りましたが、此度御良縁あつ

て廣島の呉服商へ御入興になりま

した。

賑やかな商店の奥様としてお店を

かざられる事でせう。御幸福を祈

ります。

田坂 マス様

大きい嬢さまは最早尋常四年、よ
いお母様で被居ます。この度新築

の久保町郵便局へ移られました。

益々御發展なさいませう。

三坂 玄子様

御機嫌よく驛上の別荘から渡場の
營業場の方へお通ひになつて、只

管お店の繁榮と四人のお子様方の

よい母君として、それこそ充實し

た家庭の主婦といふ立場に直面さ

れて、眞に望ましい生活をしてい

第四回

尾田 こわさ様

相變らす栗原の小學校へお勤めで
す。先頃全國女教員大會へ御出席

の爲、御上京なさいました由。益

々御活動を御祈り致します。

戸木 ヒサノ様

此節は東京にお住ひの由先日圖ら
せも母校の運動會で御二人の坊ち

やんの母様とも見えぬお美しい御

姿を拜見致しました。

高垣 しげの様

悲しい運命は何時誰の身に降りか
ゝつて來るかも知れません。過ぐ

る日種々お手を盡しての御看病の

甲斐もなく御主人様には御世界に

なりました。何とも御悔の申様も

ございませぬ。只一人の忘れがた

みの恒子様を唯一の御慰めにやは

り土堂の小學校へお勤めになつて

居られます。

松浦 みゆき様

恵まれた家庭の主婦として幸多く

御暮しなさいます。御葉書の端にも常に精身修養に御心掛になる御人格は敬服せずには居られませんが、十月御出産の爲御歸郷の由、御手紙いたゞきました。が其後の御消息をきかしていたゞきどうございませす。

倉井恒子様

今春より御都合で久保町防地にお住ひになつてゐらつしやいます。

坊ちやまばかりお三人でどんなにかお樂しみの御事と存じます。

兒玉かつえ様

日々お忙しくお暮し遊ばす御様子滅多に御外出もなさいませぬ。

惠谷清子様

御病氣にて御静養のため此節は實家にお歸りになつてゐらつしやいます。一日も早く御全快のほごひ

たすら祈つてやみませぬ。

新田ヒサ様

御近所にお住ひの由にて、學生時代ものまゝ心のおけぬ御交際をなすつてゐらつしやいますとか御羨しく存じます。

船岡カヤ様

藤野喜美代様

時折途上でお目にかゝります。大商店の主婦として御活動なすつていらつしやいます。

堀内好様

長らくの海外生活を引き上げて市外新濱に家庭を作つていらつしやいます。

中村ふさ様

いつ迄もお若々しいのは君の御生活の御幸福な事を物語つてゐる事と信じます。

御主人様が三菱海上火災保險會社より三菱商會社上海支店に御轉任遊ばしましたので四月下旬内地を後に上海へ御轉住遊ばしました由。

第五回

阿蘇シズヨ様

帝都近くのみ空で如何お過してございますか。少しはお便り下さいませ。

長谷川チヨ様

今春支部同窓會で久々に旧姓永井千里様とおめもじどの事、十年以

堀場澤子様

來の積るお話に短い春宵を惜しまれた事でせう。

御通信頂きまして厚く御禮申上ます。三人の母様として、どんなにかお忙しく幸福にお過しの事です。明治神宮も間近くて、先帝陛下の御威徳を忍ばれるに好きお住居です。

山方イッ様

愛兒の爲に慈愛に充ちた母様振りを時々拜見致します。通信は別所に掲載して御座います。

村井タマエ様

三人の小供様の母君として家事に育児にお忙しくお過しこの事です。先達市内某家で久振りに、なつかしいお姿を拜しました。近況御知らせ下さい。

末田静枝様

楽しいそぞろ歩きのお姿をよく御見受けいたします。

恵谷ハツヨ様

いつも御通信頂きまして、厚く御禮申します。三人の愛兒の母様として又教育家の奥様として、どん

奥野シズ子様

なにかお忙しく楽しく多幸な日をお送りの事で御座いませう。通信は別に記載して御座います。可愛いお子供様を中心として的一家團樂の有様が目の前に浮んできます。此の美しい花を思ひの饅喰かして下さいませ。

清水キヌヨ様

少しも御便りがないので御様子が少しも分りませんが、此頃は原田村尋常高等小學校へ御奉職中とか或る方より承りました。

高原千代鶴様

此頃は御様子が御座いませんが如何でございませうか。

落久保愛子様

遠く故國を離れて異國に住み給ふ御兩人は如何お過しでございませうか。珍らしい話も數々盡きぬ事と存じますが、少しは故里の者にお洩らし下さいませ。貴女様の御成功をはるかに祈つています。

小出秀子様

お一人の可愛い子供様を蝶よ花よと愛でつく静かなお里で幸福にお

吉原フクヨ様

山下芳子様

山下芳子様

お一人の可愛い子供様を蝶よ花よと愛でつく静かなお里で幸福にお

村上千里様

暮してございます。御丈夫な坊ちやんを儲けさせられて、御家庭はさながら春の様にのどかな御希望に輝いてゐられる事と存じます。通信は別に載せて御座います。

豊田清子様

今年は何たる呪はしい年でせう。いどしい妹君が永遠に歸られぬ旅に急がせ給ふたとか、只々夢の様に御座います。御父上を初め貴女様の御なげき如何ばかりでございます。されど散りにし花は再び樹上を飾らず流水を源へ、返す由もない事でございますから、此上は只管御追福を祈られん事をお願い致します。まして御三人の母君で日夜御多忙の事と存じますから、愛兒のためにお健かにお過しの事を祈ります。

此節は當地にお住居で子供様をおつれしての母様ぶりを時々お見受

入江ヒサノ様

高橋美津枝様

け致します。おひまの時には母校へもお出で下さい。

このほど呉市に御轉任遊ばし御健かに御過しの御様子を承つて居ります。

第六回

池田政子様

相變らず三原女子師範に御勤めでございます。何時までも御若くて昔に優る御元氣で活動してゐらっしゃいます。

小林花子様

久しく御逢ひ致しません、尾道へいらつしやいましたら、母校へも御立寄下さい。時々御様子を聞かせて頂きたう存じます。

平芳子様

二三年前までは御病氣勝ちにて御困難遊ばしました由でございますが、此度御轉家遊ばしましてすつかり御壯健に渡らせられます。二人のお嬢様の御やさしい御母君として毎日御幸福に家事に御いそし

松葉敏子様

みの御様子でございます。御宅は驛より電車に乗り一丁目にて下車すればすぐ其前でございますとか呉に御出の節は是非御立寄り下さる様にどの御言葉でございますか田邊ツタヨ様は時々御遊びにいらつしやるそうです。

鳥越一枝様

度々御便いたございます事を深く感謝いたします。やはり此頃も御健かに御勤めの御事と存じます、此頃は御妹君も御一緒に御住ひの由御賑かでございます。それにこのほど可愛い御子様が生れにやつたとか、重ねて御めで度う存じます。

堀田春子様

御健かに今年三才におなり遊ばした御子様を御相手に随分愉快な日を御過しの由承り、此上も無く嬉しく存じました。時々町に出かけましては御目にかふります。相變らず御健かな御様

湯川ツタヨ様

子を拜見いたしました嬉しく存じます。坊ちやまも大分大きく御成りでございます。

岡本千代様

何時も同窓會より出した通信が返送されて落膽致して居ります。御様子を御存知の御方は甚だ御手数乍ら御通知下さいませ。

田村キミヨ様

運動會の時でございますか一寸御目めにかぶり御話し致しましたすつかり昔とは變つて奥様らしくなつていらつしたのに驚きました。御健かに御幸福に御暮してございます。

村上文子様

學生時代、寄宿舎でよく同室になり仲々悪戯の上手な連中でした、ほんとになつかしく存じます。私達の一年生の時三室の例の事……新帯先生や上村先生にあんなに御心配をかけ皆様は御心配をかけました事を寄宿舎に行くと時々思出します。

吉原千代子様
宇野政世様

その茶目子の貴女様も早あんな可愛いらしい坊ちやまの御母様なのね、御健かに御育て遊ばしませ。時々御様子御聞かせ下さいませ。御妹君が今母校の四年生にいらつしやいます。クラスの方の妹様を見る度に皆様をなつかしく忍びます。

笠置學子様

最も御幸福に御過しの御様子に伺つて居ります。どんなに御變り遊ばした事か御目にかゝりたう存じます。

田野浦ハル様

日々御健かに家事にいそしみの御様子でございます。

行廣キミヨ様

去三月二十二日午前十一時に男の御子様を御出産遊ばしました由、

大變に御發育のよい大きな坊ちやまだつたそうですが案外御安産で御産後といへどもいと御健かに平生以上の御元氣だつたとの御事、弘法大師様に御願した御蔭だと云

栗原マツノ様

つて悦んでいらつしやいました。「子を持つて知る親の恩」とは古い言葉ながら經驗を得て今更に切實な感にうたれますとはキミヨ様の御言葉でございます。大阪の難波から電車にて四十分海濱の御住宅にて春より夏にかけて特によい所に御住居の由、御上阪の節御遊びにいらつして下さいとの御言葉でした。

保澤千賀子様

久保尋常高等小學校にいと御元氣に御勤めになつていらつしやいます。又同窓會幹事として多大な御世話をして戴いて居ります。

先日久保の講堂にて開かれた村田七光氏の獨奏會に參りました時。歸りに玄關口にて思ひがけなくも御目にかゝり、餘りの嬉しさに人目をかまはず尾道辯まるだして御話いたしました。只今は大分大きくなつていらつしやる坊ちやんが

御有りになるとか昔の千賀子様と

は大分變つていらつしやいました。

河野 シゲコ様

其後はどう遊ばした事か御案じ申して居ります、運動家だつた貴女様の其後の御様子を御聞かせ下さいませ。

大町 道子様

如何遊ばしていらつしやいますか御様子を御伺ひ致し度う存じます。

辻本 敏子様

よく尾道に御いになり申す御様子ですが一寸とも御目にかゝりませんので級中一のニコ／＼者の敏子様の棚下しが一寸出来かねます御來尾の節は是非母校へも御寄り下さいませ。

田中 千代乃様

相變らず御健かに家事に御いらしみの由。

田頭 ミス様

クラス一の豪傑者だつたミス様は今早大分大きな坊ちやまの御母君としてすまじ込んでいらつしやいます。とても御家庭は御圓滿の由。何よりと御喜び申上げて居り

田頭 花江様

圓滿な家庭の主婦として又子供様のやさしい御母君として日々御過しの事と存じます。

高竹 ヨシ様

何時ぞや御出産遊ばしたどの御めでたい御話を一寸誰方様よりか伺つたのが耳に残つて居ります。段々御健かに御育ちの事と存じます。講演會等の時によく母校へも御出になり申すので御目にかゝります可愛らしい洋服召した五つ位の御嬢様を連れられ丸髻姿の正子様はすつかり學生時代とは御變りになつていらつしやいます。

高橋 正子様

同窓會の幹事として種々御世話いたゞいて居ります。

竹田 トミ子様

一寸も御目もじは致しませんがお健かに御過していらつしやいますか。

横山 ヒサ様

七月末に松江市に御轉居遊ばしました由、御子様様の御世話に追はれ

谷 静 香 様

忙しく御幸福に御暮しの由。

このほど御父君を御失ひ遊ばしました由。たつた一人子の静香様がどんなに御力落し遊ばした事かと御察し申上ます、御子様御成長を樂しみに亡き御父君の爲にも御健かに御育て遊ばしませ。

宮 邊 照 子 様

皇孫内親王御降誕奉祝音楽會が去十二月十二日の御命名式當日に母校に於て行はれました其時に丁度前に御子様を二人御連して照子様がいらつしたので一寸御話致しました。

随分御惻好そうな御坊ちやまで御母様のシヨールを横取りした處が坊ちやまに睨まれて、大笑ひ致しました。

西 原 勳 様

五才にならせらるゝ可愛い坊ちやまの御成長を樂しみに御幸福な生活が続けていらつしやいます由。一寸も御様子を承りませんが其の後

松 岡 ハ ッ ヨ 様

は如何御遊ばしていらつしやいますか御子様がお二人にならせられたとか御伺ひ致しましたが。最早坊ちやまも大分大きく御成りでございますませう時々御便御聞かせ下さいませ。

津 田 田 鶴 様

昨年御病氣で實家へ御静養の爲來ていらつしやいましたとの御事でございますが其後は如何でいらつしやいますか。

中 村 シ ズ ヨ 様

お別致しましてよりすつかり御使いたしませんでしたが其の後如何遊ばしていらつしやいますか、御母君は御健かに渡らせられますかどうぞよろしく、時々御贈を致して居ります。

入學の時に緑のお袴を召していらつしたのが深く印象に残つて居ます。晝の休時間等よく一緒に遊びました事もなつかしく思出されます、どうしていらつしやいますか

廣 上 リ ッ ツ 子 様

時々御様子御聞かせ頂き度う存じます。

渡邊隆江様

其の後は御健かに渡らせられますか。御様子承りたう存じます。

高島タマ様

神戸にて御幸福に御暮しでいらつしやいます。小川サダ様と共に神

戸支部幹事として仲々支部の爲に御盡し下さいませ。

舊花咲
吉川貞子様

學生時代仲々の雄辨家だった貞子様は相變らず以前にも増しての御元氣な御様子推察申上げる事が充分に出来ます。

何時ぞや貴女様より返事をこの御言葉でしたが出した封書が符箋附で又返送されましたので其儘にして居ります。悪しからむ御許し下さい。

廣川イト様

今年の四月より東京和洋裁縫女學校の高等師範科へ御入學御勉強中でいらつしやいます。近頃御病氣の爲尾道に御静養の爲歸つていら

平井淳子様

つしやいますとの事、御大切に一日も早く御全快遊ばします様御自愛なさいませ。

檜垣保世様
東一様

縣立三次高等女學校にお勤めでいらつしやいます。變つた土地の状況等御聞かせ頂き度う存じます。母校に勤めて居ります。

よく御一緒にお話致します。學生時代にまして仲々の御活動家で市内でも屈指の一人だと存じます。同窓會の爲には多大な御骨折を戴いて感謝の外ありません。

何時か適當な機會を得て開き度いと思つて内々準備して居ました袋物の製作會等、實によくまあ斯くまでにと思はれるほどの御盡力に先日も驚かされました。當會の爲には何物をも置いて御助け下さる事は全く感謝の外ありません。只今は（神戸市北野町三丁目三八ノ一竹内五一様内）叔父様の御宅へ

錦織 スガ様

行つていらつしやいます。一日も早く御歸尾を御待ち申して居ります。

久しく御住所不明で失禮致して居りました、はからず御通信により御様子御伺ひ致しましてごんなに嬉しかつたでせう、可愛らしい御子様を中心に御幸福に御暮しの由。

平岡 重子様

先頃御父君を御失ひ遊ばしましたどの御事御力落のことと御察し申上ます。只今は尾道にいらつしやいます。時々可愛らしい坊ちやまを御連れしてよく母校へも御出になります。

兒玉 禎子様

時々御目にかかります。今年五才位に御成かと思はれる程の可愛らしい坊ちやまを御連れして此間も母校の音楽會の時に一寸御見にかかりました。

高祖 純子様

其の後は如何御過しでいらつしや

小川 サダ様

いますか、何時か御寫真で拜見させて戴きました。可愛らしい御嬢様が早もうすつかり御成長遊ばした事だらふと存じます。

御健かに渡らせらるる様、又時々御様子を御聞せ下さいませ。神戸支部會幹事として仲々容易ならぬ御世話下さるのに感謝致して居ります。

野瀬 貞子様

何時か可愛らしい坊ちやまを御連れして母校を御訪ね下さいましたそれからよほど成人遊ばした事と存じます。

當春三月にお生れになりました御長女様が一寸どの熱の爲に御機嫌が御悪く其爲に詳しい御様子を承る事が出来ませんでした、御變りなく御過しの御様子でございませう。

安部 春子様

如何御暮しでいらつしやいますか多分御健かに御幸福に渡らせらる

山田 トキノ様

森谷 千代様

山本 喜代様

阿蘇 ケイ様

松岡 キミヨ様

今西 八重子様

村上 ミサカ様

木曾 マサコ様

岡田 マツヨ様

と事と存じ上げます。

昨年御主人様がわざわざ御訪ね下さいました時、丁度留守居をして誠に失禮致しました。其後は如何御様子御聞かせ下さいませ。

貴女様が御住のすぐ側に親類がありますので時々今治に行く事も有るのですが、今まで氣づかず失禮して居ました。今度から御訪ね致し度いと存じて居ります、時々其後の御様子を御もらし下さいませよく御目にかゝつて御話致します可愛いく坊ちやまが一人御有りになりますので仲々忙しく楽しく御暮しの御様子です。

日下 サカエ様

吉井 政代様

浦岡 辰様

藤井 タキ様

脇 貞子様

藤坂 シゲ様

田邊 つるよ様

其後は如何御過しでいらつしやいますか、御様子が承り度う存じます
吳市に御いになりましてより早四年の星霜を御迎へ遊ばしたこの事、只今では三才になる可愛らしい嬢様の母様として御幸福に御暮しでいらつしやいます。

第七回

上野 綾子様

御障りなく御両親の許に、幸福な日々を送られつゝ、この節非常に諳に御熱中遊ばされめきくど、上達なさいました。

佐藤 薫子様

旧姓上野様この度御良縁あつて、佐藤家に御入嫁なさいました。樂

園田マキ様
しみ多き御生活をなすつてゐらつ
しやいます。

貝沼ミチ歌様

本會幹事として御多忙中にもかゝ
わらず非常に御骨折下さいます深
く感謝致します。御二人の若

き母様として楽しく幸福に過して
居られましたが、御長男の芳穂様
を御失ひ遊ばして誠に御氣毒に存
じて居ります。

尾畑幸江様

お便り有難う御座いました。

折角お生れ遊ばした御子様は間も
なくお亡くなり遊ばしたさうで、
ごんなにか御慰傷で御座いませう
お互に母の身となりましてはお氣
毒に堪えませんが、折角御体を害さ
ないやうになさいませ。

作田定代様

御主人の都合により福山の地にお
かはりになさいまして静かな日を
送つてゐらつしやいます。御病氣
をなさつた由其後如何で御座いま
すか。御自愛遊ばしませ。

高橋楠子様

お變りなく御無事の御様子此の上
もなく御喜び申上ます。

田坂小竹様

時々御合ひいたしますが變らぬ快
活な御話振りに思はせ過ぎにし日
の事を語り合ひます。

服部トミ子様

其後御變りもなく毎日楽しく御過
し遊ばされます、御轉居遊ばしま
した由、御便りに接しました。

奥村季子様

愛らしいお子様を中心に日々を面
白く平和な毎日をお過して御座い
ます。

青盛當子様

お變りなく御幸福な御生活をつづ
けておいでます來春お里に一度御
來尾になるとか御目もじを楽しみ
に待ち居ります。

第七回

島住静子様

おたよりに「當地は昨今余程涼し
くなりました。大連には今博覽會
があります、私も先日参りました
が中々盛大です御見物にお出なさ

山田マキ様
御自愛遊ばしませ。

中山登代様

「いませんか」と。

……「私共も早や男子と女子と二人の母となりました。早いものです。毎日子供の世話で急しく暮らして居ります。當地も女學校が今年から出来まして、淋しい村にも此頃では小さい乍らも音楽會や運動會や講演會等催され、幾分か頭の掃除が出来て、私共の明るい道に導びかれる様な氣分がいたしましうれしく存じます」とおたよりです。

石井順子様

別項御便がございます。いつもながら御幸福に御過し遊ばされますやうです。

濱中瀧江様

東京へ御住ひですが都合により不日引揚御歸國の由。

平櫛ミツヨ様

「早いものですね、卒業致してより最早八年になります。一家の主婦となり只今二人の男の子が居ります、毎日面白く忙しく日を

村上芳枝様

送つて居ります」とのおたより。お變りなく東都に御幸福に御生活なさいませ。

藤野松榮様

五才の嬢ちやまと當才の坊ちやまのお母様として平和の日をおすしなさいませ。

井内満子様

蘆屋をすて寶塚の小女歌劇も程近い石橋へお引越なさいましたさうです。

松本よしの様

きつと御幸多き日を御過しの事と存じます。ちと御様子御洩し下さいませ。

渡邊文子様

東京へ御越しになりました様承りましたが其後如何ないましたか。

宮本綾子様

昨年御實家に御不幸があつて御歸省中のところ、其後御上京の後小石川にお住ひでしたが今度巢鴨の方へ御引越なさいましたさうです。お嬢様もどんなにか大きくおなになすつた事と存じます。時折の都の御便有がたうございま

村井 駒様

す。其後も御無事の御事とよろこんで居ります。秋の末つ頃悪性のチブスで堺病院入院御加療中の所追々快方に向はせられし由通信がございました。今日ではもうピン／＼してゐらつしやる事でせう。

石井 キヨコ様

『……私の近況としては別に申上ぐる程の事は御座いません。田舎の事とて只平々凡々の日を過して居ります、でも田舎はまことに閑かで平和です、松永邊へ御出懸の節には是非御立寄り下さいませ。松永驛から余り遠くも御座いません。浦疇會報見ますのが何よりのたのしみ、御送附を待つて居ります。どうか一日も早く御完成の程お願いします……』と

三好 文代様

『私は只今では相變らず平凡な生活を送つて居ります。昨年春生

岡田 茂子様

後十八日の次女を亡く致しましてよりお轉婆の今年五才になる長女を相手に休暇で主人が歸りますのを指折つゝ楽しく暮して居ります何れは遅くながらも主人に引づられて世の中へ田舎者がおそる／＼顔出しを爲さなくてはならないかと存じます。……』

川本 キヌ様

今年八月上旬長男弘様を御出産なさいました由。尙又十一月より姫路市立高等女學校へ御轉任遊ばされた由。府中にお住ひ遊し可愛い、四才位の坊ちやまがいらつしやるやう聞きますが、如何なすつて御出なさいますか。ちと御様子御しらせ下さいませ。

渡里 常子様

向島兼吉に静かな日を御すごしなさいませ。

沼田 艶子様

前回會報で御産後お肥立悪く御養生中の様皆様へ御傳へ申して、私

勝呂庸子様

共一同その御全快の程お祈申した
甲斐もなく三人の御子達を残して
お亡くなりになりました。實に
くお氣の毒に堪へません。

御幸福に御暮しの御様子に承つて
居ります。過くる日御母君と御妹
君を十日も經ぬ間に御失ひ遊ばし
重なる御不幸に淋しくいらせられ
ました由、はるかに御同情申上げ
て居ります。

第八回

阿部辰子様

忠海の女學校へ奉職して居られま
す。時々健かなお姿を拜見致しま
す。

原野千代様

御近況お知せ下さいませ。

沖森卓代様

御良人と楽しくお暮しで御座いま
す。

村井貞子様

可愛いお子様を相手に楽しくお暮
しで御座います。

井出仲乃様

御近況お知らせ下さいませ。

倉田トシ様

今年春倉田家へお嫁入なさいまし
た。

高田小園様

去年の暮男兒御安産なさいました
御近況お知せ下さいませ。

杉本三樹枝様

お二人の母様になりました。御
近況お知らせ下さいませ。

岡本綾キ様

この節は東京の方にお暮しなさい
ますとの事何卒御近況お知らせ下
さいませ。

片山政子様

近頃は如何お暮しで座いますか。
お知らせ下さいませ。

田中道恵様

この頃は鳥取の方にお暮し遊す由
何卒御近況お知らせ下さいませ。

三浦英子様

いゝお母様にお成りで御座います
いゝお母様にお成りで御座います

森古乃枝様

この夏久し振りでお目にかゝりま
した。

菅田貞子様

如何お暮しで御座いますか御近況
お知らせ下さいませ。

新田美智子様

御近況お知らせ下さいませ。
去る五月下旬御主人が岡山師團廠

丸内ハマ様

井出舟八郎

林共良下

新嘉島 第九回

中前梅代様

秋田照子様

有地トヨヨ様

安藤多喜榮様

赤松千枝様

止に付・善通寺山砲に御轉任遊ばしたので御同伴御忙しく家事に御いそしみの御様子に御消息を頂いて居ります。

九回

お變りなく若き御母様として御養育におつくし遊ばします。

昨年の冬御養子お迎へ遊ばしました。若き御母様でゐらつしやいます。

其の後如何がお暮しでございますの。御近況おもらし下さいませ。お變りなく静かな御故郷にお両親と共に御幸福な日々をお送り遊ばします。

御病氣にて石井醫院へ御入院遊ばしてゐらつしやいましたが御全快遊ばし百鳥へお歸り遊ばしました時々當地でみ姿を御見受け致します。

阿蘇せつ様

藤井民様

石井圭様

田中安子様

石梶春子様

平櫛カツヨ様

岡田清子様

小田菊枝様

葛西壽香様

如何がお暮しでございませうか、御近況を承りたう存じます。

お變りなく大阪にて御幸福な日々をお送り遊ばします。

お變りなく静かな御家にて家事の御手傳ひを遊ばします。近い内に御目出度とか。

お子様が病氣にてお困りでしたが御全快遊ばし、主婦として家事においそしみ遊ばします。

御變りなく久保校にて教鞭をお取り遊ばします。

若き御母様としてのみ姿をお店にお見受け致します。

昨春御養子をお迎へ遊ばしました近く御母様におなり遊ばしますとか。

静かな御故郷にお母様と共に平和なる日々をお送り遊ばします。お變りなく御幸福な日々をお送り遊ばします。

後藤 實様

此の頃御主人が御洋行中にて御生家にお暮し遊ばします。お留守中に短日のおわすらいでお小さい坊ちやまをお失ひ遊ばしましたよしお歎き致して居ります何かと御自愛の程お祈り致します。

松岡キミヨ様

日々をお送り遊ばします。先日松岡家に御入嫁遊ばしましたお變りなく兒童の爲におつくし遊ばします。

小池 静乃様

如何が御暮しでございますか御近況承りたく存じます。

加納うめ様

お變りなく福山縣女に御捧職遊ばします。

寺西定子様

昨春寺西家へ御入嫁先日當地の御生家にて嬢ちやまのお母様におなり遊ばしましたよし。此の頃は大阪郊外にて御幸福な日々を御續け遊ばします。

安保 タクエ様

お變りなく静かな御幸福な日々をお送り遊ばします。

木曾 フクヨ様

半年は當地に半年は鮮土にと樂しい日をお續け遊ばします。

小濱美代様

東京に居りました時、三四度お目にかかりました某市役所へお勤めになつてゐられました。

北村 スエ様

御父君が非常な御大忠にて、御看護におつくし遊ばしてゐらつしやいました。近日は非常に御經過が御良好の御様子にて御寸暇の際には御稽古事に御いそしみ遊ばします。

幸崎 きみよ様

御近況おもらし下さいませ。お變りなく御幸福な日々をお續け遊ばします。

横田 絢子様

先日赤ちやんお産遊ばれたとか如何がお暮しでございますか、御近況承りたく存じます。

小池 幾代様

如何が御暮しでございますか、御近況承りたく存じます。

眞田 フサ様

如何がお暮しでございますか、御近況承りたく存じます。

小林 キヨ様

お變りなく静かなる地に平和なる

作田 久子様

此の頃は東京の御親戚にお遊びあ

加藤久子様

そばしますか。

本年六月御主人御子様御三人で當地にいらつしやいました時お目にかより昔ながらの女らしさ又奥様ぶりを拜見致しました。只今は飛弾の高山にて幸多き日をお送り遊ばします。

佐久間義子様

お母様とお二人で静かな御生活をおつゞけ遊ばします。先日の舞踊會でお娘らしいみ姿をお見受け致しました。

庄司辰江様

如何が御暮しでございますか。御近況承りたう存じます。

篠原静子様

某家に御入嫁、御母様でいらつしやいますか。

木原香子様

御變りなく家事においそしみ遊ばします。

杉原ヒサヨ様

今春某家に御入嫁遊ばしましたとか。

砂田加津子様

御變りなく静かな地に御幸福な日々をおつゞけ遊ばします。

田中美子様

若き御母様でいらつしやいますか。

關原縫様

お變りなく家事においそしみ遊ばします。

田頭堅子様

其の後お變りはございせんか、時々御たよりおめぐみの程お待ち致して居ります。

田熊静江様

昨年夏の頃田熊家に御入嫁遊ばしました御幸福な日々をお續き遊ばします。

田頭トミエ様

御近況承りたう存じます。

武田千代子様

御二人の御母様としてのみ姿を先日御地に御見受け致しました。

田中庸子様

御二人の御母様として御養育におつゞけ遊ばします。

高橋昌子様

長らく本會幹事として多大の御盡力におあづかり致して居りました

が某家に御入嫁大阪にお暮し遊ばします。

高橋止志様

東京よりお歸りとかで先日一寸車中でお目にかよりました。只今は

豊田トミコ様
御故郷にてお暮し遊ばします。
如何御暮しでございませうか、御近
況おもらし下さいませ。

名越美子様
非常な御大患におかゝり遊ばしま
したよし。でも御手術後は非常に
御経過が御良好の御様子で何より
嬉しく存じます。一日も早く御全
快のほどをお待ち申して居ります

中山美子様
非常に御健康が御勝れ遊ばしませ
ぬとか。折角の御自愛の程お祈り
致します一日も御全快の早い事を
お待ちしております居ります。

中山輝子様
御變りなく幸多き日々をおつづけ
遊ばします。

西原キヌ様
お變りなく御両親のお許に御幸福
なる日々をおつづけ遊ばします。

竹内愛子様
如何が御暮しでございませうか御近
況承りたく存じます。

西岡君代様
静かなる御故郷に平和なる日々を
お送り遊ばします。

中本宮子様
お忙しいお家にて坊ちやまの御養

武田 長様
育に御主人の御看護にとお働き遊
ばします。一日も御全快の早い事
をお祈り致します。

野田隆子様
静かなる御農村御生活をお続け遊
ばします。少々御健康が御勝れ遊
ばしませぬよし。御自愛のほど御
祈り致しますいつも御たよりおめ
ぐみ下さいます事を非常にうれし
く存じます。

箱田歌子様
御變りなく御両親の御許に御幸福
なる日々をお送り遊ばします。

秦コトヨ様
若き御母様として御養育におつ
くし遊ばします。

吉田久野様
如何が御暮しでございませうか御近況
おもらし下さいませ。

橋詰ヨシヨ様
お變りなく御母様として、御養育
の御傍家事においそしみ遊ばしま
す。

濱口末子様
御變りなく某校に御捧職遊ばして
ゐらつしやいませうか。

濱口末子様
お變りなく長江校にて兒童を御導

島居茂枝様

き遊ばします。

昨秋坊ちやまの御母様におなり遊

ばしましたよし。呉にてお暮し遊

ばします。御歸郷の際お訪ね下さ

いましておやさしい奥様ぶりにお

目にかゝりました。

樋口春子様

某家に御入嫁、呉にて御暮し遊ば

渡邊静子様

この頃は本郷村なる御生家にてお

久枝房子様

子様を御相手に静かなる日々をお

沼本悦子様

送り遊ばします。

惠谷悦子様

岡山にお暮し遊ばしてゐられまし

松本 榮様

たが只今は三成小學校にお勤めで

福場道子様

ございます。

宮本清子様

け遊ばします。

如何が御暮しでございますか御近

況承りたう存じます。

齊鹿千代様

お可愛らしいお子様を後にのこし

て御逝去遊ばしましたとか、どん

青木ツルヨ様

なにかみ心残りの御事と存じます

泉谷喜子様

遙かに御冥福をお祈り致します。

異國にお母様としてお幸福な日々

をお送り遊ばしますよし。

山下正子様

今年もお懐しいおたよりお待ち申

して居りました。其の後お變りは

ございませんか、近日お二人の御

母様のみ姿を當地にお見受け致し

山形初子様

ました。

藤原安子様

今春當地の山下家に御入嫁お變り

福場道子様

なく兒童をお導き遊ばします。

松本 榮様

御變りなく家政においそしみ遊ば

福場道子様

します。

松本 榮様

近く御母様におなり遊ばしますと

福場道子様

か。

松本 榮様

御變りなく御幸福な日々をばつど

福場道子様

今春福岡に御入嫁、平和な御幸福

吉田 サワ子様

な日々を御送り遊ばします。

主婦として御母様として御多忙な日々を御送り遊ばします。時々御店にみ姿を御見受け致します。

橋本 久子様

お變りなく東都にて平和な日々をお送り遊ばします。

渡邊 節子様

去る四月始御結婚遊ばし五月中旬より京都にて楽しく御過しの由承りました。

早川 アヤコ様

其の後御健康は如何がでございますか御案じ申して居ります。随分御自愛の程御祈り致します。

市丸 イサヨ様

お變りなく平和な御幸福な日々をおつゞけ遊ばします。近き御將來に、お母様におなり遊ばしますよし。

木曾 静子様

相變らず御丈夫にて、よく本會の爲にお盡しなされてゐられます。御両親の御元にて幸多き日をお送りなされてゐます。

第十回

淺雛 イクヨ様

尾道の實務學校に御奉職遊ばしていらつしやいます。

井上 房子様

池田 菊野様

お變りもあらせられ生徒の爲にお働きの由、井上様には母校の運動會當日お會ひ致しまして種々の物語を交しました。昔ながらの眞實に心持のいとお方でいらつしやいます。

吉原 静子様

榎崎 辰子様

静かな市村にて可愛い坊ちやまと共に楽しくお過しなさい姪。御主人様遠洋航海におつき遊ばしまして後は永らく實家でお針なかなさつていらつしやいます。

岡山 静子様

藤田 ヨシコ様

近頃母校の大村先生と御結婚遊ばしました由。尾道の藤田家へ御入嫁遊ばしました。時々御すこやかな御姿をお見受致します。

金尾艶子様

御元氣で毎日お稽古事に熱心でいらつしやい舛。お鼓なんか随分御

上達の由。

竹原勝子様

矢張大坂の地にてお暮しなさい舛
お正月には年賀状下さいまして、

おなつかしく感じました。

片上不二子様

静かな向島の地にて御ゆつくりと
した御生活を遊ばしていらつしや

い舛。尾道にて音楽會等御座い舛

時には何時も御壯健なお顔をお見

受け致し舛。其度に四方山のお話

で面白くお別れ致します。

桑田勝子様

昨春御養子をお迎へ遊ばしまして
矢張尾道にてお過しなさいます。

加藤俊子様

平和な田島村にて無邪氣な兒童の
教育の爲に御通勤遊ばします。

中江イコ様

愛らしい御子供様を中心に楽しい
月日をお過しなさいます。昨秋一

寸可愛らしい奥様振りを拜見致し

ました。

兒玉光子様

英學塾を御卒業遊ばしまして、今

は廣島の山中高女のお若い先生と

して御立派な教授振りを發揮して

いらつしやい舛。おやさしい兒玉

先生の許に學ぶ生徒は眞實に幸福

な事とおもひます。

佐藤延子様

いろいろの御稽古事に熱心でいら

つしやい舛ですが、近頃は一層お針

の道を御研究遊ばしておられ舛。

昨秋お二人目の嬢様を御出産遊ば

しましておにぎやかな其日を御過

しなさいます。

佐々木幹枝様

月日の立ちますのは流水よりも早

く、今は御立派な先生とお成り遊

ばして濱松の女學校に御奉職なさ

います。

七月頃御養子をお迎へに成られま

した。今春は大阪に於てお二人で

ニューホームをお作りになられる

どの由。
毎日家庭にてよく働いて居られま

佐藤重代様

白神満子様

島原 ヨシコ様

います。
お子供さまもお出来に成り母様として家庭をおさめていらつしやいます。

村上 ヨシコ様

お可愛らしいお子供さまもお産れに成られました、御主人と三人で樂しき日をお過しに成つていらつしやいます。しかし御祖母さまがおなくなり成られ一面に於てはお淋しい事だろうと思ひます。

高樹 ヒサ様

昨年春頃に神戸の方面へ良縁があつてお嫁入なさいまして、今年の一月には赤ちやんもお産れに成りました。學生時代の快活なお婆も眼の前に浮ぶ様でございます。

武田 光子様

相變らず御丈夫で今ではお子供さまもお出来に成り樂しい日をお暮しに成つてゐらつしやるとの由。お花のお稽古に御熱心でございます。

今田 九人子様

昨春可愛らしい女のお子さまがお

田頭 アヤ様

お花のお稽古に御熱心でございます。

豊田 スマコ様

産れに成り、今では一人前の立派な母様と成つて、いらつしやいます。

藤川 ヨシエ様

近頃は美しい京都の大丸呉服店で會計係をお勉めでいらつしやい外大へんな人氣で御座いますと。

寺西 久榮様

昨夏大分大きい嬢様をお連れ遊ばして尾道の地をお歩きでいらつしやいました。

岡本 サカエ様

一昨年は御病氣で大變お苦しみに成りましたが、昨年は御丈夫に成られお店の方に出で中々活動していらつしやいます。さうしてお稽古事にも御熱心です。殊に日本音樂の方には趣味をもつてゐらつしやいます。

長谷川 千代子様

昨年四月頃に廣島へお嫁入なさいました。近い内に御出産遊ばす由御熱心に教鞭を取つていらつしやいます。澤山の生徒から信賴されてお出でのよし。

村上スミエ様
矢野静子様

お稽古事に御熱心でございます。天才とは言へ、お琴に於てはすでに立派な先生と成られ、何時も鈴の様な聲をはり上げ、あざやかなお琴を弾いて居られます。前途有望な方だと皆の人から話される事で御座います。

消息もれの方は近況お知らせ下さい、終に望み皆様時候柄御自愛遊ばしませ。

第拾壹回

安保静子様

時折り途上で御見受け致します。御近況を御もらし下さいませ。

貞陰富江様

昨年未貞陰家に御嫁し遊ばしました。近く御母様に御なりなさいませ由。

和泉好子様

學校時代人物畫の御上手だった方丈夫そうでいらつしやいましたのに、今夏遠い旅路に御つきなさいました。ほんとに御氣毒な事と存じます。

武田金子様

先頃目出度男子御出産遊ばし若い母様として育児に家事に御いそがしく御過して御座います。

高橋千代子様

今春遠く名古屋の高橋家に御嫁しなさいました。近々御目出度が御座います由。

上田みどり様

ママ様振りが想像致します。御變りなく家事の御手傳のかたわら御稽古事に御はげみで御座います。

碓高子様

理解ある御結婚後御上京遊ばしていらつしやいましたが只今は御歸郷可愛い坊ちゃんの様として御過して御座います。

廣畑加津子様

如何御暮で御座いますか。寸暇の折りには珍らしい御地の事等御知らせ下さいませ。

梅田清子様

いつも御一緒に汽車通學していらした當時が思ひ出されます、御近況承り度く存じます。

江草チイ様

大山喜久代様

御變りなく御稽古事に御過しのか
たわらクラスの爲に色々御骨折り
下さいませ。

岡崎寛子様

御上京の由承はつて居ります。
御近況御知らせ下さいませ。

金光綾子様

度々御母上様と御一緒の御姿を御
見受け致します。御やさしい奥様
として家事に御いそしみて御座い
ます。

金谷静子様

御變りなく御両親の元で幸福に御
過して御座います。

川添智恵子様

先頃久し振りに御目にかゝりまし
た。其後の御様子御もらし下さい
ませ。

木曾季野様

幸福に御暮して御座います。
近々御目出度が御座います由。

久野ヨシ子様

卒業後ちつとも御様子承りません
けれど御變りなく御過しの事と存
じます。

桑田幸子様

近況御知らせ下さいませ。
先頃母校の運動會の折り御目にか

桑原國子様

三島晃子様

御丈夫で家政に御いそしみのかた
わら近々母様となられる準備にい
そがしく御過して御座います。

小松下枝様

御變りなく御両親の下で楽しく御
過して御座います。

河野貞枝様

御近況御もらし下さい。

楠本アヤメ様

御なつかしき御便り頂いて居りま
す。
近く母様に御なり遊ばします。

小尻マサエ様

吉和小學校に小さい子達の教へ人
として、平和に御過して御座いま
す。

佐藤益代様

御結婚遊ばした由、承はつて居り
ますけれど御消息御知らせ下さい
ませ。

齊藤文子様

卒業後笠岡の母様の下に御歸りの
様承はりました。御近況御もらし
下さいませ。

高垣延代様

今春芽出度優秀なる御成績にて女

子英學塾を御卒業遊ばし間もなく御上京芽出度く華燭の典をあげさせられました、永久の幸を御祝し申上ます。

英學塾にあつて熱心に御勉學の由御暇の折りには御様子御知らせ下さいまし。

望月貞子様

如何御暮して御座いますか。御近況承はりたる存じます。

谷前操様

東京の体操音樂學校御卒業後、大阪の某私立女學校に若き先生として御過しの由承はつて居りましたが其後の御様子御知らせ下さいませ。

御變りなく御過して御座います。

御近況承りたる存じます。

其後の御様子御聞かせ下さいませ

御様子御もらし下さいませ。

御両親の下で御變りなく御過して御座います。

濱中福子様

御消息承はりどう存じます。

林文子様

卒業後、御上京御趣味の生活をいとなんでいらつしやいます。先頃の母校の運動會に歸尾なさいました。昔變らぬ面白い話し振りに思はせ長い時間語り合ひました。

保田篤子様

時折り御なつかしき御便頂いて居ります。美くしいつよしまやかな奥様姿を想像致して居ります。

廣康八重子様

御病氣の様承はつて居りましたが其後如何で御座いますか。御自愛の程を祈りました。

藤元ツユ子様

今春目出度洋裁縫女學校御卒業若き先生として御勤めの由。

藤田智恵子様

學校時代親友だつた和泉様と二、三日の違ひで永遠の途に御つきなさいました。誠に御氣の毒に存じます。

藤井アヤ子様

神戸の某家に御嫁しの由承はりました。御近況御通知下さいませ。

丸山芳子様

東京の地に御嫁し遊ばした由。御消息承りたる存じます。

山形 小遣子様

御慈愛の父上様を御失ひ遊ばし、母様と只二人淋しく御過で御座います。

時折り御訪ねしては昔なつかしく語つて居ります。

青木 秀子様

静かな福山の地の山丸山上の御住ひに幸福に御過しで御座います。

渡利 壽子様

理想の結婚生活を本郷のヤヨイハウスに御いとなみの由。

寸暇の折りには變つた話し承りたう存じます。

山根 一枝様

御近況御知らせ下さいませ。

山下 登美子様

御様子承り度存じます。

伊藤 政代様

御消息御知らせ願ひます。

和田 朝子様

御變りなく幸福に御暮しで御座います。

末房 ヤヨノ様

時々御會ひしては楽しく思出話しに花を咲かせて居ります。

松浦 富子様

御近況承り度存じます。

村上 トヲヨ様

今春御養子御迎へ遊ばして幸福に御暮しで御座います。

村井 江都子様

今春目出度女子職業學校を御卒業平和な向島に御歸り遊ばして、母様と静かに御暮しで御座います。

森田 清子様

先日母校の運動會に御目にかゝりました。

天野 喜代様

御近況承りたう存じます。

第十二回

雨越 宮子様

御變りなく毎日海徳寺に御針の御稽古に御通ひで御座います。

立福山 高等女學校

に御奉職の由承りました。

向島 西尋常小學校

へお務めの中、今春御結婚遊し吳においでと申します。

瀬尾千代子様

同じクラスであつた瀬尾様の御姉様と御なり遊ばし御睦じくお暮らしの由。

麻生種枝様

池田シカ様

伊藤千代子様

稲田綾子様

石岡金子様

岩木ヲル様

折戸ツヤ様

龜田辰子様

白坂淑子様

白石梅子様

島崎久子様

妹尾良子様

關原清子様

高田芳子様

高橋峯子様

高橋ハルエ様

竹谷數枝様

立神立子様

皆様お別れるたしまして以來一寸も御消息に接しませんが、其の如何お暮しで御座ぬますか、時々おたより頂き度う存じます。

刀彌カズコ様

馬場コノミ様

濱田マサコ様

小川静枝様

松本映子様

美藤善子様

山崎定子様

長谷川静子様

上田恒子様

池田シズエ様

池田文子様

井上敏子様

三宅浪子様

戎居峯子様

御一家お越し遊ばされた様で御座いますが、其の後ごちらで如何お暮らして御座いますか。

此夏御洋装でお歸り遊ばした由、明春は御卒業の事とお目出度う存じます。

先日はお便り有難う存じました。御熱心に御勉學の事と存じます。

何時もお二人で御稽古に御熱心で御座います。

御卒業遊ばして、京都の伯父様の御家にいらつしやいます今春御來

尾遊ばしたそうで御座いますがお
會ひ出来ぞ誠に残念で御座いまし
た。

森下雪子様

十月十七日にお芽出度く内海ウツ
村の森下家に御入嫁遊ばされまし
た。其の後良神社のお祭りの時お
里歸り遊ばして丸鬚姿を御見受け
ました。

最近の詩歌が拜見致し度う存じま
す。

惠谷アサコ様

小川秀子様

片山キヨコ様

御三人共御結婚遊ばしたそうで御
座いますが、御改姓御住所お知らせ
下さいませ。

岡田松枝様

御立派な御成績で音楽學校乙種を
御卒業遊ばして、今春御芽出度く
甲種に御入學遊ばしました。時節
柄御身御大切に遊ばします。

越智清子様

東京において遊ばして、御兄様の
御學問のお手傳ひの傍御自分も御

岡山幸子様

熱心に研究遊ばしていらつしやい
ます。

大塚周代様

今春北海道の伯父様の許にお遊び
にいらつしやいました。美しい北
國の冬をお迎へ遊ばしていらつし
やいますでしよう。雪深い町の御
様子をお洩らし下さいませ。

岡田澄子様

今秋お珍らしく御弟様かお出来に
なりお嬉しい事で御座ひましよう
御熱心に母校のためにお盡し下さ
います事を感謝いたします。

金尾爲徳様

倉田民子様

西原勝子様

藤井政子様

村上文子様

渡邊綾子様

大高秋江様

木曾アヤコ様

小林豊子様

共に御美しいお娘姿で毎日御熱心
に御稽古に御通ひで御座ひます。
謠曲、琴、御茶の會の度々お臨み
遊ばすうでお忙しい事と存じま
す。

共に小學校で無邪氣な人達を御相
手に面白く御忙しい日をおすごし

立川 カズコ様 の事と存じ歿。何卒立派な第二の國民をおつくり下さいませ。

濱田 ヨシミ様

金光英子様

十一月一日御芽出度御結婚遊ばし
遠い朝鮮においになりました。
殖民地の珍しい事等御消息下さいませ。

梶山 琴代様

上川 シヅヨ様

深谷 京様

岩井 ヨサヨ様

三人共相變らず御稽古に御熱心でいらつしやいます。
先日は有難う存じました。可愛い御子様を中心に楽しい生活を遊ばして、いらつしやいますでしよう。

神邊 春子様
佐藤 ヨシヨ様

お二人共古郷遠い異國で如何遊ばしていらつしやいますか御健康をお祈りいたします。

木原千里様

木村美代様

御近況御もらし下さい。
御病氣の由、一日も早く御全快遊ばします様お祈りいたします。

吉川 貞重様 御近況御もらし下さい。

馬屋原光枝様 静かな田舎の生活を續けていらつしやいます。

國安政代様 度々四國の御兄様のお家へお遊びにいらつしやいます。

小林常子様 御勉學の爲御上京遊ばしたそうで御座ります。

小林光子様 何所へいらつしやるにも三人お並

野村 琴様 ひで御座ります。相變らず母校の

松本 操様 ためお盡しで御座ります。

小西ツヤ様 講演會や講習會に度々お目にかかります。

小西節子様 御母様のいらつしやらない御家庭
新田春代様 でお忙しい日をお過しの事と存じます。

村上朝子様 今秋同村の村上家に御入嫁遊ばし

ました美しい渚の村にお忙しい日をお過しの事と存じます。

添田 伊智子様

昨秋以來市内小學校に御務め遊ばしていらつしやいましたか、初夏の頃母校の添田先生と御結婚遊ばしました。何所でお會ひいたしましても何時も御同伴でいらつしやいます。近くマ、様におなり遊ばすどのお芽出度いおうさも洩れ承りました。

井上 朝子様

今春芽出度く京都府立第一高女専攻科を御卒業遊ばし四月より母校へ御務めでございます。

高橋 静子様

今春大阪の天野家に御入嫁遊ばしました。時々御消息下さいませ。

天野 勝代様

朝鮮の菊地家に御入嫁遊ばしました。時々御消息下さいませ。

菊地 艶様

御忙しい日を御過しの事と存じます。時々御消息頂き度う存じます。御姉様とお二人で御稽古の傍、御店のお手傳をしてゐらつしやいます。

伊藤 清子様

戸田 豊子様 御母様と御二人でやはり大阪に御住ひで御座ります。時々御消息下さいませ。

寺西 常子様

林原 ヨシコ様 尾道市の岩崎家へ御入嫁遊ばすの事。先日一寸誰方様よりか承りました。御祝福申上ります。

森 ヒサ子様

平澤 田鶴子様 先日の洗濯の講習會で久方振りにお會ひ致しました。近頃は尾道にお住ひ遊ばしていらつしやいます。そうです。

浅野 壽子様

府中の浅野家に御興入れ遊ばし御忙しい日をお過しの事と存じます。時々御消息下さいませ。

桑田 キクエ様

近頃は尾道の向新地にお住ひで御座ります。可愛い御子様も御丈夫に御成長遊ばしお楽しみの事と存じます。

岡崎 ヨリ子様

先日當地の御親戚に、お遊びにいらつしやいました。それで御座ります。

森 ヒサ子様

御熱心に好きな道を御研究遊ばし

第十三回

ていらつしやいます。時節柄御身御大事に遊ばしませ。

碓日鶴代様

西御所の方へ御轉居遊しました。

東川政子様

御輿入れ遊ばしたそうで御座のみすが御改稱御住所御知らせ下さいませ。

赤松千代子様

相變らず御両親の下で裁縫、家事の御手傳ひ等してゐらつしやいます。

石井ウタ様

此の頃は女醫專をおやめになつて女子美術へお通ひとか。

井田一枝様

よく同窓會幹事として御働らき下さいませ。

今井ツル様

福山で相變らず御無事でゐらつしやるんでせうね。

井上勝子様

あの「椿の君」とやらも、どうして日々お暮しやら、何の御消息も御座いませぬ。

岩見貞子様

相變らず、お裁縫、茶花においそ

岡崎芳子様

しみの由。岩子島から尾道へお裁縫を習ひにゐらつしやるとか。よくお見受けします。

岡崎 齊様

お若いお母様でゐらつしやいます運動會に、來てゐらつしやいます。

奥山彰子様

相變らず目白の女大にお學びです縣立廣島高女專攻科御在學。

小川益枝様

郵便局の御勤をおやめになつたとか。

大島 操様

大勝政子様

三原町で變らない御生活の由。去年の可愛いオールバックが此の程耳かくしに變つたやうです。

大山美佳子様

今年も運動會へゐらつしやいました。

賀川道子様

京都府立專攻科の國文科で好きな文藝を熱心に御研究中。

柿本初子様

大坂女子専門學校御在學。

角田行江様

幾度か桃われ姿をお見受け致しました。やはり御家庭のお世話をよ

くしてゐらつしやいます。

金田 文子様 東京女子大學御在學。

神原 スマ様 お妹様からお伺ひすればお變りな

く郷里でお暮しの由。

龜田 敷子様 何んだか、檢定をお取りになつた

とか云ふ事を伺ひました。

小泉 義子様 お二人とも御消息を承りません。

坂井 升榮様 お無事でゐらつしやるのかしら。

川口 悦子様 三原で静かにお琴なんか引いてお

暮しの由

神原 重子様 福山へゐらつしやるどか承ります

作田 豊子様 お二人はどうしてゐらつしやいま

作古田 富代様 すか。少しは御消息を幹事宛にお

送り下さいまし。

佐々木 静子様 其後尾道へ一度お出になつたどか

佐藤 タキエ様 上海からお歸り遊ばして此の頃は

吳でお暮しの由。

鳥田 喜美子様 お變りなく尾道でお過しです。

管波 久代様 今年はお消息が頂けました。

別紙上でお讀み下さいまし。

杉原 ミチエ様 縣立廣島高女專攻科御在學。

高樹 キミ様 首尾よく東京高師文科に御入學な

さいました。あなたの前途を祝福

します。

高橋 スミ子様 縣立廣島高女專攻科御在學。

高橋 フミ様 やはり中央病院で忠實な御生活の

由。

竹中 フミ子様 尾道でお變りなくお暮しです。

遠藤 淺江様 補習科を修了なすつた春はよく尾

道でもお見受けしてゐましたが、

此の頃は三原で御無事にお暮しの

由。

岡田 トネ様 大變學生時代をなつかしんでゐら

つしやいましたが、此の程、おあ

きらめになつたのか。御家庭によ

く御働きます。運動會にゐらつし

やいました。

沖村 タツ子様 高須村で變りなくお暮しです。

小川 静子様 皆んな小さな兒童のために教鞭を

西岡 キヌヨ様 とつてゐらつしやいますどか。

丸井ヨシコ様

小川宮子様

小田 勝様

龜田政代様

木曾 壽美江様

京和泉政子様

楠 宗 子様

兒玉多喜子様

小出 マサエ様

島野 咲子様

補習科御修了後御健康が勝れない

ろうです。お氣の毒に存じます。

一寸も變つてゐらつしやいません

音樂會なんかでよくお見受け致し

ます。

此の春大阪女醫專に御入學なさい

ました。

無事に毎日を通してゐらつしやい

ます。

きれいに歩いてゐらつしやる

のをよく街でお見受け致します。

其の後どうしてゐらつしやいませ

か。

此の頃は蓮花坂の新築の家で御趣

味多い御生活です。

少しもむかしとお變りなくお暮し

です。

やはり學校の下の家でお靜かにお

暮しです。

高田英子様

高瀬豊子様

川上タマエ様

田中秋代様

近田須美子様

富岡千代子様

富 田 壽様

豊田満壽子様

中司キクヨ様

樽原千枝様

箱 田 淨様

橋本テル様

濱田富美様

時々尾道へもゐらつしやいます。

お裁縫、家事のお手傳ひにおいそ

しみです。

補習科修了後、お宅で御趣味多い

御生活です。

御病氣も御全快遊ばしてよく家事

をお手傳ひなさつてゐます。

お變りなく御過しです。

運動會へゐらつしやいました。

縣立廣島高女專攻科御在學。

御家庭のお世話の傍ら幹事として

よく働いて下さいます。

東京女醫專御在學。

岡田トネ様と御一緒に運動會へゐ

らつしやいました。

其の後如何お暮しですか。

お二人とも如何お暮しですか。

相變らず靜かな多趣味な御生活で

ゐらつしやいます。

どんな御生活か一寸御消息承りま

原田 小美彌様
毎日を、徒の少しもない、健實其のものの様な、御生活ぶりです。お羨しう存じます。

三村 純子様
尾道にいらつしやるのではございませうけれど、み姿を少しもお見受け致しません。如何お暮し遊ばしますか。

平野 信様
防地で静かな御生活の由、折々「あのお姿」を拜見します。

宮地 久子様
向島で相變らず忠實に働いてゐらつしやいます。

古川 智都子様
一寸も御消息承りません。

村上 千代子様
管波久代様と一しよに學んでゐらつしやいます。

前田 靜枝様
和洋で熱心に學んでゐらつしやいます。

村上 峯様
如何お暮し遊ばしますか、此の頃は少しもみ姿お見け致しません。

松浦 タミエ様
やはり三原でお暮しでせうね。御消息下さいまし。

山口 美知江様
縣立廣島高女専攻科御在學。

松本 文子様
やはり御健康が勝れないでブラ／＼してゐらつしやいます。大變お氣の毒に存じます。

山根 喜久子様
富田様と同じ女醫專に學んでゐらつしやいます。

三浦 キヌヨ様
京都府立専攻科に御在學中。

吉名 鶴世様
如何お暮し遊ばしますか。

丸山 サカエ様
如何お暮しですか。お暇の時はお便り下さい。

吉本 房子様
お稽古事に一心にいそしんでゐらつしやいます。

三森 菊枝様
同志社に學んでゐらつしやいます。たがどかく健康が勝れないうです。

突沖 トクヨ様
お變りなくお過しです。

早くもこの様に御全快遊ばす事を

土屋 智子様
みすくやかでゐらつしやいます。時々お母様と尾道へ出てゐらつしやいます。

花吟 茂子様

大變變つてゐらつしやいます、運動會にもゐらつしやいました、やつぱりあのテニスのチャン時代が偲ばれると見えて、在學生の快活な運動ぶりを見て、何とも云へない淋しさを味はつたと云つてゐらつしやいます。

平井 壽恵子様
部谷 光子様

相變らずおすこやかでお過しです
補習科修了後、大坂へ行つてゐらつしやいます。

細谷 一子様

お母様がお亡くなりになつてからはあの、美しい桃われにも、顔にも、何んだか憂ひが射してゐます
不仕合せな君のために非常にお氣の毒に感じます。

前田 雅子様

近頃は耳かくしに肩揚げ取つて違つた方の様に思はれる位です。相變らずみすこやかです。

増野 美子様

大坂にしばらくゐらつしやいました、たが此の頃は尾道でお變りなくお過しです。

三上 壽子様

お可愛いお姿でゐらつしやいます
お稽古事においそしみです。

光田 富子様

運動會にゐらつしやいましたが、お話し出来ませんでした。

宮地 トシ様

卒業式の日迄お下げで暮されたのに、近來は随分變つてゐらつしやるのでおどろかすにはゐられません。

宮地 千代子様

色んなお稽古事に熱中してゐらつしやいます。

三宅 富子様

此の方が又いろんなお稽古事にいそしんでゐらつしやいます。花吟様とお二人づれで。

宮邊 綾子様

東京にしばらくゐらつしやいました。すゐぶんお變りになりましたね。誰かと思ひましたよ。

三次 哲子様

なんでも小學校に出てゐらつしやるそうです。

村上 豊子様

御家事見習の傍、御稽古事においそしみです。

矢吹 壽江様

補習科を終るときミシンでお縫ひ

榊原重子様

になつた。あのエブロンをかけて家事のお手傳ひだらうと想像してゐます。みすこやかに祈ります。近頃福山の方にいらつしやるそうですが、御消息御もらし下さいませ。

井上勝子様

六回御卒業の御姉君松葉敏子姉の御許より會社へ御出勤の由。

妹尾良子様

このほど御結婚遊ばし只今では朝鮮の京城に御住居の由御父君よりの御消息に接して居ります。

第十四回

青山久子様

皆様の御近況おもらし下さい

赤松ヨシコ様

淺野和子様

縣立廣島高等女學校専攻科御在學中。

阿波延子様

京都同志社女學御在學。

有地松江様

御家庭で家事の御研究中。

石井常子様

今秋中村家へ御嫁きになりました

井出一枝様

常子様の優しいマダム振りを拜見したうございませ。

内海 都様

全

小林綾子様

全

小林君江様

全

佐藤千代子様

全

毛利久子様

全

守光紀代様

全

井出口君代様

桃割れ姿ですつかり見違へる程娘らしくなつてゐらつしやいます。

中川牧江様

桃割れ姿ですつかり見違へる程娘らしくなつてゐらつしやいます。

仁田智恵様

神戸高等技藝學校御在學中。

石田繁子様

東京醫專御在學中。

石川喜代子様

東京大森醫專御在學中。

池尻喜久代様

東京大森醫專御在學中。

泉登志子様

東京日本女大御在學中。

石川幸枝様

全

今治イチノ様

共に家庭で家事に御熱心でゐらつしやいます。先日の運動會に娘らしいお姿を拜見いたしました。

今治ミヤコ様

しいお姿を拜見いたしました。

池田春子様

京都の學校へいつていらつしやい

ましたが、おやめになつて今はお家で家事の手傳ひをしていらつしやいます。

鷓澤赤代様

日本女大へ御在學中、御病氣でお歸りになつたとうですが如何でございませうか、御用心なさいませ。

津浦つる子様

御父様をお失ひになつて、今又お母様が病氣との事で、一心に家事におあたりでございませう。お母様が一日も早く御全快遊ばし、御幸福な日を御送りになる様切に祈ります。

次の方々は御家庭で家事の手傳並自分の御修養に努めて居られます。

上本文子様
杉原重子様
村上重子様
大竹光惠様
岡崎かが代様
桑田フクエ様
眞田カズ子様

上田幸枝様
栗田安子様
中司静代様
大本政子様
木梨末子様
小林孝子様
志間久子様

竹本増子様
高津ミツ子様
多田壽子様
豊田雪子様
畑フサコ様
小林千代子様
南追ツル子様
村上清子様
山本孝子様
山本貞代様
安本カヨ子様
吉原フジエ様
横山文様
和田町子様
惠谷静子様
木戸淺子様
田中静子様
塚本としえ様
橋塚梅子様
横田いと様

高原政子様
高村フジミ様
綱宮タヤ様
友宗ミサ子様
藤井千代子様
横一様
光永重代様
村上コハギ様
山口鈴子様
山田ミエ子様
吉村成様
吉本久子様
渡邊スミ子様
森田マ子様
小野辰子様
柴原千惠子様
伊藤絹江様
富安弘子様
平野とし子様
田頭章様

尾尻春江様 廣島専攻科御在學中。

久留島ナエ様 全

山路久子様 全

小島松江様 東京家政女塾御在學中。

金谷政子様 奈良高師へ御在學中。

桑原千代子様 御家でお茶やお琴の稽古に御熱心
でいらつしいます。

定森幸子様 廣島山中高女紀念館御在學中。

白銀としえ様 御卒業後倉敷中央病院に力強いみ

豊田八千代様 どりとしてお過しです。

關藤靜惠様 共に御卒業まもなく御結婚遊ばし

田中年子様 ました、お祝ひいたします。

田中タキ子様

竹本ナトセ様 家庭でお花等の稽古をしていらつ

しやいます。

土屋フキエ様 福山補習科御在學中。

寺本政子様 尾道へ稽古にお通ひです。

出崎千代野様 私達の修學旅行の歸途車窓からお

姿をおみかけ致しました。其後如

何お暮しですか。

恵谷岸子様 大阪でお裁縫の稽古中。

船本スミ子様 御卒業後間もなく大阪へおいでに

なり、音楽の研究をしていらつし

やいましたが、近頃はおかへりに

なつて、お裁縫のお稽古中この事

です。

藤原澄子様 藤江のお宅でお變りなくお暮しで

す。

細谷キミエ様 大阪にいらつしやるさうです。

宮本スミ子様 近々御結婚遊ばすそう毎日お仕

度にお急い事と存じます。

宮本靜子様 お二人共お裁縫にお通ひでござい

ます、

三宅豐子様 御卒業後ちつとも、出られないで

家事のお手傳に熱心でいらつしや

います。

三木壽子様

村上宮子様 毎日お裁縫に、お通ひでございま

す。

門田八千代様 お二人共如何お暮しでございます

吉野綾子様 か、少しは御消息おもらし下さい

ませ。

山手千代子様 女子職業學校御在學。

和田節子様 此頃はお好きな繪のお稽古をして

いらつしやいます。

次の方々は補習科生として學びの道にいそしんでおられます。

岩井於里様
上杉千代様
岡田博子様
岡田孝子様
大成八重子様
櫻本末子様
川口千恵子様
佐伯貞代様
名越壽子様
八條 詢様
藤田壽枝様
邊見久代様
三好 榮様
山成道子様
高東利江様

池田文子様
上田勝子様
大山春江様
小田原秀子様
各務都子様
古山春恵様
國 貞 芳様
土居ミツエ様
中山満子様
平岡フジ様
吹上ハン様
松尾春江様
山谷俊子様
山本貞子様

朝鮮でお暮しの由、珍らしいお話
もございませう。おしらせ下さいませ。

皆様へ

幹事からの通知が参りました
ら御住所と御消息を簡單でよ
ろしくお願いしますから必ず
くお知らせ下さいませ、お
願ひいたします。

會
員
名
簿

（會員名簿に誤がありましたら御
面倒ながら御一報下さいませ）

◇會員名簿

第一回

住所 會費 舊姓 姓名

住所	會費	舊姓	姓名
東京市芝區三田四國町七番地 一號永井直治那標内	大正10迄	栗村 トク	天野 千代子
大阪市東區中崎町本一	14迄	生酒 生酒	コト
佐伯郡嚴島町御山通	14迄	稲田 小西	サト
尾道市土堂町字性樓方	14迄	宇佐 井出	上千代花
伊豫三津濱榮町	14迄	小川 辻	その
兵庫縣龍野町	10迄	小倉 小倉	ひで
吳市岩方通十一丁目五番地	10迄	大崎 森	ハナ
尾道市米場町	14迄	大田垣 小田	マサヨ
岡山市弓之町四五	18迄	柏原 水河	光代
英領カナダグミツシヨン市		河村 久藤	切音
臺灣高雄洲東港郡東港街六一二六	13迄	川崎 高橋	春子
備中郡笠郡帶江村九二三	16迄	桑田 楠戸	エイ
沼隈郡今津村	14迄	桑田 河本	キミ
岡山縣瀬戸町	15迄	小西 岡本	ウラ
小倉市住友銀行舍宅			
備中倉敷町			
豊田郡上北方村			
東京市深川區猿江裏町一六四			
死亡			
東京市神田區錦町三ノ九			
朝鮮京城大和町三丁目五〇			
尾道市土堂町			
鹿兒島市騎射場住宅一六			
岡山縣淺口郡寄島町			
死亡			
尾道市久保町			
御調郡市村			
御調郡三原町驛前			
死亡			
廣島市大須賀町一二五			
伊豫温泉郡難波村一四			
尾道市藥師堂町			
大阪市東成區天王寺町一二八〇			
廣島市東松原通り			
大阪市住吉區住吉町八五五			
齊藤野崎			
幸			
20迄 榎原 楠戸			千代子
眞田 長谷川			フミ
14迄 佐々木 佐藤			オカネ
首尾木 露子			
12迄 末田 村上			カノコ
19迄 高木 秋葉			勝子
11迄 田坂 花江			
10迄 田中 田中			ヨシコ
伊達 小山 房子			
内海 フチエ			
9迄 富田 野村			サカ
堂野 堂野			エイ
10迄 中野 チトセ			
長安 愛子			
17迄 永井 橋本			信子
12迄 野田 金子			光
15迄 野村 喜代子			
12迄 平田 檜崎			タマ
12迄 金丸 伊藤			菊野
21迄 橋本 橋本			キク

東成西北湯芳
八八〇

山口縣柳井町字尾ノ上

荻島郡府中町

死亡

豊田郡乃美村府別府七

岡山市外鹿田

尾道市中濱通₄山下様内

尾道市土堂町

神戸市布引町三ノ三九

福山市中町二一〇

第二一回

東京府下中本一六一

東京市神前區龜籠町十丁目一番地

吳市片山町

神奈川縣三浦郡大津東竹澤

東京市本郷區駒込曙町十六番地ノ二二〇号

尾道市土堂町

死亡

東京市芝區白銀三光町二六九

死亡

門司市榮町五丁目

14迄 福島 神原 久枝

10迄 松尾 沖本 初代

惠谷 クマノ

10迄 安長 原田 フヂノ

14迄 山路 佐藤 熊子

14迄 山下 藤居 フヂ

19迄 吉岡 吉岡 繁子

14迄 吉原 高田 ミキノ

門田 ツネ

10迄 阿蘇 阿蘇 カヲル

16迄 井上 花本 ミチヨ

伊藤 春江

池田 高邸 テルヨ

10迄 上田 上田 静江

10迄 宇坪 宇坪 ヒサヨ

大本 コト

15迄 大藪 大藪 ハナ

岡 セキノ

21迄 梶田 梶田 ウメノ

兵庫縣武庫郡御影町字粒一一二師範學校西隈上

荻島郡國分村中州

尾道市土堂町光明寺下

荻島郡網引村大字下安井九三六

御調郡因島三庄村

廣島市流川町筋竹屋町

大阪府下西成郡傳法町四丁目

死亡

松山市北歩行町

尾道市久保町

死亡

高田郡吉田町

鳥取市外古町

廣島市水主町二五六

三重縣眞辨郡神田村大字山田一一五〇

尾道市中濱

大阪市外布施村東足代八七一

神戸市須田町大手一四

死亡

死亡

神石郡來見村時安

21迄 川本 古谷 スエヨ

13迄 木原 岡田 とみ

13迄 木曾 繁田 チヨ

黒木ノブヨ

13迄 栗井 栗井 トクノ

13迄 小林 天野 久

10迄 榊原 岸田 満江

小林 キヌ

谷口 池田 芳子

17迄 田阪 田坂 マス

立神 ヒサヨ

10迄 豊田 井口 八重子

15迄 高田 稻田 玉子

中川 中川 秀子

中村 コト

11迄 平岡 三坂 玄子

15迄 平岡 平岡 敬子

12迄 日高 堀江 貞子

松浦 コマサ

大西 タミ

三上 吉岡 ツネ

死亡

佐賀縣西松浦郡大山

御調郡美郷村白江

兵庫縣武庫郡西宮町字川尻二六二二

廣島市稻荷町七一

三浦フミヨ

村上平瀬ノブ

山本竹之上コチヨ

横山大泰司靜江

渡邊板橋喜代

東京市外大森新井宿一三七四

神戸市外西灘村原田二六二

大阪府下北河内郡枚方町字伊賀
日本生命社宅

廣島市比治山新町一〇八〇

死亡

大阪市西區本田通り一丁目五三

芦品郡府中下東町七三五

賀茂郡造賀村

大阪市天下茶屋本町三丁目

御調郡美ノ郷村木之庄

京都一條通り智惠光院東入ル
小橋眼科横

死亡

死亡

尾道市十四日町本町

廣島市南竹屋町

御調郡因島土生町

大阪府下北河内郡松方町字伊加賀
日本生命社宅

岡山市門田五五

安佐郡祇園村大字北下安九七

御調郡因島土生長崎

御調郡三原町西町

田中実戸竹代

田坂大森幾世

谷本長藤壽子

竹本佐々木松枝

徳山神原ルイ

永田海老谷エツ

鍋島高橋シゲル

鍋島日山キヌエ

西村多田憲代

納見納見ナトセ

野村藤田禧子

林河野クニ

原田長尾千代

原田原田政野

政池大浦つな

松森松森ツヤ

正木後藤春子

三熊三能小里

三井松浦雅子

村上村上枝

村上島田ツルコ

第三回

尾道市渡場通り

備前兒島郡豊浦町田ノ口

死亡

神戸市平野梅元町一五

作州眞庭郡落合町

原籍 阿佐郡大林村(目下在米)

死亡

尾道市久保町本町

同 長江町山城戸

又三郡三次町十日市

死亡

下關市園田安部女學校下

沼隈郡松永町東町

尾道市土堂町壽美谷標内

12迄 池尻三坂カメ

16迄 稲田與田ノブ

小川佐藤ノブ

20迄 大山松尾ナホ

13迄 柏原金田菊代

11迄 金谷吉崎田鶴

河本九十九キヌ

16迄 楠生楠生みね

10迄 栗原栗原フサ

12迄 兒玉佐藤喜代子

小山杉野リュウ

11迄 佐藤橋高キシヨ

10迄 清水江川久代

15迄 壽美谷辨野タカコ

【 4 】

沼隈郡田島村
市外山波小學校内
東京市神田區錦町三ノ八
御調郡羽和泉山口様内
御調郡三原町

第四回

愛媛縣今治市
御調郡栗原町向峠
岡山市大雲寺町五〇
徳島縣那賀椿泊港
神戸市松本通り八丁目五ノ一
尾道市尾崎町
栃木縣足尾町赤倉役宅内
大阪市外吹田町西吹町階樂園
廣島縣立志海高等女學校内
廣島市外巳斐町
尾道市十四日町
神戸市南本町三丁目一ノ一
東京市外芝區白銀猿町七〇
上海三菱商會社支店、上海廣東九号

15迄 村上 ヤス
11迄 村上 春代
18迄 山科 増田 由己子
山本 山口 ツネヨ
15迄 吉池 帛世

12迄 青野 青野 セツ
12迄 市川 尾田 コワサ
12迄 井出 永原 ヨネノ
伊藤 田村 ミネ
11迄 今井 中島 清子
10迄 植田 岡田 キクノ
15迄 宇都宮 宮本 エン
13迄 岡田 鞍掛 トヨノ
14迄 兼森 赤石 シゲヨ
熊丸 村上 ミツエ
19迄 見玉 村上 ヨシ
17迄 小西 小西 ハル
16迄 小松 中村 ふさ

13迄 佐々木 佐伯 豊野
京都市上京區田中門前四〇
香川縣小豆郡大部町七〇下川國松様内11迄 下川 田川 小雪
尾道市御所町 末田 戸木 ヒサノ
靜岡縣三島町市ヶ原 10迄 武田 時山 政代
尾道市外三軒家 16迄 高垣 高垣 シゲノ
朝鮮黃海道海州道廳官舎内 14迄 立神 池田 タネ
東京府下豐多摩郡野方町字上沼袋 14迄 柏原 松浦 ミユキ
松江市雜賀寶豆紀町 12迄 永井 倉井 恒子
尾道市長江町 11迄 中司 兒玉 カツエ
尾道市藥師堂町 15迄 野村 木村 アサ
姫路市西二階町 22迄 林 黒坂 良
大阪府北河内郡豐野村字大泰 10迄 福原 福原 可代
御調郡三原町登町 10迄 藤原 安原 フシノ
尾道市長江町 松井 エイ
朝鮮平城東町西復審法院官舎 三井 敏子
兵庫縣川邊村小田村次屋 11迄 三次 小寺 イチ
尾道市十四日町 10迄 宮地 惠谷 清子
御調郡因島土生町 10迄 新田 新田 ヒサ
尾道市長江町五丁目 12迄 宮崎 奥本 亮
御調郡因島土生町 17迄 村上 船岡 カヤ
死亡 村上 ミネ

死亡

村上 ヨシ

岡山縣笠岡町伏越

13迄 稻田 原田 フサ

死亡

毛利 エキノ

大阪市南區今宮町四一四番地

10迄 井上 森安 安子

尾道市十四日町

10迄 本森 藤野 喜美代

御調郡向島東村六五〇番屋敷

10迄 惠谷 橋本 ハナエ

青島市場通り二丁目

吉岡 堀内 好

賀茂郡莊ノ村字新庄

10迄 惠谷 日下 春子

東京府下北品川三ツ木一〇一六

10迄 久田 龜山 お久

死亡

上野 江木 ユキエ

尾道市長江町

10迄 藤井 靜子

死亡

大山 村田 芳枝

第五回

東京府下谷中本一六一

阿蘇 シズヨ

宮城縣久慈郡世矢村一七七九番地

岡田 篠原 ヨシエ

神戸市北野町二丁目一〇ノ一二

11迄 安保 長谷川 チヲ

尾道市大宮町三丁目加藤内

16迄 加藤 末田 靜枝

尾道市長江町

12迄 安保 清水 コトヨ

御調郡向島東村

14迄 惠谷 惠谷 ハツヨ

死亡

安保 キクノ

台灣台北市西門街三十六番戶

13迄 金子 野村 輝子

東京府下代々幡幡ヶ谷八五〇

17迄 池田 堀切 澤子

向島西村兼吉

11迄 神田 上田 ハルヨ

尾道市久保町筒湯小學校上

20迄 石槌 山方 イソ

大阪市港區八幡屋雲井町二丁目二〇三ノ一吉川清棟内五七〇六

20迄 吉川 高橋 モト

御調郡因島土生長崎

21迄 石原 村井 タマヨ

神戸市平野神田町七番地木村内

11迄 楠生 加藤 フミ

死亡

泉 隆

滿洲長春平安町二丁目六号ノ貳

13迄 鞍掛 濱田 靜子

死亡

井出 村井 テツ

豊田郡本郷村

17迄 黒川 黒川 美佐代

尾道市十四日町

14迄 井上 和田 ヒデヨ

尾道市長江町天神前

17迄 小林 小林 イチ

東京市神田三崎町三丁目一

13迄 入江 三宅 マツヨ

沼隈郡田島村

16迄 河野 河野 キタエ

賀茂郡東吉和村

11迄 裏谷 川村 ヨシコ

東京市芝區白金今里町四四

15迄 小西 奥野 靜子

廣島市蟹屋町七六

11迄 裏谷 川村 ヨシコ

東京府下瀧川町字田端六一三

15迄 佐伯 藤井 清子

熊本市細工町

御調郡原田村字小原

神戸市三宮三丁目九七

兵庫縣武庫郡今津町字津門天神温泉裏手右側

死亡

ハワイホノルル尾道屋

目下米國

沼隈郡高須村二八四

岡山縣和氣郡熊山村大字奥吉原六四九10迄

大阪市築港三條通二丁目二二

愛媛縣新居郡神郷村

神戸市中山手通七丁目番外九七ノ五

横須賀市中里二三四

廣島市

朝鮮黃海道黃州郡兼蒲明浩町

御調郡下川邊村

神戸市宮本通六丁目三一ノ三

御調郡美ノ郷村

朝鮮京城明治町二丁目

東京府下豊多摩郡中野町三六六二

三重縣津市両堀端三五番地

10 迄 相良 杉野原 エツ

12 迄 砂川 高 原 千代鶴

杉本 落久保 愛子

29 迄 大 小出 秀子

20 迄 川本 吉原 フクヨ

高橋 奥田 トシエ

16 迄 田中 喜久惠

13 迄 瀧道 山下 芳子

10 迄 高 西本 シズコ

13 迄 塚本 清水 福子

13 迄 土井 藤井 ナホ

13 迄 徳永 淺野 ユキエ

10 迄 徳毛 佐伯 ミサヲ

17 迄 永井 村上 千里

10 迄 西永 ミサヲ

10 迄 林 西本 ヒサヨ

11 迄 原 天野 歌子

17 迄 平野 直村 たやえ

東京市芝區三田四國町二ノ一號

大阪府下玉出町北中通六〇四

東京市外中濠谷四六一

青島市外四方社内外綿株式會社社宅

兵庫縣武庫郡今津町津門江商社宅

吳市岩方通り四丁目一六

尾道市長江町三丁目

東京市芝區松本町三四

尾道市外岩宮町

死亡

沼隈郡高須村

因島三ノ浦村外ノ浦

大阪市北區堂島仲町一丁目

尾道市土堂町

同

御調郡三原町

向島西村兼吉

別府市

13 迄 藤田 豊田 清子

13 迄 福島 藤田 ツギ

24 迄 松本 清浦 智惠

12 迄 正木 加計 フサ

12 迄 松本 片山 千枝

12 迄 村上 高橋 美津枝

10 迄 村上 入江 ヒサノ

14 迄 八杉 八杉 イソヨ

山下 岡田 秀子

死亡 山根 トシコ

12 迄 山口 高田 アサコ

行友 房子

11 迄 吉田 吉田 キクエ

11 迄 米田 山根 サダ

10 迄 吉原 吉原 艶

10 迄 吉本 花咲 ナミコ

10 迄 渡里 小池 貞子

10 迄 渡里 渡里 漂子

11 迄 高橋 片山 春子

第六回

東京府下日暮里町谷中本一六一

三原女子師範學校内

沼隈郡額町鍛冶屋町

吳市本通五丁目

死亡

朝鮮京城青葉町二丁目九〇番地

神戸市中山手通リ八丁目六五

岡山縣後月郡出部村鳥越定雄様内

尾道市久保町

死亡

御調郡河内村内海様内

愛媛縣新居郡神郷村岡本道長様内

福山市野上町田村別荘二〇六七ノ一

神戸市長田町五丁目二六

死亡

尾道市久保町大西様御内

兵庫縣飾戸町山陽中央水電株式會社

松山市木屋町三丁目

御調郡三原町西港町田野浦喜作様内

15迄

阿蘇ケイ

死亡

山口縣柳井津山根三千番地

12迄

木曾木曾章子

10迄

池田政子

尾道市久保町西國寺下

14迄

木曾アサコ

16迄

石岡平芳子

大阪府豊能郡南豊島村字原田保澤園藝場内

12迄

兒玉保澤千賀子

10迄

井田松岡キミヨ

御調郡大濱村

10迄

小林阿野シゲユ

13迄

井上松葉敏子

(原籍地)御調郡三原町(現在住所不明)

12迄

白石大町ミチコ

16迄

井上鳥越一枝

死亡

11迄

田中田中千代乃

12迄

井上堀田春子

尾道市土堂町中濱通リ

14迄

田頭田頭敏子

10迄

内海湯川ツタヨ

大阪市外大軌沿線布施町東足代三五〇14迄

12迄

田頭田頭花江

12迄

小川田村キミヨ

尾道市久保町

10迄

高竹高竹ヨシ

13迄

大久保村上文字

同 土堂町中濱通リ

13迄

高村宮邊照子

14迄

大西吉原千代子

豊田郡鷺浦村向田

12迄

高岡西原勳

18迄

大西宇野政世

尾道市土堂町

12迄

武田竹田トミコ

13迄

笠井田野浦ツル

島根縣松江市殿町

15迄

竹尾横山ヒサ

18迄

笠井田野浦ツル

岡山縣土弊郡深瀬村大字屑背

13迄

谷静香

吳市中通四丁目

10迄 田村 岡田 マツヨ
10迄 檀上 廣上 リツ子

神戸市東山町二丁目一四八
大阪市西區靱中通り三丁目
福山市鍛冶屋町

15迄 村上 小川 サダ
12迄 村上 野瀬 貞子
11迄 村上 安部 ハルコ

神戶市水木通十丁目二〇三

15迄 檀上 松岡 ハツヨ

御調郡坂井原村

20迄 毛利 山田 トキノ

愛媛縣新居濱町惣開

津田 田鶴

今治市本町一丁目

22迄 深井 浦岡 辰

御調郡吉和村

中村 シヅヨ

尾道市久保町

12迄 山本 山本 喜代

岡山縣後月郡荏原村字東江原

11迄 那須 渡邊 隆江

岡山縣淺口郡里庄村

14迄 藤井 藤井 タキ

神戸市宮本通り五丁目十五

15迄 長尾 高島 タマ

御調郡河内村太田

11迄 吉原 松村 美代

死亡

濱井 ヨシカ

大阪市東區南玉造四〇番地

11迄 鳴 和 田 波子

大阪府西區三軒家上ノ町

11迄 花咲 日下 サカエ

豊田郡佐江崎村

11迄 渡邊 藤枝 シゲノ

兵庫西宮市外大社村森具當様内

19迄 花咲 吉川 貞子

深安郡深津村字松原

11迄 木村 木村 貞子

尾道市尾崎町

12迄 半田 吉井 政子

芦品郡福相村字福田森順三郎様内

相原 木村 操

縣立三次高等女學校内

14迄 廣川 イト

東京市北豊島郡瀧ノ川町上中里一三七

19迄 岩崎 宇佐 照子

縣立尾道高等女學校内

17迄 檜垣 保世

尾道市久保町東醫院内

16迄 今井 今井 高代

尾道市久保町東醫院内

18迄 東 一枝

尾道市久保町六六一

14迄 島住 静子

東京市外中目黒九八四

16迄 平田 錦織 スガ

尾道市久保町四丁目一番地五号

12迄 上野 渡邊 綾子

尾道市長江町

12迄 平岡 平岡 重子

廣島市船入町南區四九〇番地ノ二

16迄 今井 今井 ヒサ

廣島市船入町南區四九〇番地ノ二

15迄 福永 市川 千代子

尾道市久保町六六一

14迄 島住 静子

吳市三城通り四丁目二五番地

13迄 細谷 田邊 ツタヨ

尾道市久保町六六一

14迄 島住 静子

岡山縣牛窓町

13迄 高祖 純子

尾道市久保町六六一

14迄 島住 静子

尾道市西御所町本通り

10迄 三谷 ヨシコ 兒玉 禎子

尾道市久保町六六一

14迄 島住 静子

尾道市西御所町本通り

10迄 三谷 ヨシコ 兒玉 禎子

廣島市堀川町渡邊様御内

12迄 上野 渡邊 綾子

第七回

福山市福徳町

大阪市北區中ノ島六丁目

東京市本郷區駒込區曙町十五番
口ノ三号

因ノ島田熊村岡野忠藏様内

兵庫縣立姫路高等女學校内

尾道市土堂町驛北

吳市登町一六ノ五

沼隈郡今津村六七五番地

豊田郡忠海町

大阪府東成郡天下茶屋

御調郡糸崎町西木原

大阪市東區谷町二丁目四四

京都市岡崎西福川一ノ一〇

尾道市久保町金剛院前

福山市新馬場町三藤様御内

福岡縣遠賀郡香月村大辻炭礦社宅

大阪府泉北郡伯太城跡

和歌山市東布經町一ノ一

大阪市北區西野田今開町二丁目

岐阜縣本巢郡船木村

尾道市土堂町海岸通り

11迄 上野 佐藤 薫子

18迄 大久保 奥村 季子

15迄 岡崎 木田 淑子

16迄 岡崎 岡野 ユクエ

12迄 岡本 岡田 茂子

15迄 貝沼 貝沼 歌

11迄 金子 中川 静枝

10迄 加納 大多和 文子

15迄 木村 山口 あや

14迄 國近 余越 ヒデノ

15迄 楠生 尾畑 幸江

23迄 上月 勝呂 庸子

11迄 小林 小林 君代

15迄 繁村 作田 定代

14迄 繁村 永田 まつ

15迄 壽美谷 小瀬 重子

16迄 高橋 高橋 楠子

20迄 高橋 服部 トミコ

14迄 高橋 岩崎 良子

吳市元町八一番地

東京市外上大崎五一七國谷惣三郎様内

愛媛縣越智郡魚島村

尾道市土堂町

沼隈郡今津村

豊田郡大河村字河内

死亡

朝鮮大邱東城町

死亡

尾道市長江町二丁目

岡山縣矢掛町

死亡

東京市外大森新井宿沼五七六
濱中珍彦様内

沼隈郡今津村

門司市東村三菱社宅七号

東京府下蒲田町字新宿四七六

京都市五條本町二

御調郡糸崎町

大阪府下豐能郡石橋

尾道市藥師堂町

大阪府堺市櫻ノ町西一丁目濱

15迄 高垣 青盛 常子

11迄 高山 杉原 敏江

11迄 竹部 キヌエ

13迄 田坂 小竹

11迄 坪田 坪田 菊江

15迄 富永 中山 登代

11迄 富安 沼田 艶子

14迄 土井 平櫛 夕三

中山 静子

原田 静子

22迄 橋本 石井 順子

濱原 峠本 静野

10迄 濱中 濱中 瀧江

12迄 平櫛 平櫛 ミツヨ

15迄 平野 伊藤 あい

13迄 東 村上 芳枝

12迄 福島 星野 清子

藤野 藤野 松榮

細谷 井内 満子

18迄 松本 松本 ヨシノ

14迄 丸山 池川 けい

東京府下巢鴨町下新田一〇二五
東京府下外濠谷猿樂町七七二
津國菊一様方

大阪市外濠寺町舟尾七八〇ノ一
沼隈郡神村

死亡

蘆品郡驛家村中島區

尾道市久保町

廣島市白鳥北町一五五

御調郡向島四村兼吉

第八回

尾道市長江町

岡山縣後月郡芳井村笠瀬

東京市小石川區小日向台町一丁目
四十四番地

京都市下加茂下河原町五三七

東京市外濠ノ川西ヶ原三二七

死亡

尾道市土堂町光明寺上鎌倉樓下

沼隈郡本郷村

尾道市米場町

大阪市北區上福島北一ノ一五八

13迄 宮邊 渡邊 フミ
15迄 宮本 綾子

14迄 村上 村井 駒
12迄 村上 石井 キヨコ

14迄 村上 三好 文代
12迄 山根 山根 定代

14迄 和田 中井 イキヨ
14迄 渡里 常子

12迄 阿部 辰子
18迄 天野 山成 和

14迄 青木 栗野 千代
21迄 青木 田桑 ヨシヨ

14迄 池田 沖森 卓代
15迄 石井 村井 貞子

12迄 石井 村井 貞子
11迄 泉谷 芳子

11迄 泉谷 カト
11迄 井出 仲乃

14迄 岩井 清子
15迄 岩井 清子

11迄 岩井 清子
11迄 岩井 清子

尾道市土堂町
大阪市天王寺堂芝町七八

支那青島觀海路第四号
尾道市長江町三丁目

名古屋市中區葉場町六一

廣島市平塚町

御調郡栗原町

上海日本郵便局函番號乙ノ二〇三五

尾道市久保町

東京市關口臺八番地吉野樓御内

岡山縣倉敷町濱田町社宅

尾道市十四日町

沼隈郡山波村

兵庫縣武庫郡御影町東明石町二九八

賀茂郡四條町西寺

尼崎市外大物村字大隈

御調郡向島兼吉

御調郡栗原町

死亡

鳥取市芳方町五〇九

青品郡國府村高木字稻荷木

17迄 稻田 倉田 トミ
17迄 今川 好美

21迄 今井 高田 小園
11迄 石原 平田 シズエ

13迄 惠谷 中村 綾子
13迄 岡田 松本 三樹枝

13迄 小川 アキヲ
11迄 岡本 綾キ

13迄 越智 コウ
13迄 岡本 登貴子

15迄 大塚 大塚 英子
10迄 大塚 大塚 幸子

10迄 大塚 大塚 幸子
10迄 大塚 大塚 幸子

尾道市土堂町	18 迄	木村 八重子	御調郡向島四村	22 迄	中司 高原 ミッコ
尾道市長江町一丁目	18 迄	國貞 きみ子	尾道市十四日町	20 迄	中西 照子
神戸市平野町楠谷町二八一	18 迄	桑原 三浦 英子	神戸市西須磨稻葉町	20 迄	中村 高松 喜代
大阪市東區内本町二丁目	20 迄	黒瀬 森 古乃枝	沼郡郡金江村	10 迄	箱田 政枝
名古屋市東區柳原町九三	15 迄	見玉 井川 益子	御調郡向島東村字歌	12 迄	松本 秀子
尾道市水尾町	14 迄	小森 有木 秋子	死亡		土生 中島 逸子
尾道市外若宮町	14 迄	小山 小山 春子	山口縣柳井高等女學校内	13 迄	平井 和子
沼隈郡本郷村	20 迄	榊原 菊枝	尾道市四御所町	12 迄	廣角 廣角 サキ
横須賀市中里一六二小坂井秀三郎様内11迄	14 迄	佐藤 清子	大阪市西區八幡町二一五	10 迄	尊家 久野 春代
大阪市西區川口古川橋南詰	19 迄	菅田 貞子	沼隈郡本郷村	14 迄	藤野 藤野 安
御調郡向島四村	10 迄	島谷 新田 美智子	御調郡向島村	15 迄	藤本 キミコ
御調郡三原町一〇八五番地	19 迄	杉原 嘉子	尾道市十四日町	10 迄	部谷 山本 富子
死亡	19 迄	高橋 渡邊 秀子	尾道市千光寺道島居茶園	10 迄	松岡 藤原 榮
死亡		高原 フクヨ	大連市若松町七五	10 迄	松山 河野 若枝
豊田郡木ノ江	15 迄	武内 山口 由譽	尾道市東御所町	10 迄	三浦 テイ
尾道市西御所	14 迄	田中 井出 利惠	深安郡横尾	10 迄	水川 八重子
御調郡栗原町六五九番地	14 迄	武田 確 氷美代子	中庄尋常小學校	12 迄	水野 芳野
御調郡向島東村	11 迄	土屋 キミヨ	御調郡栗原町		水戸川 庫子
岡山市瓦町三七	11 迄	中司 ウメヨ	賀茂郡高屋村		三村 千代子
	11 迄	小橋 キヨ	賀茂郡御津町		村上 荒谷 秀子

香川縣仲多度郡筆岡村大字中村
一六三二

岡山縣倉敷町御崎町若竹の園内

御調郡向島西村

廣島市東白島九軒町

東京市下谷區上野櫻木町二一

御調郡栗原町

八幡市技光畦地町

豐田郡須波村

京都府伏見町豐後橋九二吉本禎吉樓内

兵庫縣甲東村甲東園前九ノ一六

尾道市土堂町

第九回

尾道市長江町山城戸

同 米場町

朝鮮平壤若草町五三

御調郡市村字市

沼隈郡百島村

東京市下谷區中木一六

大阪市東區森下路町一五七
藤井昌夫樓内

14 迄 村上 丸内 ハマ

10 迄 村上 ミサコ

14 迄 村上 ユキヨ

10 迄 本縣 田中 芳江

13 迄 行友 安本 クマヨ

13 迄 柏原 フミヨ

12 迄 吉村 ミツノ

14 迄 吉本 イト

20 迄 吉井 今井 千代子

和久 艶子

13 迄 赤川 中前 梅代

10 迄 秋田 秋田 照子

17 迄 有地 トミコ

12 迄 安藤 多喜榮

13 迄 赤松 千枝

14 迄 阿蘇 せつ

14 迄 生酒 藤井 民

沼隈郡神村

尾道市土堂町中濱通り

尾道市十四日町

全 土堂町海岸通り

死亡

尾道市土堂町

御調郡菅野村

尾道市久保町防地

福岡縣京都郡行橋町行事界町
加來源太郎内

福山縣女寄宿舍

向島西村江奥守保彌一耶樓方

尾道市藥師堂町

同 西御所町

龜山市東町

大阪府下東成郡天王寺村大字阿部野
播磨町四八九關山樓方

死亡

沼隈郡千年村敷名

沼隈郡神村字末吉

御調郡三原町西町二丁目

大阪市東成區古市町字千林一〇九

14 迄 石井 圭

12 迄 井上 田中 安子

11 迄 石梶 春子

14 迄 岡田 平櫛 カツヨ

13 迄 岡崎 増田 和子

13 迄 岡田 岡田 清子

16 迄 小田 菊枝

12 迄 葛西 壽香

14 迄 加來 後藤 實

10 迄 加納 ウメ

12 迄 川ノ上 安保 タクエ

15 迄 木曾 靜子

12 迄 木曾 フクヨ

14 迄 北村 スエ

10 迄 小池 幾代

12 迄 桑原 好子

12 迄 小林 小林 キヨ

15 迄 小林 松岡 キミコ

13 迄 小池 靜乃

14 迄 小林 寺西 定子

東京府下中野町三三〇〇	小濱美代	大阪市港區八幡屋町雲井町一丁目	11迄	高橋昌子
御調郡三原町東町	幸崎さみ子	二六八中島昌司様内	11迄	高橋止志
尾道市久保町丸山	横田絢子	名古屋市中區池田町三九松原秀夫様内	14迄	
御調郡糸崎町	眞田フサ	御調郡糸崎町	11迄	豊田トミコ
尾道市土堂町本通リ	作田久子	大阪市東淀川十三四ノ町堀八五	11迄	名越美子
岐阜縣高山町字城坂通リ	久子	野口萬次郎様方	11迄	中山美子
尾道市浄土寺道	加藤久子	死亡		
長野縣上諏訪町阿蘇温蔵様方	佐久間義子	尾道市外三軒家町	13迄	中山輝子
御調郡神村字平	庄司辰江	尾道市十四日町	12迄	西原キヌ
尾道市久保町防地	篠原平 静子	御調郡向島四村	10迄	西村竹内愛子
死亡	白賀木原秀子	御調郡吉和村	14迄	西岡キミヨ
御調郡美之郷村字中野	壽美谷包子	吳市本通リ六丁目	14迄	新田中本宮子
御調郡向島彦ノ上	杉原ヒサヨ	安佐郡深川村	15迄	西川武田長
豊田郡吉名村字浦尻	菅田中美子	東京市外代々木藤本様御内	12迄	野田隆子
尾道市土堂町光明寺下	關原ヌイ	沼隈郡金江村	12迄	箱田箱田歌子
朝鮮仁川濱町十番地杉田様方	田頭堅子	御調郡津戸村	13迄	秦コトヨ
山口縣能毛郡摺田村	田熊シツエ	朝鮮京城府船橋町四三ノハ号	15迄	原田吉田久野
沼隈郡浦崎村	田頭トミエ	静岡縣焼津町六二一	10迄	橋詰吉川ヨシコ
朝鮮平城旭町	武田武田千代子	尾道市土堂町	14迄	濱口末子
御調郡糸崎町	高橋田中庸子	世羅郡津久志村廣田様内	15迄	廣田島居茂枝
		賀茂郡竹原町堀川様方	10迄	樋口樋口春子
		沼隈郡本郷村平田様方	16迄	平田渡邊静子

御調郡三成村

11迄 久枝 久枝 房子

千葉縣本町三丁目龜井官宅

12迄 藤井 沼本 悦子

尾道市長前

10迄 古森 惠谷 悦子

同 土堂町

11迄 藤原 藤原 安子

同 藥師堂町

16迄 松本 松本 榮

山口縣豐浦郡勝山村

22迄 宮本 宮本 清子

死亡

三浦 齊鹿 千代

S.Aoki 908 Opera Court
Takoma Wash, U.S.A.

12迄 三井 青木 ツルヨ

神戸市神若通り五丁目一七ノ二五

14迄 森 泉谷 喜子

尾道市久保町防地大坂

14迄 森本 山下 正子

同 土堂町本通り局東

15迄 山形 山形 初子

福岡市養島南小路七七三

16迄 吉田 福場 道子

尾道市土堂町海岸通り

20迄 吉田 吉田 サワコ

東京市牛込區喜久井町二一

11迄 吉原 橋本 久代

京都市上京區出雲路西河原町六五ノ七

24迄 渡邊 渡邊 節子

渡邊達也様内

12迄 渡邊 早川 アヤコ

朝鮮京畿道康城郡廳

和田市丸イサヨ

第十回

尾道市長江町六丁目

13迄 淺籬 イクヨ

神戸市川西通り二丁目十六ノ一

18迄 安保 安保 コツル

尾道市本町通り

井上 房子

北海道夕張郡栗山街木工場

12迄 井上 島川 京子

尾道市十四日町

10迄 池田 池田 菊野

吳市伏原町

池田 千鶴子

沼隈郡今津村

12迄 石井 清子

沼隈郡浦崎村

10迄 今川 タマヨ

尾道市土堂町

14迄 宇佐 宇佐 静子

同 久保町

10迄 大村 福子

御調郡市村

12迄 大村 吉原 静子

尾道市尾崎町

14迄 大塚 樽崎 辰子

御調郡三原町

14迄 大久保 村上 好子

福山市天神町

10迄 大井 恒子

御調郡吉和村

20迄 岡山 大村 静子

御調郡奥村

11迄 小川 ヨシコ

御調郡三原町

14迄 金尾 艶子

東京小石川區目白臺女子大學校

12迄 勝場 清子

大阪市中河内郡小坂小坂村七〇四

10迄 河田 竹原 勝子

御調郡向島四村

14迄 片山 不二子

13迄 梶山 瀧本 里子

尾道市外吉和村
尾道市土堂町
沼隈郡山南村
尾道市土堂町 目下大阪市
沼隈郡今津村
東京市外代々木初台四七六
尾道市外三軒家
福山市外吉備町
死亡
尾道市十四日町中流通
愛媛縣越智郡弓削村
東京府下遊橋町
尾道市土堂町驛前
同 久保町防地
尾道市西御所
尾道市久保町防地
沼隈郡水呑村
賀茂郡内海町
兵庫縣武庫郡楠通村打出トキヲ橋
赤誌二三番地
東京市小石川區江戸川町一

10迄 原 内海美榮子
12迄 林原貞子
14迄 長谷川千代子
13迄 藤野松尾久子
11迄 三藤ミネコ
12迄 日野乙江
11迄 藤原中井ハナ
13迄 藤野ヒサコ
14迄 松本岸本満子
12迄 宮原宮原信
14迄 三次岡井ウメヨ
10迄 村上村上ヒサ枝
14迄 村上村上スミエ
13迄 村上村上サダ
14迄 村上村上サカエ
12迄 森井テルヨ
山名 辻野ユキノ
14迄 山根奥吉喜代子
13迄 矢野静子

福山市福徳町
沼隈郡藤江村
死亡
第十一回
京都市二條通、高倉上ル黒瀬橋内
御調郡向島四村
東京市四谷區北伊賀町七番地
尾道市長江町二丁目
尾道市久保町
死亡
御調郡向島四村江奥小學校内
尾道市外吉和村
尾道市久保町
同 土堂町
京都市聖護院町山王町一三
名古屋市中區御器所白金町四八
尾道市久保町
同 西郷寺上
壺淵臺北市大正町三丁目三十番地

12迄 矢野藤本富子
14迄 渡邊清子
渡邊三七子
12迄 安保中本ムツエ
10迄 安保中本シヅ子
16迄 青山朝子
11迄 阿蘇阿蘇君
12迄 今城貞陰トミエ
14迄 和泉ヨシ子
10迄 石井春江
12迄 伊藤英子
12迄 入江武田金子
13迄 井畑ヲシノ
14迄 上野晃子
11迄 上野高橋千代子
12迄 上野高橋千代子
15迄 宇坪碓高子
17迄 内海廣畑加津子

尾道市西町	12迄	梅田 清子	尾道市外吉和尋常小學校内	14迄	小尻 マサエ
同 上	14迄	江草 テイ	御調郡三原町	14迄	真田 幾久香
尾道市十四日町	13迄	大山 喜久代	御調郡三原西町	12迄	油井 益代
愛媛縣越智郡蓋口村	12迄	越智 信美	岡山縣笠岡町	12迄	齊藤 文子
東京市麴町區富士見町二八三三	16迄	岡崎 寛子	東京市外大井町坂本様内	13迄	坂本 延代
廣江様内	12迄	大山 雪子	東京市麴町區五番町津田女子英學塾	13迄	多田 延子
尾道市土堂町	12迄	金光 輝子	豊田郡鯉渚	12迄	田宮 望月貞子
同 久保町防地	15迄	金光 綾子	朝鮮全羅北道益山郡裡里榮町	21迄	高橋 都築文子
同 同 甲五〇三	16迄	岡本 智恵子	沼隈郡西村	10迄	高橋 ヨシ子
豊田郡河内村	11迄	川本 ヨシコ	大阪市住吉區天玉寺町明治通リ	10迄	西川 操
御調郡向島東村	10迄	北川 カツヨ	塔南園二号國浦様方	14迄	田門 勝子
大阪市北區堂島中二丁目四二	13迄	北村 薫	尾道市久保町坊地	16迄	高原 コスエ
尾道市土堂町寶土寺上	15迄	楠生 木曾 季野	賀茂郡莊野村	18迄	寺岡 民江
御調郡美之郷村字三成	14迄	久野 ヨシコ	岡山市上ノ町藤屋様内	14迄	中根 慶江
芦品郡常金丸村	12迄	桑田 幸子	御調郡三原町	11迄	七日市 美子
尾道市土堂町	12迄	桑原 國子	尾道市土堂町	11迄	野間 勝子
同	12迄	栗原 三島 晃子	在米	10迄	濱中 福子
同 久保町四九四	15迄	小松 下枝	深安郡川南村	10迄	服部 ユキヨ
京都市同志社	14迄	河野 定江	東京市外世田ヶ谷代田大原	10迄	林 文子
福山市三ノ丸町公園東坂下	12迄	小池 楠本 アヤマ	一一〇二野村昔哉様内	12迄	林原 富子
			御調郡向島西村	12迄	

尾道市久保町	13 迄	原田 善子	山形縣米澤市地番匠町平井重吉樓御内	13 迄	増田 直枝
廣島市京橋町	13 迄	橋本 保田 篤子	豐田郡田東村	11 迄	松浦 富子
沼隈郡熊野村二二〇一	14 迄	廣康 八重子	尾道市久保町坊地	11 迄	正木 澄子
兵庫縣武庫郡御影町郡家字寺前一四九	14 迄	平柳 惠谷 シズエ	御調郡栗原町下組二二九五	14 迄	宮本 武田 トシエ
安藝郡熊野村四光寺内	12 迄	藤本 ツユ子	尾道市長江町一丁目	13 迄	三上 三上 艶子
死亡		藤田 智恵子	御調郡向島立花村	17 迄	村上 トヲヨ
神戸市	11 迄	藤井 アヤ子	備中淺口郡連島	13 迄	村井 早瀬 貴美代
東京市北品川町二六二	10 迄	藤井 澄子	御調郡向島西村字道越	13 迄	村上 文代
深安郡中條村	14 迄	松岡 佐藤 君子	同 市村	17 迄	村井 江都子
尾道市中濱通り	15 迄	松本 益子	同 向島東村	12 迄	森田 清子
東京市本所區北新町八六	21 迄	丸山 織田 芳子			
原庭警察署長官舎	11 迄	山形 小遺子			
尾道市久保町字水尾町	14 迄	山本 青木 秀子			
長野市	14 迄	山本 渡利 壽子	廣島縣立福山高等女學校内	14 迄	天野 喜代
東京市本郷區彌生町ノ三彌生ハウス	14 迄	山根 一枝	御調郡今津野村	12 迄	雨越 宮子
沼隈郡浦崎村	12 迄	山下 登美子	沼隈郡高須村	13 迄	麻生 種枝
愛媛縣新居郡神郷村	13 迄	伊藤 政代	御調郡向島立花村	12 迄	瀨尾 千代子
沼隈郡赤坂村驛前	14 迄	吉池 光代	尾道市本町通り	12 迄	池田 静枝
死亡		和田 朝子	京都同志社専門部英文科	14 迄	池田 文子
尾道市久保町	12 迄	末房 ヲノ	尾道市十四日町長江町	13 迄	池田 シカ
御調郡諸田村	12 迄		神戸市長田町房王寺谷六〇八	14 迄	伊藤 千代子

第十二回

尾道市土堂町	12 迄	井上 敏子	芦品郡府中出口	13 迄	片山 杉原 清子
御調郡吉和村	13 迄	稻田 綾子	廣島市比治山町十六	13 迄	神田 岩井 ユサヨ
尾道市東御所町	13 迄	石岡 金子	目下在米	13 迄	神邊 神邊 春子
深安郡法成寺村	13 迄	岩木 テル	御調郡向島四村兼吉	12 迄	上川 シツエ
神戸市松本通、五丁目十六ノ二	12 迄	上田 恒子	同 三原町	12 迄	木原 千里
賀茂郡錦路村	14 迄	戎居 峯子	御調郡向島西尋常高等小學校	14 迄	木曾 アヤコ
御調郡向島東村	13 迄	森下 雪子	尾道市土堂町	14 迄	木村 美代
尾道市久保町	13 迄	惠谷 アサコ	芦品郡新市町	13 迄	吉川 貞重
同 天神前	13 迄	岡田 澄子	尾道市十四日町長江	13 迄	國安 マサヨ
同 長江町	13 迄	岡田 松枝	同 土堂町	13 迄	倉田 民子
御調郡吉和村	13 迄	越智 清子	同 久保町	12 迄	小林 常子
尾道市久保町	13 迄	岡山 幸子	同 土堂町	13 迄	小林 豐子
御調郡向島立花尋常高等小學校	15 迄	大塚 周代	尾道市營住宅内	15 迄	小林 光子
沼隈郡東村	14 迄	大高 秋枝	尾道市土堂町	15 迄	小西 ツヤ
尾道市土堂町一ノ宮裏	13 迄	小川 秀子	同 土堂町千光寺道	15 迄	小西 節子
同 土堂町	17 迄	折戸 ツヤ	同 土堂町	14 迄	白坂 淑子
朝鮮新義州東町一番地	14 迄	金尾 爲徳	御調郡三原町六五三ノ一	12 迄	白石 梅子
御調郡吉和村	14 迄	金光 渡邊 英子	尾道市尾崎町	14 迄	鳥崎 ヒサ子
尾道市十四日町米場町	14 迄	龜田 辰子	御調郡向島立花村	13 迄	瀬尾 村上 朝子
	14 迄	梶山 琴代	同 菅野村 目下朝鮮京城	12 迄	妹尾 良子

尾道市久保町防地

同 土堂町

沼隈郡千年村

廣島縣立尾道高等女學校内

沼隈郡松永町東町

同 西村

尾道市久保町

御調郡因島田熊尋常高等小學校

沼隈郡松永町

大阪市西區幸町五丁目

朝鮮京釜線成觀鐵道官社

沼隈郡高須村

廣島市白鳥町九軒町一三八

尾道市土堂町

大阪市港區新池田町四六字都宮様内

沼隈郡千年村

尾道市藥師堂町

同 十四日町

同 土堂町

同 土堂町駄賀様内

13迄 住吉 添田 伊智子

14迄 關原 清子

13迄 高田 芳子

14迄 高橋 靜子

13迄 高橋 峯子

12迄 高橋 ハルエ

13迄 竹谷 數枝

14迄 立川 カヅ子

18迄 立神 立子

14迄 田中 天野 勝代

13迄 田村 菊地 ツヤ

13迄 土岡 ハツヨ

12迄 坪島 伊藤 清子

13迄 寺西 常子

17迄 戸田 豊子

13迄 刀禰 カヅコ

15迄 野村 琴

13迄 西原 勝子

12迄 新田 ハルヨ

14迄 馬場 コノミ

沼隈郡千年村

尾道市長江町善勝寺大門

賀茂郡竹原町

尾道市土堂町海岸通り

御調郡因島三浦村

同 美ノ郷村

尾道市久保町

神奈川縣川崎市元木町二六

芦品郡常金丸村

同 府中町四町

尾道市藥師堂町

大阪市東成區森小路

尾道市十四日町

御調郡向島東村

尾道市土堂町寶土寺上

沼隈郡高須村

豐田郡田之浦村本谷

大阪市南區北灰屋町一〇

東京女子美術學校

沼隈郡津之郷村

14迄 濱田 マサコ

13迄 濱田 ヨシミ

12迄 原田 小川 靜枝

13迄 林原 岩崎 ヨシコ

16迄 平澤 田鶴子

14迄 東川 杉原 マサコ

16迄 深谷 京

15迄 藤井 藤井 政子

12迄 馬屋原 光枝

13迄 榎田 淺野 ヒサコ

15迄 松本 操

12迄 松本 映子

13迄 美藤 美子

13迄 宮本 桑田 キクエ

15迄 三宅 浪子

13迄 村上 佐藤 ヨシコ

13迄 村上 文子

14迄 岡崎 ヨリコ

13迄 森 ヒサコ

13迄 山崎 定子

第十三回

尾道市三軒家	13 迄	碓 鶴代	尾道市土堂町	13 迄	小川 宮子
同 土堂町	14 迄	渡邊 綾子	同 上	14 迄	小田 勝
名古屋市西區西志賀町九一八	12 迄	長谷川 靜子	同 久保町	13 迄	大島 操
			御調郡三原町	13 迄	大藤 政子
			尾道市土堂町	13 迄	大山 美佳子
沼隈郡鞆町石井町	15 迄	赤松 千代子	府立京都第一高等女學校專攻科	15 迄	賀川 道子
御調郡吉和村	13 迄	天野 ヨシ	大阪市外東成郡天王寺村字天王寺 藤井種次郎様内	17 迄	柿本 初子
尾道市三軒家	14 迄	石井 ウタ	大阪市北區善源寺町十丁目三七 笠岡秀藏様内	15 迄	角田 行江
尾道市長江町	14 迄	井田 一枝	東京市東京女子大學校	13 迄	金田 文子
神戸市中山手通リ八丁目六五	14 迄	井上 勝子	沼隈郡浦崎村	15 迄	神原 スマ
福山市地吹町	13 迄	今井 ツル	尾道市外吉和村	13 迄	龜田 數子
尾道市久保町	15 迄	岩見 貞子	大阪市茨木町梅林寺西龜田壘一郎様内	13 迄	龜田 政代
御調郡三原町	13 迄	遠藤 淺枝	御調郡三原町	13 迄	川口 悦子
同 岩子島村	13 迄	岡崎 芳子	尾道市十四日町藥師堂町	16 迄	木曾 壽美江
同 向島東村	13 迄	岡田 齊	同 長江町	13 迄	京和泉 政子
同 向島西村	17 迄	岡田 トネ	御調郡向島西村	13 迄	楠 宗子
沼隈郡高須村	14 迄	沖村 タッコ	大正十四年死亡	13 迄	小泉 義子
東京市小石川區目白台日本女子大學	13 迄	奥山 彰子	尾道市長江町	17 迄	兒玉 多喜子
沼隈郡今津村	13 迄	小川 靜子	同 西御所町	14 迄	小出 マサエ
縣立廣島高等女學校專攻科	13 迄	小川 益枝	御調郡栗原町	14 迄	阪井 升榮

尾道市十四日町幸前	14 迄	榎原 重子	尾道市久保町	14 迄	富岡 千代子
沼隈郡藤江村	14 迄	作田 豊子	東京市牛込區河田町女子醫專	14 迄	富田 壽
同 上	13 迄	佐古田 富代	御調郡向島西村	17 迄	豊田 満壽子
神戸市兵庫小川通り八丁目	14 迄	佐々木 静子	同 向島東村	15 迄	中司 キクヨ
吳市外警固屋町四丁目枕山九郎様方	15 迄	佐藤 タキエ	同 大濱村	13 迄	檜原 千枝
尾道市十四日町銀冶屋町	14 迄	島田 喜美子	同 吉和村	14 迄	西岡 キヌヨ
尾道市防地	13 迄	島野 咲子	沼隈郡田島村	14 迄	箱田 淨
東京市神田區一ツ橋女子共立職業學校	13 迄	管波 ヒサヨ	尾道市長江町	19 迄	橋本 テル
廣島縣立高女專攻科	13 迄	杉原 ミチエ	同 久保町	13 迄	花咲 茂子
沼隈郡高須村	15 迄	高田 英子	愛媛縣越智郡弓削村	16 迄	濱田 フミ
東京市本郷區お茶の水東京女子師範	13 迄	高升 キミ	尾道市久保町	14 迄	原田 小美禰
寄宿舎	13 迄	高橋 スミコ	同 尾崎町	13 迄	平井 壽恵子
廣島縣立高女專攻科	15 迄	高橋 フミ	同 久保町防地	13 迄	平野 信
倉敷中央病院内	14 迄	高橋 フミ	豊田郡大河村	15 迄	古川 智都子
尾道市十四日町中濱通	13 迄	高橋 豊子	大阪市此花區吉野町一丁目三九番地	13 迄	部谷 光子
同 久保町新地	14 迄	竹中 フミコ	尾道市久保町	14 迄	細谷 一子
甲双郡上下町	17 迄	川上 タマコ	東京市牛込區赤城下町八八	17 迄	前田 静枝
尾道市土堂町	14 迄	田中 秋代	尾道市土堂町	13 迄	前田 雅子
同 尾崎町	13 迄	突沖 トクヨ	同久保町西國寺大門	13 迄	増野 美子
廣島市千田町縣立高女寄宿舎内	13 迄	近田 須美子	御調郡三原町	13 迄	松浦 タミエ
御調郡栗原町	14 迄	土屋 智子		18 迄	

尾道市十四日町	14 迄	松本 文子	廣島市千田町縣立高女寄宿舎	15 迄	山口 美知江
豐田郡南生口村	13 迄	丸山 サカエ	東京市牛込區川口町女子醫專	13 迄	山根 喜久子
尾道市土堂町海岸通り	13 迄	丸井 ヨシコ	御調郡三原町	14 迄	吉名 鶴世
京都府立高女專攻科	13 迄	三浦 キヌコ	尾道市土堂町	14 迄	吉本 房子
尾道市十四日町	14 迄	三上 壽子	大正十四年度補習科		
深安郡千田村横尾	13 迄	水川 晴子	豊田郡本郷町三八八六番地	14 迄	池田 千代子
御調郡因ノ島土生	13 迄	光田 富子	尾道市長江町二丁目小川様方	14 迄	青木 千代
尾道市久保町坊地	16 迄	三森 菊枝	第十四回 三考		
同 土堂町	13 迄	三村 紀子			
御調郡因島中ノ庄	13 迄	宮地 トシ			
尾道市土堂町	13 迄	宮地 千代子			
同 尾崎町	13 迄	三宅 富子			
御調郡向島東村字三石	17 迄	宮地 久子			
尾道市久保町淨土寺道	13 迄	宮邊 綾子			
御調郡栗原町	13 迄	三次 哲子			
東京市神田區一ツ橋共立女子職業學校	13 迄	村上 千代子			
尾道市十四日町中濱通	13 迄	村上 豊子			
死亡	13 迄	村上 フサエ	岡山市山陽家政女塾	15 迄	井出 一枝
沼隈郡松永町東町	13 迄	村上 峯	尾道市土堂町天寧寺大門	15 迄	井手口 君代
御調郡市村	14 迄	矢吹 壽江	神戸市高等女子技藝學校	15 迄	石田 繁子

岡山山陽家政女塾	15迄	小林綾子	芦品郡服部村	15迄	田中多喜子
同	15迄	小林キミエ	尾道市筒湯町	15迄	伊藤絹榮
奈良縣生駒郡郡山東上岡町	15迄	小林孝子	御調郡三原町	15迄	多田壽子
廣島市山中高女紀念館	15迄	定森幸子	御調郡田熊村	15迄	竹本千歳
御調郡三原町	15迄	眞田加壽子	縣立福山高女補習科	15迄	土屋富貴枝
尾道市久保町	15迄	佐伯貞代	尾道市久保町	15迄	綱宮多賀
岡山山陽家政女塾	15迄	佐藤千代子	同 土堂町渡場	15迄	塚本とみえ
御調郡三原町	15迄	柴原千重子	御調郡米崎町	15迄	寺本政子
岡山縣倉敷中央病院	15迄	白銀トシエ	福山市船町	15迄	出崎千代野
尾道市四御所町	15迄	志間久子	全 下魚屋町	15迄	豊田ユキ子
同 土堂町魚市場	15迄	杉原重子	岡山縣倉敷中央病院	15迄	豊田八千代
同 東尾崎	16迄	川本靜江	大阪府下箕面村大字平尾松原通り一六	15迄	富安弘子
御調郡向島西村兼吉	15迄	竹本増子	尾道市久保町	15迄	土居ミツエ
沼隈郡浦崎村	16迄	田頭章	御調郡栗原町	15迄	友宗ミサコ
御調郡因島土生町	15迄	田中年子	尾道市久保町坊地	15迄	名越壽子
豐田郡河内村	15迄	高東利惠	同 上	15迄	棗田靖子
御調郡向島西村	15迄	高原マサ子	尾道市土堂町	15迄	中川牧江
尾道市長江町八丁目	15迄	高津ミツコ	沼隈郡山波村	15迄	中司シズヨ
同 土堂町中濱通り	15迄	田中靜子	尾道市長江町四丁目	15迄	中山満子
同 久保町	15迄	高村富士見	同 長江町二丁目	15迄	仁田チエ

同	米場町	15迄	野田 静子	尾道市東御所	17迄	宮本 シヅヨ
同	上	15迄	八條 詢	同 土堂町	15迄	三宅 豊子
御調郡深田村		16迄	畑 フサコ	同 久保町圖書館前	15迄	三木 壽子
尾道市尾崎町		16迄	橋塚 ウメヨ	同 天神下	15迄	三好 榮
同 長江町四丁目		15迄	平岡 フジ	御調郡木ノ庄村	15迄	光永 シゲコ
同 東御所町		15迄	東谷 キシコ	沼隈郡千年村	15迄	村上 キヨコ
同 久保町防地		15迄	平野 利子	尾道市長江町天神前	15迄	村上 重子
御調郡三原町西町川四丁		15迄	船木 壽美子	神戸市南本町三丁目一ノ一 村上ヨシ楼内	15迄	村上 コハギ
沼隈郡藤江村		15迄	藤原 澄子	御調郡三原町	15迄	門田 八千代
深安郡深津村		15迄	藤井 千代子	同 栗原若宮町	15迄	村上 宮子
尾道市土堂町郵便局東		15迄	藤田 壽枝	岡山山陽家政女塾	15迄	守光 祀子
同 久保町		15迄	吹舉 半子	同	15迄	毛利 久子
同		15迄	邊見 久代	廣島高女専攻科	15迄	山路 久子
尾道市土堂町		15迄	細谷 君枝	御調郡向島東村	15迄	山本 孝子
同 上		15迄	小林 千代子	沼隈郡鞆町	15迄	山口 鈴子
同 上		15迄	横田 イト	東京神田共立女子職業學校家庭科	15迄	山手 千代子
東京九段和洋裁縫女學校		15迄	前田 早子	尾道市久保町連華坂	15迄	山谷 俊子
御調郡三原町		15迄	松尾 春江	御調郡美ノ郷村	15迄	山本 貞世
尾道市東御所		15迄	宮本 壽美子	沼隈郡鞆町	15迄	山田 美恵子
御調郡木庄村		15迄	南迫 ツルコ	岡山縣兒島郡甲浦村	15迄	山本 貞子

尾道市久保町
御調郡吉和村
廣島市本川森田福市様内
同 久保町
御調郡向島東村
沼隈郡鞆町
御調郡中ノ庄村
同 三原町
青品郡新市町
尾道市久保町
神戸市外西灘村畑原
沼隈郡津之郷村
同 金江村
尾道市土堂町
岡山縣小田郡三谷村
世羅郡神田村
御調郡三原町
世羅郡三河村
沼隈郡松永町
全 上

15 迄
15 迄

山成 道子
安本 嘉代子
吉村 成
吉野 綾子
吉原 フジエ
吉本 久子
横山 文
渡邊 須美子
和田 町子
和田 節子
森田 万壽子
青景 千代子
伊藤 喜司子
宇佐 治子
小野 花子
金行 芳江
梶田 ハルコ
熊田 カズユ
小林 チヨ
小林 時枝

全 上
御調郡原田村
山口縣厚狹郡出合村
沼隈郡金江村
岡山縣小田郡三谷村
大阪府南河内郡南八下村
御調郡糸崎町
沼隈郡神村
豊田郡長谷村
御調郡羽和泉村
廣島縣立尾道高等女學校補習科
全 上
尾道市十四日町
廣島縣立尾道高等女學校補習科
東京裁縫專門學校
沼隈郡神村
尾道市十四日町
三原女子師範

第十五回

15 迄
15 迄

眞田 サダノ
佐藤 照代
硯谷 貞子
竹増 佳文
津尾 二三子
比良野 チカ
三坂 初枝
森井 フサエ
高橋 里見
山崎 義子
淺野 花子
青山 トヨコ
阿蘇 正子
天野 文子
荒木 重子
石井 土用子
石原 繁子
伊藤 サダコ

廣島縣立尾道高等女學校補習科	全	上	15 迄	稻田 トヨ	德島縣板野郡松茂村	15 迄	尾關 清子
尾道市久保町	全	上	15 迄	井上 雪子	岡山縣阿哲郡親見町	15 迄	大西 定子
全	上	上	15 迄	今北 トキ子	豐田郡高根島村	15 迄	大野 綾子
全	上	上	15 迄	入澤 保代	御調郡栗原町	15 迄	小野 孝女
菅品郡新市町	全	上	15 迄	岩井 春子	廣島縣立尾道高等女學校補習科	15 迄	大村 淑子
尾道市十四日町	全	上	15 迄	岩崎 清子	全	15 迄	柏原 繁子
香川縣仲多度郡吉原村	全	上	15 迄	岩本 貞子	豐田郡名荷村	15 迄	片山 文江
尾道市土堂町	全	上	15 迄	岩本 靜子	尾道市十四日町	15 迄	勝谷 折枝
福山市本町	全	上	15 迄	上野 菊枝	御調郡市村	15 迄	鎌田 キヨミ
尾道市土堂町	全	上	15 迄	内山 サメ	御調郡系崎町	15 迄	川上 清子
大阪市北區上福島中一丁目	全	上	15 迄	榮花 佐賀惠	沼隈郡浦崎村	15 迄	神原 タケ
尾道市土堂町	全	上	15 迄	江原 靜子	廣島縣立尾道高等女學校補習科	15 迄	木曾 常子
尾道市土堂町	全	上	15 迄	戎 智枝	尾道市十四日町	15 迄	其阿彌 長子
廣島縣立尾道高等女學校補習科	全	上	15 迄	胡本 ハマヨ	尾道市土堂町	15 迄	古島 コト
尾道市十四日町	全	上	15 迄	大井 政子	尾道市十四日町三丁目	15 迄	兒玉 隆子
御調郡因島土生町	全	上	15 迄	岡田 加代子	廣島縣立尾道高等女學校補習科	15 迄	兒玉 辰子
尾道市十四日町	全	上	15 迄	岡田 マサコ	菅品郡服部村	15 迄	兒玉 キヨ子
尾道市東御所町	全	上	15 迄	岡田 八重子	賀茂郡四條町	15 迄	小早川 墨江
御調郡岩子島	全	上	15 迄	岡本 好子	沼隈郡神村	15 迄	小林 貞子
尾道市十四日町	全	上	15 迄	奧本 ミチコ	尾道市十四日町	15 迄	小林 房江

尾道市久保町	15 迄	小松 郁子	全 上	谷 鶴 雪子
廣島縣立尾道高等女學校補習科	15 迄	小森 富士子	尾道市久保町	辻 千代子
香川縣三豐郡高瀬村	15 迄	齊藤 フミ子	尾道市十四日町	土屋 八重子
岡山縣上道郡光政村	15 迄	坂戸 幸惠	三原女子師範學校内	坪山 元子
尾道市尾崎町	15 迄	相良 秀子	尾道市久保町	鶴舍 美津代
尾道市十四日町	15 迄	貞蔭 アイコ	廣島縣立尾道高等女學校補習科	寺西 保子
山口縣大島郡日真居村	15 迄	眞田 龜久代	沼隈郡鞆町	德永 光枝
廣島縣立尾道高等女學校補習科	15 迄	篠原 マサ	尾道市久保町	德光 友江
御調郡栗原町	15 迄	清水 清子	全 上	德光 増子
同 向島東村	15 迄	砂田 美恵子	福山市三ノ丸町	土肥 富子
全 上	15 迄	砂田 ヨシ子	尾道市久保町	永井 フサコ
尾道市久保町	15 迄	住友 梅子	沼隈郡田島村	長野 益枝
全 十四日町	15 迄	鷹野 朝子	御調郡吉和村	西岡 キヨノ
廣島縣立尾道高等女學校補習科	15 迄	高橋 榮	御調郡向島西村	則信 喜保子
全 上	15 迄	高見 スミ子	尾道市四御所町	橋本 歌子
尾道市久保町	15 迄	武田 クスエ	尾道市土堂町	橋本 孝代
賀茂郡早田原村	15 迄	武安 桃枝	廣島縣立尾道高等女學校補習科	畑山 松代
豐田郡沼田東村	15 迄	田阪 誠子	名古屋市南區西古渡町	服部 チヨ子
三原女子師範學校内	15 迄	立川 嘉子	廣島縣立尾道高等女學校補習科	花咲 ヒフミ
廣島縣立尾道高等女學校補習科	15 迄	立野 シズ	尾道市十四日町	林 正子

廣島縣立尾道高等女學校補習科	15 迄	林原千代子	尾道市土堂町	15 迄	松山 房子
廣島縣立廣島高等女學校專攻科	15 迄	原 トヨ	全 上	15 迄	宮崎 ミヤ
御調郡糸崎町	15 迄	東 美里	御調郡中庄村	15 迄	宮地 トキエ
廣島縣立尾道高等女學校補習科	15 迄	菱川 芳子	同 吉和村	15 迄	向井 ヒデノ
尾道市久保町	15 迄	平岡 喜美子	廣島縣立尾道高等女學校補習科	15 迄	村上 花子
京都市同志社女學校內	15 迄	平田 隆子	沼隈郡高須村	15 迄	村上 ミキエ
御調郡市村	15 迄	平山 久子	尾道市久保町坊地	15 迄	森下 文江
尾道市十四日町	15 迄	廣安 ヤス子	愛媛縣越智郡弓削村	15 迄	村上 操
廣島縣立尾道高等女學校補習科	15 迄	福本 千代子	豐田郡鷺浦村	15 迄	山本 慶子
尾道市土堂町	15 迄	藤野 愛子	尾道市土堂町	15 迄	山本 シツコ
深安郡吉津村	15 迄	藤野 トミコ	尾道市十四日町	15 迄	山本 三千代
尾道市土堂町	15 迄	藤原 静子	東京市牛込區東五軒町九三三島様方	15 迄	山本 百合子
京都女子專門學校	15 迄	藤原 チエ子	尾道市十四日町	15 迄	横見 幸子
廣島縣立尾道高等女學校補習科	15 迄	藤本 マサ子	尾道市久保町	15 迄	吉田 静枝
三原女子師範學校內	15 迄	不動 久仁子	廣島縣立尾道高等女學校補習科	15 迄	吉原 フミ子
東京共立女子職業學校	15 迄	堀家 富美子	尾道市十四日町	15 迄	吉本 千枝子
尾道市十四日町	15 迄	前原 千代子	御調郡岩子島	15 迄	吉本 浪子
御調郡向島西村	15 迄	松崎 國子	尾道市尾崎町	15 迄	渡邊 君子
同 三庄村	15 迄	松本 清子			
廣島縣立尾道高等女學校補習科	15 迄	松本 善子			

幹事

昨年末幹事皆々様がたの御忙しき時節に御無理を御願ひ申上げて原稿を集めました所、皆々様の御助力で大方は十二月末までに學校幹事の手が届きました然し全部の原稿は仲々に集り難く翠年一月、二月、三月をも過ぎてしまひました、然しこれは皆それ〴〵お忙しき家事を脊負つていらつしやる御方故皆様各々其事情を異にし特に一家の主婦として日夜家事万端に手を染め給ふ方々には無理の無い事と存じます。

やつと全部集つたので、さあこれからと思つて居る内に學年末の忙しさより引續き、新學年初めの忙しさ、公務に追はれ次がら次へと暇無く、皆様よりは再三の催促を受けて心苦しくもあり又皆様へ對しすまないとは存じながら止む無く今日まで遅延致しました。

集つた原稿も早半々年を経ました爲、どうやら昔の

物を引出したやうに感じられますが折角集めました原稿でございませうから其儘記載致して置きました。其後御消息の變つた御方もいらつしやいます事と存じます、只々皆様へ御詫び申上げる次第でございませう。

同時に早く原稿を整理して御届け下さいました幹事諸姉には誠に面目もなく存じて居ります。

次に昨年會報第十一号にて基本金積立の爲大正十四年四月頃バザーを開催するとの大きな豫告を致しました、そして皆様の御助力を御願致しました處がこれも其四月はどつくの昔に何の故障もなく音無く過してしまつて居ります。さぞかし皆様には飽き足りない事と或はぢれつたく思召していらつしやる方も御有りの事と存じて居りますが、申譯がましくなつて貴重な紙面を無駄な事と思はれますが、先づ一通りの申譯をさして頂きます。バザーの爲に幹事會を二回ほど開き其當時は仲々意氣込みがけて居たのですが、四月と云へば母校は學年初めでとてもバザー處の騒ぎでなかつた、それでは秋にと申合したが又それも止む無く駄目になり到頭大正十四年に於ては聲ばかりの雷でした。

そんなに學校ばかり頼りにせずと同窓會の都合のよき時節にと或は仰言いませうけど如何に同窓會の爲とはいへ幾百の生徒の學ぶ尊い授業をさいてまではどうかと思はれますので、勿論學校に何か催事の有る時に場所を借して頂くわけなのでございますので何れ其機會の與へられます時は皆様の御心に逆らぬ様盛大に催致します考でございます、何れ其節には宜敷御願申上げます。

會員の中には昨年製作品を御寄贈下さいました方（十三回丸山よし子）や御寄附金を頂きました方（一回桶戸エイ、二回與田ノブ）等も有り、又六回幹事の東一枝様の如きは家事に御いそしみの傍、常に同窓會の事には御盡力下さいまして澤山の美しい手藝品を御製作下さいました。未だ其上品物まで御寄贈頂きました嬉しく存じました其赤誠詭められた御製作品を拜見致しました時は驚き入りました皆様より受けた物質的に又精神的の御助力を無にせぬ様致しませう。

次に我同窓會も既に千人の會員に達しました、これだけの者が一團となつたら易く事業も起されそうに思はれます、皆様も御承知の様に我同窓會は至つて

貧弱で同窓會としての事業も何等擧げる程の事もなく、縣下各女學校の同窓會の様子など承りますと我等は誠に恥しく又羨ましくも存じます。

何をなすにも先づ必要なる資金は乏しく、毎年一回發行する會報の費用すら支出する事能はず、今年の如きはやつと基本金より借り受けて發行した様な次第で、餘りに風聞もよろしからず、貧乏世帯を預る身の心細さもよく味つて居ります。

斯くてはやがて成すべき事業の爲め基本金にも迷惑をかけるばかりでございます、何とかして會費だけでも皆様より正しく納めて頂いたらと存じます。

我同窓會はまだ他の學校の同窓會の様な會員より寄附金の募集などした事は一度もありませんのですが最早千人にも達したのだから、そろ／＼相談してもよろしくはないかと考へられます。

皆々様も新聞紙上にて御承知の事と存じます、去る五月畏くも皇太子殿下には中國三縣（岡山、廣島、山口）に行啓遊ばされ、我尾道も五月廿四日畏くも鶴駕を奉迎し幾万の民草は殿下の御勇姿を拜し奉り感激措く能はず只々かたじけなきに涙はこぼれました。御英明なる神々しき御威容を拜し奉りました時

は言ひ知れぬ身の寒さをさへ感せさせる或物が私共の心の中には潜んで居りました。

天照す太陽を名に負ひて

天地と共に國あり

天地と共に君あり

天地と共に民あり

おお おお

日の國

日の皇帝

日の國民

と殿下の御前に捧げる幾千の民草の聲は實に赤誠其物でした、殿下の御前には私達は私赤子でございます、皇國の爲、大君の爲には、と云ふ盡忠の叫びは胸に湧き出でました、殿下を迎へ奉つた我縣民は皆齊しく光榮として永く記念すべき一大盛事でございます。

殿下行啓の光榮に浴した記念事業として、學校は勿論社會團體、又は、個人に於てそれ／＼に社會的に個人的に立派な事業は企てられてるやうでございます。

此際何かこの光榮を記念すべく事業を起しては如何

でございますやうか、多數の皆々様の御意見を承り度う存じます。皆様の多數の御意見に従ひ何か事業を起したいと存じて居ります故御一報下さい。

次に會報發行に就きまして御願申上げて置きたき事ども申述べて置きます。

一會員名簿につき

會報發行の際又は諸通信の際に於て最も幹事の困難とする所は名簿の不正確な事でございます。

どうぞ現在の御住所を他に御移轉遊ばした時は端書にて御轉住先の地名及び番地を正確なる文字にて番地をも御記載下さい。

又御改姓の節は必ず御一報下さい。

中には通知したにも係らず會報には以前の住所が記載されてあつたとて御立腹遊ばした方も有つたのでしたが御通知頂きました時既に印刷後だつた場合は止無く來年度會報へ記載致します故其邊を悪しからず思召し頂き度う存じます。

二次に昨年までは總て會報記載の通信及諸記事は母校幹事宛に御願申上げて居りましたがあまりに繁雜致します故本年度よりは各回幹事へ御送附下さいませ。

猶記事は各回幹事の手数を省く爲出来るだけ廿四字詰十二行の原稿用紙に御記載下さいませ様御願申上ます其形式は會報記載の例の如く原稿用紙始めの一行へ題目と御姓名を御書き下さい、そして御姓名の下に必ず御卒業の回期を御記入下さる事猶表記御住所は正確なる文字にて必ず番地記入の事昨年同窓會總會案内状を發しました中に尾道市内の方でさへ返送されたもの十通ほど有つたので其方々へは誠に氣毒に存じましたが尾道の様な狭い土地でも番地がないと不都合が多いのでございます。毎年全同窓生へ全部滞りなく會報を發送して居るにも拘らぬ。御立腹を受けなければならぬのは住所不正確なる爲ならんと何時も残念に存じます。

三會報發行費納入の事

近來會報發行費不足にて一般會計の維持に困難を來しました、何卒未納の方は此際御納め下さい、毎年五拾錢づつを納める事になつては居りませんが出来ましたら二圓とか三圓とか五圓とかに纏め納めて載せましたらと、勝手ながら存じて居ります會費を母校生徒へ御托し下さいませ時は必お御姓名、御卒業回期、御住所及金額を明記し封入の上

御届け下さいませ事。

會報記載の會費に誤がありましたら御遠慮なく母校檜垣幹事宛に御通知下さい。金銭の事故嚴重には致して居るつもりですが、時々間違ひがないと限りません故一言申添へて置きます。

次に會員諸姉に御詫び申上げなければなりませんは今度會報に載せられました記事の中には御許しを受けずして私信其他を多く入れた事でございます、悪しからず御思召し下さいませ。



大正十五年七月十五日印刷
大正十五年七月二十日發行

(非賣品)

編輯者 廣島縣立尾道高等女學校內
榎垣保世

印刷者 廣島縣尾道市長江町一〇九番邸
山野佐一

印刷所 廣島縣尾道市長江町一〇九番邸
三秀舍

發行所 廣島縣尾道市久保町
廣島縣立尾道高等女學校
同窓會

八井出上

(合費) 大粒
印

八三

